

2022年度

# 年次報告書

公益財団法人ヤマト福祉財団



# 目 次

1. 2022 年度事業報告書	1
(公1) 助成事業	
2022 年度中に実施した助成事業	
I. 障がいのある大学生への奨学金の支給	
II. 2022 年度ヤマト福祉財団助成金	
1. 障がい者給料増額支援助成金	
2. 障がい者福祉助成金	
(公2) 研修・育成事業	
2022 年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム実施報告	
『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』進捗状況	
『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』参入施設一覧	
2022 年度「障がい者のクロネコ DM 便配達実績」時系列集計表	
2022 年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告	
新堂塾（第 4 期）活動報告、楠元塾（第 3 期）活動報告	
2022 年度「農福連携実践塾」実施報告	
通販研究会の活動報告	
「自然栽培パーティ」活動報告	
2022 年度ゆいジョブ！実行委員会活動報告	
(公3) 表彰事業	
ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈	
(公4) 広報・啓発等事業	
全 A ネット（就労継続支援 A 型事業所全国協議会）の報告	
(NPO) 医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワークの報告	
ヤマトグループボランティアプロジェクト活動報告	
自然栽培パーティ	
ドキュメンタリー映画「種まいて水やって自然栽培パーティ！」全国上映会の報告	
2. 2022 年度収支決算報告書	91
賃借対照表	
正味財産増減計算書	
正味財産増減計算書内訳表	
財務諸表に対する注記	
財産目録	
附属明細書	
事業報告 附属明細書	
収支決算書	
監査報告書	
3. 補 足	105
2022 年度寄付金寄贈者名簿	
賛助会員数一覧	
役員名簿	
4. 2023 年度事業計画書	111
同 収支予算書	
資金調達及び設備投資の見込みについて	



# 1. 2022 年度事業報告書



# 2022年度事業報告書

(自・2022年4月1日～至・2023年3月31日)

## 1. 庶務事項

- (1) 財団設立年月日 1993年9月10日
- (2) 基本財産  
投資有価証券  
ヤマトホールディングス株式会社(株式)  
3,554,500株 6,031百万円
- (3) 役員等
- |                   |    |
|-------------------|----|
| ①理事長              | 1名 |
| ②理事               | 8名 |
| ③監事               | 2名 |
| ④評議員              | 8名 |
| ⑤福祉助成金選考委員        | 5名 |
| ⑥ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員 | 5名 |
- (4) 賛助会員  
個人会員 74,371人
- (5) 事務局
- |       |    |
|-------|----|
| ①常務理事 | 1名 |
| ②事務局長 | 1名 |
| ③職員   | 5名 |

## 2. 事業報告

コロナウイルスの流行は、2020年1月15日に日本国内で第1号患者を記録して以来、現在に至るまで、社会的に大きな影響を与え続けてきました。2022年度も、8月と1月にオミクロン株の記録的大流行にみまわれ、国民の警戒は3月に入るまで緩むことはありませんでした。障がい福祉分野においては、ヤマト福祉財団が他の助成財団と共同で支援してきた日本障害フォーラムの「障害者権利条約」パラレルレポート活動に関連して、8月に国連の障害者権利委員会において日本国政府ならびに当事者も出席して建設的対話が行われ9月に日本国政府に対して締約国総括所見が出されました。この総括所見には、現在の国内状況について改善すべき点を網羅していて、今後の重要な指針となりました。

ヤマト福祉財団の事業活動もコロナ禍3年目となりました。本年はコロナ禍の影響で前年度繰り越した事業費も加えて積極的に活動しました。障がい者の働く場パワーアップフォーラムは、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者の施設からオンライン中継する新しい取り組みを実施、会場開催も再開しました。また、今期で10年目に入った「夢へのかけ橋」実践塾は、流行の合間に実地指導に加えて集合研修も再開し、3月に無事修了しています。3月末には、コロナ禍収束を見通した活動が計画できるようになりました。

**(公1)助成事業****①奨学金支給**

2022年2月21日から4月8日までを応募書類請求期間、同年4月1日から5月6日を申請期間として41名の応募がありました。選考委員会で14名を選考追加して、40名の奨学生に月5万円・年間60万円、返済不要の奨学金を提供しています。

**2022年度奨学金選考委員会**

2022年6月1日(木) 10:00-12:00コロナ感染対策としてオンラインにて開催。選考追加された奨学生14名は以下の通りです。

氏名	学年	在学大学	学部学科
佐藤 かえで	1	宮城学院女子大学	学芸学部 心理行動科学科
森 柊也	1	東京農業大学	農学部 生物資源開発学科
長縄 創也	1	日本大学	文理学部 地球科学科
吉田 あさひ	2	日本社会事業大学	社会福祉学部 福祉援助学科
岩川 佳士乃	2	日本大学	芸術学部 放送学科
北田 晴人	1	和光大学	現代人間学部 心理教育学科
向原 毅貴	1	早稲田大学	政治経済学部 経済学科
一井 元希	1	筑波技術大学	保健科学部 保健学科
塚原 杏由理	3	富山大学	経済学部 経営法学科
三枝 巧実	1	静岡県立大学	薬学部 薬学科
中森 七海	2	皇學館大学	教育学部 教育学科
世古口 彩花	1	三重大学	教育学部 特別支援教育コース
五井 比奈子	1	立命館大学	文学部 人文科学
上原 直美	3	琉球大学	工学部 工学科

**②助成金**

今年度も、昨年に引き続き助成金事業を障がい者の給料増額を目的とする「障がい者給料増額支援助成金」(50万円から500万円の範囲)とボランティア活動等を含め障がい者の幸せにつながる事業・活動を目的とする「障がい者福祉助成金」(上限100万円)の2つの部門を設定し、2021年10月1日から11月30日までを公募期間として279件の応募があり、2022年3月24日に選考委員会を実施して助成対象施設・団体を決定。5月以降にヤマト運輸(株)の協力を得ながら各地で贈呈式を開催しました。

助成部門	応募	決定	助成金額
① 障がい者給料増額支援助成金	134件	40件	121,460千円
② 障がい者福祉助成金 (会議・講演会、ボランティア活動、 文化・スポーツ活動、調査・研究・出版)	145件	31件	19,800千円
合計	279件	71件	141,260千円

※助成先一覧 9～31ページ

## (公2) 研修・育成事業

### ① セミナー事業「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」

昨年のフォーラムのコロナ対応では登壇者もオンラインでの登壇となったため、本年はホスト施設に配信設備を用意して登壇者が現地入りし参加者に代わって見学レポートする「現地からお届けするオンラインフォーラム」の形式で、(社福)共生シンフォニー、(社福)はらから福祉会の2ヵ所からライブ配信を行いました。また、1月12日に3年ぶりのリアル開催となった東京会場では、募集人数を150名として余裕をもった感染対策としましたが、正月明けの感染拡大に重なり参加のキャンセルも相次ぎました。そのため当日はYouTubeでの同時配信も行い、参加を自粛した関係者にも視聴できるようにしています。

全3回で584名が参加し、これまでのセミナー受講者と合わせ累計 13,183名となりました。

内容	開催の形式	開催日	参加人数
前年までの累計			12,599
滋賀会場	オンラインのみ	9月22日	248
宮城会場	オンラインのみ	11月25日	233
東京会場	東京都立産業貿易センター 浜松町館・オンライン併用	1月12日	103 視聴回数1311回
合 計			584
累 計			13,183

### ② 雇用・促進事業

「障がい者のクロネコDM便配達事業」は、全国248事業所で1,156名の障がい者が配達を行っています。また、ヤマト福祉財団が支援している社会福祉法人ヤマト自立センターのスワン工舎新座・スワン工舎羽田クロノゲートの就労移行支援事業では、今期13名累計241名が一般就労しました。2011年に立ち上げた就業・生活支援事業では今期は58名の登録者に対して就労支援・就労先での定着支援・金銭管理や一人暮らしなどの生活支援を行い、実習50名、就業者39名の実績をあげました。就労につながった方々との結びつきを図るために延期していた第14回スワン工舎卒業者の集いを無事開催しました。

### ③ 育成プロジェクト I. 実践塾

小倉昌男賞受賞者によるプロジェクトとして2010年より始まった受賞者リーダープロジェクト「夢へのかけ橋実践塾」は、本年度 故新堂薫氏(第9回受賞者)を塾長とした封かん・封入サービス塾は指導をアドバイザーの菅野敦氏(社会福祉法人武蔵野千川福祉会理事長)に引き継ぎ、楠元洋子氏(第13回受賞者)を塾長とする弁当・配食サービス塾、熊田芳江氏(第14回受賞者)を塾長とする農福連携実践塾はコロナウイルス感染の影響が続く中、感染の小康期に現地指導を行いPDCAサイクルを回しました。封かん・封入サービス塾と弁当・配食サービス塾は3月に集合研修を行い、延長期間を加えた3年半の活動を修了しました。

また、農福連携実践塾については、現地指導も実施したほか、八芳園で開催した農福連携フォーラムに参加して塾生が発表をしました。

### II. 「自然栽培パーティ」プロジェクト

水稲自然栽培検証プロジェクトより発展した「一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会」は発足7年となり、11月23日に沖縄県南城市で第7回自然栽培パーティ全国フォーラムを久しぶりにリアルで開催しました。3月末現在125施設が会員登録しています。

### Ⅲ. ゆいジョブ!プロジェクト

ゆいジョブ!は、2018年パワーアップフォーラム沖縄で結成したビジネスマッチング分科会を前身とする沖縄県内の福祉事業所職員を中心に活動する団体です。障がいのある方の就労に向けて一般企業とのマッチングを目指し、教育に関わる機関も交え幅広い活動をしています。2020年3月以降はコロナ禍となり企画した対面イベントは相次ぎ中止となるなか、2022年2月にはオンラインフォーラムを行い、同時進行していたビジネスマッチング情報局となるホームページを開設しました。

2022年6月にイーアス沖縄豊崎でマルシェを実施。沖縄島しょ部も含め15の施設が自主製品を販売し、2日間の売上は85万円にのぼりました。ステージを活用し職員らによるライブを行い、フロアには子どもも大人も集まり一緒に歌い踊る場面も見られ大盛況のイベントとなりました。8月には宜野湾市の沖縄コンベンションセンター会議棟で「おしごと発見フェア」を開催。沖縄県などが後援し、多くの企業や団体の協力を得て、合同企業説明会、おしごと体験会、就職準備相談会の3つのイベントで構成され、300名を超える来場者があり、地元のテレビや新聞などでも報道されました。11月にはフェアの振返りと次年度に向けた連絡会を開催し、出展企業をはじめ関係者に参加いただきました。各イベントのアンケート報告を行い、合同企業説明会では3社4名が採用にいたったとの報告がありました。2023年2月にはゆいジョブ!実行委員会は離島を含めたネットワークづくりのため、宮古島研修を実施。地元の福祉施設等を見学訪問したのち、意見交換、勉強会を行いました。

さらに、ゆいジョブ!のテーマソングプロジェクトを立ち上げ、10月から楽曲作りに着手し、特別支援学校教諭に手話の振り付けを依頼、ビーチパーティでライブ演奏に合わせて手話ダンスし熱唱する利用者の皆さんを映像におさめて、3月にプロモーションビデオが完成しました。楽曲は「ゆいストーリー」と命名し次年度以降YouTube配信し広報活動に効果的に使用していきます。

### (公3)表彰事業

障がい者の経済的な自立やノーマライゼーションに貢献した個人を表彰するため、第23回ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈事業を行いました。6月1日から8月31日まで公募を行い、10月17日の選考委員会で、中山みち代氏（社会福祉法人 パレット・ミル 常務理事 滋賀県栗東市）と山口由紀子氏（社会福祉法人 ハイジ福祉会 理事長 福岡県八女市）に受賞が決定しました。

中山みち代氏は、滋賀県大津市で子育て後にボランティアとして障がい者と関わって以来、障がい者の工賃向上に作業所を立ち上げた後、自ら開拓した仕事で高工賃の実績を上げ続けていること、山口由紀子氏は、福岡県八女市において、長年にわたり施設運営に携わり精神障がい者の社会復帰や家族への支援に大いに貢献しただけでなく、花きのパッケージ作業を通じて農福連携に取り組み、大きな成果を上げていることが高く評価され受賞となりました。

また、贈呈式は12月7日に一般社団法人日本工業倶楽部にてコロナウイルス感染防止対策として来賓のご招待を差し控えたなか、選考委員会が受賞者をお迎えする形でライブ配信いたしました。贈呈式の模様は現在もYouTubeにて視聴することができます。

### (公4)広報・啓発等事業

#### ①広報事業

財団ニュースを第74号から第77号まで年4回発行し「コラボメール便」としてヤマトグループ健康保険組合と共同で社員自宅まで配布しました。また、一般購読希望者858名と福祉施設作業所4,154カ所に無料配布を行いました。ホームページにも掲載し、広く一般に広報啓発を行っています。

#### ②啓発事業

障がい者本人によるクロネコDM便配達特別報告会は開催希望施設はあったものの、コロナウイルス感染問題により、開催を見合わせました。

## ③その他

## I. 他団体等への活動支援

## イ) 全Aネットによる「良き就労継続支援A型事業所の拡大支援事業」

全国のA型事業所の経営の健全化をはかり、働く障がいのある人のディーセントワークの実現を一層進めるため、NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会（全Aネット）による優良A型事業所認定制度の審査・認定委員会開催に対して助成し20事業所を認定し、累計で44事業所になりました。加えて、福祉のガバナンスや良き経営を理解してもらうことを目的に、6ヵ所で開催した就労支援セミナーについても助成しています。なお、より多くの事業所に視聴してもらうため、ハイブリッド形式の開催となりました。

## ロ) 日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事業

2022年、日本障害フォーラムは政府報告書に対する意見書を障害者権利委員会に提出。日本政府の締約国としての履行確認のため開催された建設的対話にも参加しました。この建設的対話をうけて国連障害者権利委員会から締約国総括所見が出されました。今回は2028年度を予定しており国民の協力のもと、指摘事項の改善が望まれています。この総括所見をもとに、日本障害フォーラムは周知・啓発活動を進めていくことになりました。公益財団法人助成財団センターを窓口として、20年にわたり助成を継続しています。

## II. ネパール小児白内障眼科医療に対する協力事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響により2年間休止していましたが、年度始めの段階においても、新型コロナウイルスによる影響の先行きが不透明であり来年度以降も計画的な事業ができないものと判断し、本年度で本事業を終結することにしました。なお、感染拡大が落ち着いた9月に現地に赴き、関係者への謝意を表すのと同時に書面での最終手続きを行いました。

## III. その他

## イ) 医療ケア児家族の支援団体立ち上げと運営支援

NPO法人「医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワーク」は、初年度の活動として家族による医的ケア児の施設立ち上げを支援する活動を開始しました。これに合わせて医的ケア児の家族取材した動画をYouTubeに公開し、母親のキャリアが中断されていく現状と医療的ケア児者の社会的なサポートの重要性を伝えました。また、オンラインフォーラムも開催し、母親の資格取得や就労の可能性についても取り上げました。

## ロ) ヤマトグループ社員参加型の障がい者施設支援施策事業

ヤマト運輸労働組合と連携しグループ社員に障がい者施設の利用者、職員との共有の場を提供することにより、これを機会として福祉施設との地域連携を深めるための事業を行いました。「ヤマト繋がるプロジェクト」編については（NPO）アクションポート横浜、「農業」編については、（一社）農福連携自然栽培パーティ全国協議会の協力の下、実施しています。

## ハ) 自然栽培パーティのドキュメンタリー映画上映会の助成

財団が設立以前から支援している一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会の創立から現在に至るまでの密着取材したドキュメンタリー映画が完成し、財団予備費からの助成金で東京渋谷をメイン会場に全国4ヵ所で上映会を開催しました。

## (公5)復興・再生支援事業

本年度は幸いにも、甚大な災害が発生せず未実施となりました。

## ■ 賛助会員の状況

当財団の母体であるヤマトホールディングス（株）とそのグループ会社で組織する賛助会員数は74,371人となっています。

(公1) 助成事業

## 2022年度中に実施した助成事業

## I. 障がいのある大学生への奨学金の支給

## ■ 障がい者大学生 40名

	大学名	学年	氏名
1	札幌大学	4年生	山田 悠稀
2	筑波大学	4年生	杉山 寛大
3	日本大学	4年生	鈴木 海人
4	日本大学	4年生	成嶋セルジオ正章
5	東京大学	4年生	奥田 祥太郎
6	東京大学	4年生	菅田 利佳
7	東洋大学	4年生	中村 美彩
8	帝京大学	3年生	大西 歩
9	日本社会事業大学	3年生	神谷 歩未
10	茨城大学	4年生	植田 帆乃香
11	慶応義塾大学	3年生	横山 莉子
12	岐阜聖徳学園大学	3年生	串田 達哉
13	島根県立大学	4年生	藤村 光
14	愛媛大学	3年生	川添 七海
15	愛媛大学	3年生	佐藤 千優
16	琉球大学	3年生	大城 円香
17	中央大学	3年生	持田 温紀
18	群馬大学	2年生	栗田 鈴華
19	筑波技術大学	2年生	船山 滉介
20	筑波大学	3年生	渡辺 陽

	大学名	学年	氏名
21	花園大学	2年生	植松 健太
22	京都府立大学	2年生	若林 直央
23	立命館大学	4年生	山田 晴菜
24	川崎医療福祉大学	2年生	川角 祐太
25	安田女子大学	3年生	野林 千聖
26	長崎国際大学	2年生	立石 有梨佳
27	宮城学院女子大学	1年生	佐藤 かえで
28	東京農業大学	1年生	森 柊也
29	日本大学	2年生	長縄 創也
30	日本社会事業大学	2年生	吉田 あさひ
31	日本大学	2年生	岩川 佳士乃
32	和光大学	1年生	北田 晴人
33	早稲田大学	1年生	向原 毅貴
34	筑波技術大学	1年生	一井 元希
35	富山大学	3年生	塚原 杏由理
36	静岡県立大学	1年生	三枝 巧実
37	皇學館大学	2年生	中森 七海
38	三重大学	1年生	世古口 彩花
39	立命館大学	1年生	五井 比奈子
40	琉球大学	3年生	上原 直美

## Ⅱ. 2022年度ヤマト福祉財団助成金

( 障がい者給料増額支援助成金・障がい者福祉助成金 助成件数及び金額合計：69件／1億3,732万円 )

### 1. 障がい者給料増額支援助成金 実施一覧 (39件／1億1,846万円)

単位(万円)

	所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	決定金額
1	北海道石狩郡当別町	Farm Agricola	飼養羽数増加に伴う配合飼料量増加対応に向けた攪拌混合機・スクリューコンベア・粉碎機の購入資金	403
2	北海道白老郡白老町	フロンティア	量産化に必要な機器の購入資金	500
3	北海道伊達市	第2ふみだす	食品製造に係るニーダー機購入資金	420
4	北海道札幌市北区	パン工房あんぴしゃす	厨房機器購入資金	415
5	宮城県登米市	ラポラーレ登米	新規事業に必要なとなる機器などの購入資金	484
6	福島県南相馬市鹿島区	就労継続支援B型きぼうのあさがお	フリーズドライ機械、急速冷凍庫購入資金	500
7	千葉県香取市	栗源第一薪炭供給所	トラクター及び堆肥散布機購入資金	500
8	千葉県木更津市	一粒舎	3tダンプトラック購入資金	445
9	滋賀県草津市	メイプル滋賀工場	高精度切断機導入	500
10	奈良県山辺郡山添村	夢工房どうで	動物ふれあいコーナー及び農産物加工厨房の整備資金	494
11	愛媛県喜多郡内子町	Sa. おいでや内子	菌床椎茸栽培施設の規模拡大に係る整備資金	500
12	宮崎県西臼杵郡日之影町	フラワーパークのぞみ工房	業務用洗濯機、乾燥機購入資金、又設置のための工事資金	450
13	沖縄県うるま市	大夢・プチ大夢	パミスサンド栽培をする為の資材・設置に係る資金	400
14	北海道岩見沢市	patisserie空香	金属検出器購入資金	118
15	山形県東根市	多機能型支援センター大げやきの家	スチームコンベクションオープンとオープンレンジの購入資金	74
16	福島県喜多方市	フォルテ	パン・お菓子の移動販売用の車両購入資金	210
17	茨城県取手市	ボニーの家多機能	コーヒー焙煎機購入資金	50
18	茨城県日立市	LIB	干物の製造に使用する機器の購入資金	328
19	埼玉県朝霞市	ひまわり工房	汚物除去機の購入資金	189
20	東京都世田谷区	しごとも	新規業務開始のための環境整備及び機器購入、年間ライセンス契約の資金	190
21	新潟県佐渡市	障がい者就労トレーニングファーム チャレンジド立野	小型レトルト殺菌器とセラミカ熟成乾燥機の購入資金	350
22	長野県安曇野市	はたらく工房	プラスチックラー・冷凍庫購入資金	240
23	愛知県江南市	くるみのお店	公園での清掃及び除草作業で使用する道具と運搬車の購入資金	250
24	京都府綾部市	いかるがの郷	ガーメントプリンタ (Tシャツ・トレーナー印刷用 インクジェット型印刷機)・自動前処理機購入資金	229
25	兵庫県小野市	就労支援事業所宿花	土壌改良に必要な日立バックホークボタラクタ購入資金	350
26	兵庫県加古川市	一圭会加古川事業所	フェイスタオルたたみ機及び結束機導入資金	350
27	和歌山県日高郡美浜町	太陽作業所	作業場にするプレハブの購入資金	170
28	鳥取県米子市	障害福祉サービス事業所あんず・あぶりこ	作りたてにより近い品質を保てるように急速冷却する プラスチックラー&ショックフリーザーの購入資金	180
29	岡山県津山市	トラストワークスA型事業所	コンテナ、シーラー購入資金	70
30	広島県尾道市	すきっぴ	冷凍ピザ販売に関わる機材購入及び改装資金	330
31	山口県宇部市	緑豊舎	ミニバックフォー、油圧式フォークの購入資金	390
32	徳島県板野郡北島町	徳島北障害者支援センター	印刷機器購入資金	114
33	徳島県吉野川市	就労継続支援B型アトリエひまわり	椎茸発生室改修工事資金	200
34	香川県小豆郡土庄町	ひまわりの家就労継続支援B型事業所	剪定オリーブ枝の粉碎機購入資金	60
35	福岡県古賀市	なないろワーク	廃棄野菜を乾燥・粉末に加工する機械、及び出荷準備用機械の購入	228
36	長崎県諫早市	就職支援事業所みらい	花苗生産量拡大のためのビニールハウス導入資金	337
37	大分県杵築市	住吉浜リゾートパーク	キッチントレーラーの購入資金	350
38	大分県佐伯市	太陽農園	移動販売車購入資金	368
39	鹿児島県枕崎市	ふじ美の里	干し梅製造のための乾燥器具の購入資金	110

助成先

## 1 Farm Agricola（北海道石狩郡当別町） | 就労継続支援A型 |

助成対象事業の内容および助成額



■飼養羽数増加に伴う配合飼料増加対応に向けた  
攪拌混合器・スクリュー  
コンベア・粉砕器の購入  
資金

■助成金：4,030,000円

### 一万羽養鶏規模拡大で利用者の固定給10万円・社会保険完備の実現を

Farm Agricolaは数百羽規模からスタートし自家配合飼料で平飼い飼育を進め、現在、ビニールハウス8棟で、4,200羽まで養鶏規模を拡大してきました。平飼い卵の認知度が広まり、需要も拡大。毎週1000パックの商品を提供していますが、現体制では対応が間に合わずお客様のニーズに100%応えられていません。2023年に7,000羽、2025年には10,000羽へと拡大するためには、自家配合飼料の製造が、現在所有する飼料製造機械では対応が難しい状況です。助成で、1万羽の自家配合の飼料製造を実現する、粉砕器・スクリューコンベア・攪拌機を導入。これにより、7,000羽で、現在の約1.77倍、10,000羽で約2.4倍となるため、ニーズのある定期取引先だけでなく、自社サイトや産直ECサイト、ふるさと納税、飲食店など、目標販売数は十分達成できます。

助成先

## 2 フロンティア（北海道白老郡白老町） | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



■量産化に必要な機器の購入資金 ■助成金：5,000,000円

### 健康野草茶で工賃アップ

フロンティアでは、アイヌ民族が暮らしていた白老に根ざした仕事づくりを基本としています。これまで自然に自生しているイタドリやエントを健康茶として販売し、「民族象徴空間ウポポイ」が白老にできたことで飛躍的に伸びましたが、生産が追いつきません。

3haの農場の有機認証は取りましたが、地元の企業からのOEM受注に応えられない状況です。収穫した作物の乾燥、粉砕、焙煎、袋詰めなど、助成により大量生産を可能にする機械を導入し、利用者さんの大幅な賃金アップにとどまらず、アイヌの食文化を日本中に広める大きな力となります。

助成先

### 3 第2ふみだす（北海道伊達市） | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



■食品製造に係るニーダー機購入資金 ■助成金：4,200,000円

#### 食品製造加工品の品種拡大で安定した工賃支給を

第2ふみだすでは、食品製造加工や青果の袋詰め作業などを中心に行っています。コロナウイルスの影響により減収、工賃支給も厳しい状況です。

少量の製造で大きく収益が上げられない、1品ごとに製造を行っているため他の製造を行うゆとりがないなどの課題があります。助成で大型自動攪拌機を導入し大量製造を可能にして、製造品目を増やし販売先を拡大させることで収益増を見込んでいます。

助成先

### 4 パン工房あんびしゃす（北海道札幌市北区） | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



■厨房機器購入資金 ■助成金：4,150,000円

#### 店頭販売・外販営業拡充に向けて

厳選素材を使用した高級食パン専門店とカフェを運営しています。コロナ禍によりイベントの中止、外販先の減少、来客数の減少で売上が落ち込んでいます。助成によりコンベクションオープン・スーパーシーター・ドウコンデショナーを導入し、パンの製造種類を増やし、製造量をアップさせ、月25%の売上増を見込んでいます。パン・カフェの新作メニュー開発にも積極的に取り組みます。

助成先

## 5 ラボラーレ登米(宮城県登米市) | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



■新規事業に必要な機器などの購入資金 ■助成金：4,840,000円

### 新規事業で地域へ貢献、経済的自立を

現在の厨房事業では工賃アップが望めません。そこで福祉施設を対象としたミールキットの販売を新規事業として立ち上げることにしました。助成でプラスチックラー、真空包装機、スライサー、ミキサーなどを導入し、23年に270食、25年には上限の540食を製造。厨房職員が不足する高齢者施設、病院や児童施設など地域施設への貢献と、利用者のやりがいをつくり工賃アップを目指します。

助成先

## 6 きぼうのあさがお(福島県南相馬市) | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



■フリーズドライ機械、急速冷凍庫購入資金 ■助成金：5,000,000円

### 青ばた豆のおつまみをあさがおブランドに

東日本大震災時には行き場を失った障がい者を積極的に受け入れ、青ばた豆を有機栽培し、豆腐、味噌などに加工販売して利用者工賃としてきました。コロナ禍で行事がなくなり、サービスエリアの売上も激減。内職等の仕事もなくなり、自主製品で生きる覚悟が問われています。以前からおつまみをつくろうと、青ばた豆のフリーズドライ加工を外注しましたが原価が高く、小さな器具では少量しか生産できません。助成でフリーズドライ機械等を導入し、あさがおブランドとして、また、果物のパウダー加工、避難食の加工など地域に貢献できる製品をつくり、利用者工賃向上を目指します。

助成先

7

栗源第一薪炭供給所（千葉県香取市） | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



■トラクター及び堆肥散布機  
購入資金  
■助成金：5,000,000円

### 大型トラクター導入で収量大幅アップ

栗源第一薪炭供給所はサツマイモの栽培を中心とした農業と林業を行っています。林業では、約30haの森林保全管理を行い、森作りから薪と家具の製造販売を目指し、行政と森作りを考える活動までに発展しています。

香取市はさつまいもの名産地で、農業ではベニアズマ、ベニハルカ、ベニコマチ、シルクスイートの4種のサツマイモを3haで栽培。長年サツマイモ栽培を続けてきた畑に、有機物やミネラルを混ぜ込みながら、豊かな土壌を作り、サツマイモの品質向上を目指しています。助成により57馬力のトラクターと土壌改良のための堆肥散布用機械を導入。作業の効率化を図り耕作面積を増やしていく計画です。新たに3haの畑を借り受け、現在の2倍の6haへ拡大。サツマイモや落花生の栽培を行い、農業生産額を年間1,000万円増やすことが可能になります。収量が増え、選別や加工作業を通年にわたって増やすことができるので、利用者を増員し3年後には工賃を現在より13,000円増額を見込みます。

助成先

8

一粒舎（千葉県木更津市） | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



■3トンダンプトラック購入資金 ■助成金：4,450,000円

### 得意分野の除草仕事でもう一本の事業の柱を

一粒舎では農薬を使わないブルーベリーの栽培と観光摘み取り園事業(1.2ha、1200本)を行い、六次化を進めています。しかし異常気象が続き、ブルーベリー収穫が不安定で収入の柱を複数にする必要が出てきました。じつは、地域の高齢者から頼まれる除草仕事が評判となり、木更津市営住宅の除草も委託されるようになりました。除草仕事は一粒舎の得意仕事であり、高い収益性もあります。助成によりダンプトラックを導入することで、除草だけでなく竹や雑木の伐採等、新たな仕事も拡大し工賃引き上げの財源確保としていきます。

助成先

9

メイプル滋賀工場（滋賀県草津市） | 就労継続支援A型 |

助成対象事業の内容および助成額



■高精度切断機導入 ■助成金：5,000,000円

### 建材からアルミ加工品へ

メイプル滋賀工場ではアルミサッシ関連製品を主力事業として、利用者さんは切断、加工、組立、養生、出荷等を担っています。近年建材関連が減少し、時短操業をせざるを得ない状況です。そこで、建材以外のアルミ加工品(自動車、家電、半導体等)の受注に向けて動いています。現状の切断機では対応ができないため、助成による高精度切断機の導入で精度を向上させ、稼働率をあげ賃金向上へつなげていきます。

助成先

10

夢工房どうで（奈良県山辺郡山添村） | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



■動物ふれあいコーナーおよび農産物加工厨房の整備資金 ■助成金：4,940,000円

### 加工品製造の本格化でリピート客の増大を

産直施設と小動物園を地域の交流拠点として運営していましたが、コロナ禍で来店者が激減。テイクアウトや加工品の製造販売など進めてきましたが、どれも対策にはならず、工賃支給に支障が出る可能性が出ていました。助成により、加工品製造を本格化させるための機器を導入。小動物園を「体験できる動物園」に整備して、リピート客の増加を図り、併設の産直施設の売上向上につなげます。

助成先

11

Sa.おいでや内子（愛媛県喜多郡内子町） | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



■菌床栽培施設の規模拡大に係る整備資金 ■助成金：5,000,000円

#### 菌床椎茸栽培施設の拡充で175%の増産

菌床椎茸栽培を初めて3年。さまざまなトラブルを乗り越え、取引業者も徐々に増え販路も安定してきましたが、現在の栽培環境ではこれ以上の増産が見込めません。助成により栽培施設の拡充を図ります。栽培用菌床ブロックを増やし、温度管理等栽培環境を整えることで、約175%の増産を見込んでいます。これにより、利用者さんへの安定的な作業提供と工賃アップにつなげます。

助成先

12

フラワーパークのぞみ工房（宮崎県西臼杵郡日之影町） | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



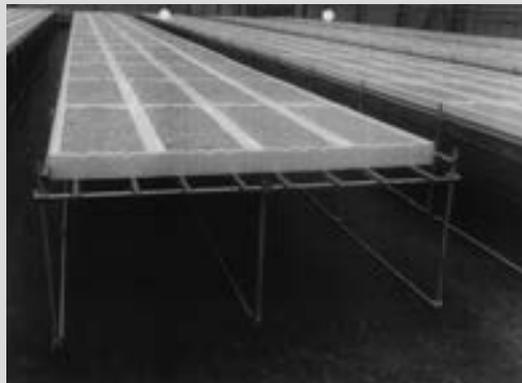
■業務用洗濯機、乾燥機購入  
資金、設置のための工事代金  
■助成金：4,500,000円

#### 洗濯事業参入で「工賃を稼ぎたい」を叶える

原木椎茸栽培、草刈りや掃除等を行っていますが、さらなる工賃アップのため、昨年10月より郡内の3病院の病衣・タオル等の洗濯作業を受注しました。現在は家庭用の洗濯機2台と乾燥機1台で行っているため、作業量に限界があります。乾燥が間に合わない場合はたたみ作業にも影響。今後洗濯量が増えることも予想されるので業務用洗濯機・乾燥機の導入することで、大量の数量をこなすことが可能になります。

助成先

## 13 大夢・プチ大夢（沖縄県うるま市） | 就労継続支援A・B型 |



■パミスサンド栽培をするための資材・設置に係る資金 ■助成金：4,000,000円

助成対象事業の内容および助成額

### パミスサンド栽培で安定供給

ネギを中心に季節野菜やハーブ類の栽培を行い、県内のスーパーやホテルなどに出荷しています。ネギに関してはパミスサンド栽培(土を使わず軽石などを使う養液栽培)を行い、安定した出荷をしています。土耕栽培を行っている葉野菜やハーブについては安定した収穫ができていません。助成で他の野菜もパミスサンド栽培に変更し、取引先から依頼されていた野菜やハーブの栽培で売上アップを図ります。

助成先

## 14 patisserie空香（北海道岩見沢市）



■金属検出器の購入資金  
■助成金：1,180,000円

助成対象事業の内容および助成額

助成先

## 15 多機能型支援センター大けやきの家（山形県東根市）

助成対象事業の内容および助成額



- スチームコンベクションオーブンとオーブンレンジの購入資金
- 助成金：740,000円

助成先

## 16 フォルテ（福島県喜多方市）

助成対象事業の内容および助成額



- パン・お菓子の移動販売用の車両購入資金
- 助成金：2,100,000円

助成先

## 17 ポニーの家多機能（茨城県取手市）

助成対象事業の内容および助成額



- コーヒー焙煎機購入資金
- 助成金：500,000円

助成先

## 18 LIB（茨城県日立市）

助成対象事業の内容および助成額



■干物の製造に使用する機器の購入資金  
■助成金：3,280,000円

助成先

## 19 ひまわり工房（埼玉県朝霞市）

助成対象事業の内容および助成額



■汚物除去機の購入資金  
■助成金：1,890,000円

助成先

## 20 しごとも（東京都世田谷区）

助成対象事業の内容および助成額



■新規業務開始のための環境整備及び  
機器購入、年間ライセンス契約の資金  
■助成金：1,900,000円

助成先

## 21 障がい者就労トレーニングファーム チャレンジド立野（新潟県佐渡市）

助成対象事業の内容および助成額



- 小型レトルト殺菌器とセラミカ熟成乾燥機の購入資金
- 助成金：3,500,000円

助成先

## 22 はたらく工房（長野県安曇野市）

助成対象事業の内容および助成額



- プラスチック・冷凍庫購入資金
- 助成金：2,400,000円

助成先

## 23 くるみのお店（愛知県江南市）

助成対象事業の内容および助成額



- 公園での清掃及び除草作業で使用する道具と運搬車の購入資金
- 助成金：2,500,000円

助成先

24

いかるがの郷

京都府綾部市

助成対象事業の内容および助成額



■ゲームントプリンタ（Tシャツ・トレーナー印刷用インクジェット型印刷機）・自動前処理機購入資金

■助成金：2,290,000円

助成先

25

就労支援事業所 宿花

兵庫県小野市

助成対象事業の内容および助成額



■土壌改良に必要な日立バックホークボタトラクタ購入資金

■助成金：3,500,000円

助成先

26

一圭会加古川事業所

兵庫県加古川市

助成対象事業の内容および助成額



■フェイスタオルたたみ機及び結束機導入資金

■助成金：3,500,000円

助成先

27

太陽作業所

和歌山県日高郡美浜町

助成対象事業の内容および助成額



■作業場にするプレハブの購入資金

■助成金：1,700,000円

助成先

28

障害福祉サービス事業所  
あんず・あぶりこ

鳥取県米子市

助成対象事業の内容および助成額



■作りたてにより近い品質を保てるように急速冷却するブラストチラー&ショックフリーザーの購入資金

■助成金：1,800,000円

助成先

29

トラストワークスA型事業所

岡山県津山市

助成対象事業の内容および助成額



■コンテナ、シーラー購入資金

■助成金：700,000円

助成先

30

すきっぴ

広島県尾道市

助成対象事業の内容および助成額



■冷凍ピザ販売に関わる機材購入及び改装資金

■助成金：3,300,000円

助成先

31

緑豊舎

山口県宇部市

助成対象事業の内容および助成額



■ミニバックホー、油圧式フォークの購入資金

■助成金：3,900,000円

助成先

### 32 徳島北障害者支援センター

徳島県板野郡北島町

助成対象事業の内容および助成額



- 印刷機器購入資金
- 助成金：1,140,000円

助成先

### 33 就労継続支援B型アトリエ ひまわり

徳島県吉野川市

助成対象事業の内容および助成額



- 椎茸発生室改修工事資金
- 助成金：2,000,000円

助成先

### 34 ひまわりの家 就労継続支援B型事業所

香川県小豆郡土庄町

助成対象事業の内容および助成額



- 剪定オリーブ枝の粉碎機購入資金
- 助成金：600,000円

助成先

### 35 なないろワーク

福岡県古賀市

助成対象事業の内容および助成額



- 廃棄野菜を乾燥・粉末に加工する機械、及び出荷準備用機械の購入
- 助成金：2,280,000円

助成先

### 36 就職支援事業所みらい

長崎県諫早市

助成対象事業の内容および助成額



- 花苗生産量拡大のためのビニールハウス導入資金
- 助成金：3,370,000円

助成先

### 37 住吉浜リゾートパーク

大分県杵築市

助成対象事業の内容および助成額



- キッチントレーラーの購入資金
- 助成金：3,500,000円

助成先

### 38 太陽農園

大分県佐伯市

助成対象事業の内容および助成額



- 移動販売車購入資金
- 助成金：3,680,000円

助成先

### 39 ふじ美の里

鹿児島県枕崎市

助成対象事業の内容および助成額



- 干し梅製造のための乾燥器具の購入資金
- 助成金：1,100,000円

## 2. 障がい者福祉助成金 実施一覧 (30件/1,886万円)

単位(万円)

	所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	申請区分	決定金額
1	宮城県気仙沼市	きこいる片耳難聴のコミュニティ	「片耳難聴の啓発ショート動画」制作事業	ボランティア活動	36
2	宮城県仙台市若林区	NPO法人 自閉症ピアリンクセンターここねっと	障がい者の「親なきあと」について、親の想いと支援者のサポートを発信する事業	会議	75
3	栃木県宇都宮市	うりずん	卒園親子遠足～水族館を楽しもう!事業	文化活動	17
4	埼玉県本庄市	障害者支援施設 ひまわり自立支援センター	強度行動障害支援者養成研修受講後のフォローアップ研修体制の構築に関する研究	研究	93
5	埼玉県さいたま市南区	教育を軸に子どもの成長を考える会	発達障害児の具体的事例と効果的な考え方を共有するセミナー事業	講演会	75
6	千葉県千葉市花見川区	ちばAネット	A型利用者のためのフェスティバル「Aフェス2022 in ちば」イベントの開催事業(音響設備の購入資金)	文化活動	45
7	神奈川県横浜市磯子区	磯子区障害者地域活動ホーム	あいさつシリーズVOL.4「ぼくのあたりまえはきみのあたりまえとおなじようであつてだからおもしろい」	文化活動	81
8	神奈川県横須賀市	横須賀市ボランティア連絡協議会	あったかハート交流会 (障害者週間キャンペーンYOKOSUKAの一環事業)	ボランティア活動	9
9	神奈川県横浜市中区	一般社団法人 スローコミュニケーション	書籍「10代からの困りごと解決ハンドブック～あなたがあなたらしく生きるためのライフハック(仮)」の出版	出版	100
10	神奈川県鎌倉市	NPO法人 湘南バリアフリーツアーセンター	旅リハモデルツアーの実施ならびにインターネットによる旅リハ実践事例の紹介	文化活動	100
11	東京都豊島区	NPO法人東京都自閉症協会	自閉スペクトラム症の人の親を対象とした成年後見連続講座	講演会	18
12	東京都世田谷区	CCHSファミリー会(任意団体)	重い障害を持つ方の「働く」を応援し、社会での理解促進の動画制作	調査	96
13	東京都渋谷区	ダイバーシティキャリアセンター	精神・発達障害があるLGBTQの福祉利用にかんする調査	調査	100
14	東京都多摩市	NPO法人 日本聴覚障害者コンピュータ協会	聴覚障害のある児童生徒が楽しく学べるプログラミング教室	ボランティア活動	100
15	東京都八王子市	八王子自助具工房フレンズ	木工レンタル工房の活用及び加工効率アップ器具(スライド丸鋸)消耗刃物等購入	ボランティア活動	20
16	東京都武蔵野市	視覚・聴覚障害者の学びを推進する会	盲文化・ろう文化セミナー	講演会	100
17	愛知県豊田市	NPO法人豊田ハンディキャプの会	障害のある人たちのよりよい就労に関する調査研究	調査・研究	90
18	愛知県名古屋南区	自立支援センターるっく	当事者による当事者のための「生涯学習セミナー2022」	文化活動	100
19	京都府宇治市	知的障がいと自閉症児者のための読書活動を進める会	知的障害者の読書支援のための代読ボランティア養成講座 学習用冊子の出版	出版	100
20	大阪府和泉市	NPO法人 サポートグループほわほわの会	障がい者の意思決定支援のための「やさしい日本語」啓発・普及・研修事業	講演会	50
21	大阪府高槻市	発達に気になる子どもと保護者のための支援室とらいさぼーと	発達障害児者が安心して過ごせる環境を整え、個別の学習や余暇支援を年間を通じて定期的に提供する活動	ボランティア活動	12
22	和歌山県和歌山市	紀の国・和歌山 脊柱靭帯骨化症友の会	当会による講演会と交流会、ミニ交流会事業、 当会パンフレット作成	講演会	20
23	山口県萩市	あったかマルシェネット	あったかマルシェ	文化活動	40
24	香川県高松市	災害弱者安心ネットワーク高松	地域で守ろう災害時要支援者の安全	ボランティア活動	17
25	香川県観音寺市	スポーツ委員会	あさいとスポーツフェスタ2022	スポーツ活動	20
26	愛媛県松山市	NPO法人シアターネットワークえひめ	障がいのある人のアート作品の展示と交流事業	文化活動	100
27	愛媛県伊予郡松前町	インクルーシヴ・松山ヒカリアのアトリエ	障がい者のアートと社会をテクノロジーで繋ぐ自立促進事業 (展覧会・アーカイブ図録制作・アーカイブを活用)	文化活動	100
28	福岡県福岡市東区	福岡県立図書館音訳の会	今よりもっと!よりよい録音図書を提供を目指して	ボランティア活動	17
29	熊本県熊本市西区	NPO法人凸凹ライフデザイン	発達障害特性を考慮したWRAP実施の為のマニュアル整備事業	研究	100
30	沖縄県与那原町	沖縄キッズランニングスクール・車いす体験会実行委員会	沖縄キッズランニングスクール・車いす体験会	スポーツ活動	55

助成先 助成対象事業の内容および助成額

ボランティア活動

1

きこいろ片耳難聴の  
コミュニティ

宮城県気仙沼市



■「片耳難聴の啓発ショート動画」  
制作事業  
■助成金：360,000円

会議

2

NPO法人  
自閉症ピアリンク  
センターここねっと

宮城県仙台市若林区



■障がい者の「親なきあと」について、  
親の想いと支援者のサポートを発信する事業  
■助成金：750,000円

文化活動

3

うりずん

栃木県宇都宮市



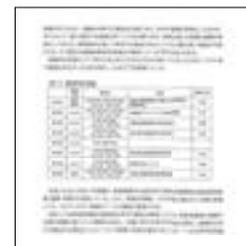
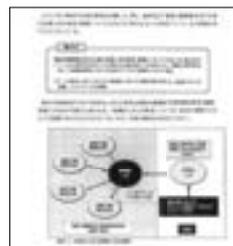
■卒園親子遠足  
～水族館を楽しもう!事業  
■助成金：170,000円

研究

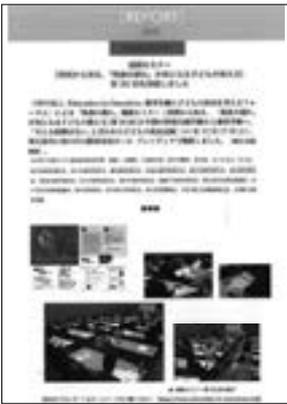
4

障害者支援施設  
ひまわり自立支援  
センター

埼玉県本庄市



■強度行動障害支援者養成研修受講後の  
フォローアップ研修体制の構築に関する研究  
■助成金：930,000円

助成先	助成対象事業の内容および助成額	
<p>講演会</p> <p><b>5</b></p> <p>教育を軸に子どもの成長を考える会</p> <p>埼玉県 さいたま市南区</p>		 <p>■発達障害児の具体的な事例と効果的な考え方を共有するセミナー事業</p> <p>■助成金：750,000円</p>
<p>文化活動</p> <p><b>6</b></p> <p>ちばAネット</p> <p>千葉県 千葉市花見川区</p>		 <p>■A型利用者のためのフェスティバル「Aフェス2022 in ちば」イベントの開催事業（音響設備の購入資金）</p> <p>■助成金：450,000円</p>
<p>文化活動</p> <p><b>7</b></p> <p>磯子区障害者地域活動ホーム</p> <p>神奈川県 横浜市磯子区</p>		 <p>■あいさつシリーズvol. 4 「ぼくのあたりまえはきみのあたりまえとおなじようであちがってるだからおもしろい」</p> <p>■助成金：810,000円</p>
<p>ボランティア活動</p> <p><b>8</b></p> <p>横須賀市ボランティア連絡協議会</p> <p>神奈川県横須賀市</p>		 <p>■あつたかハート交流会（障害者週間キャンペーン YOKOSUKAの一環事業）</p> <p>■助成金：90,000円</p>

助成先 助成対象事業の内容および助成額

出版

9

一般社団法人  
スローコミュニケーション  
.....  
神奈川県横浜市中区



■書籍『10代からの困りごとと解決ハンドブック～あなたがあなたらしく生きるためのライフハック(仮)』の出版  
■助成金：1,000,000円

文化活動

10

NPO法人  
湘南バリアフリー  
ツアーセンター  
.....  
神奈川県鎌倉市



■旅リハモデルツアーの実施ならびにインターネットによる旅リハ実践事例の紹介  
■助成金：1,000,000円

講演会

11

NPO法人  
東京都自閉症協会  
.....  
東京都豊島区



■自閉スペクトラム症の人の親を対象とした成年後見連続講座  
■助成金：180,000円

調査

12

CCHSファミリー会  
(任意団体)  
.....  
東京都世田谷区



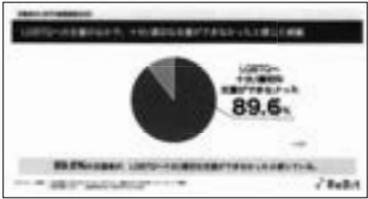
■重い障害を持つ方の「働く」を応援し、社会での理解促進の動画制作  
■助成金：960,000円

助成先 助成対象事業の内容および助成額

調査

**13**

ダイバーシティ  
キャリアセンター  
.....  
東京都渋谷区

■精神・発達障害があるLGBTQの  
福祉利用に関する調査  
■助成金：1,000,000円

ボランティア活動

**14**

NPO法人  
日本聴覚障害者  
コンピュータ協会  
.....  
東京都多摩市




■聴覚障害のある児童生徒が楽しく  
学べるプログラミング教室  
■助成金：1,000,000円

ボランティア活動

**15**

八王子自助具工房  
フレンズ  
.....  
東京都八王子市




■木工レンタル工房の活用  
及び加工効率アップ器具  
(スライド丸鋸) 消耗刃物  
等購入  
■助成金：200,000円

講演会

**16**

視覚・聴覚障害者の  
学びを推進する会  
.....  
東京都武蔵野市





■盲文化・ろう文化セミナー ■助成金：1,000,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

調査・研究

17

NPO法人  
豊田ハンディキャブ  
の会

愛知県豊田市



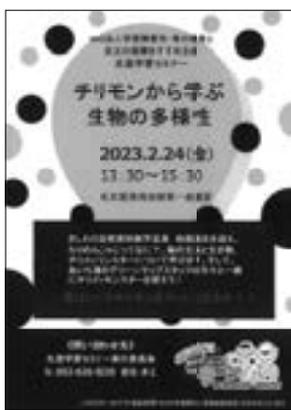
■障害のある人たちのよりよい就労に関する調査研究  
■助成金：900,000円

文化活動

18

自立支援センター  
るっく

愛知県名古屋市南区



■当事者による当事者のための「生涯学習セミナー2022」  
■助成金：1,000,000円

出版

19

知的障がいと  
自閉症児者のための  
読書活動を進める会

京都府宇治市



■知的障害者の読書支援のための  
代読ボランティア養成講座  
学習用冊子の出版  
■助成金：1,000,000円

講演会

20

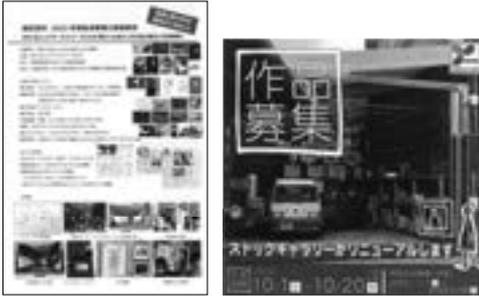
NPO法人  
サポートグループ  
ほわほわの会

大阪府和泉市



■障がい者の意思決定支援のための  
「やさしい日本語」啓発・普及・研修事業  
■助成金：500,000円

助成先	助成対象事業の内容および助成額	
<p>ボランティア活動</p> <p style="text-align: center;"><b>21</b></p> <p>発達が気になる子どもと 保護者のための支援室 とらいさぽーと ..... 大阪府高槻市</p>		 <p>■発達障害児者が安心して過ごせる環境を整え、 個別の学習や余暇支援を年間を通じて定期的に 提供する活動 ■助成金：120,000円</p>
<p>講演会</p> <p style="text-align: center;"><b>22</b></p> <p>紀の国・和歌山 脊柱靱帯骨化症友の会 ..... 和歌山県和歌山市</p>		 <p>■当会による講演会と交流会、ミニ交流会事業、 当会パンフレット作成 ■助成金：200,000円</p>
<p>文化活動</p> <p style="text-align: center;"><b>23</b></p> <p>あったかマルシェネット ..... 山口県萩市</p>		 <p>■あったかマルシェ ■助成金：400,000円</p>
<p>ボランティア活動</p> <p style="text-align: center;"><b>24</b></p> <p>災害弱者安心ネットワーク 高松 ..... 香川県高松市</p>		 <p>■地域で守ろう災害時要支援者の安全 ■助成金：170,000円</p>
<p>スポーツ活動</p> <p style="text-align: center;"><b>25</b></p> <p>スポーツ委員会 ..... 香川県観音寺市</p>		 <p>■あさいとスポーツフェスタ2022 ■助成金：200,000円</p>

助成先	助成対象事業の内容および助成額
<p>文化活動</p> <p><b>26</b></p> <p>NPO法人 シアターネットワーク えひめ ..... 愛媛県松山市</p>	 <p>■障がいのある人の アート作品の展示と 交流事業 ■助成金：1,000,000円</p>
<p>文化活動</p> <p><b>27</b></p> <p>インクルーシヴ・ 松山ヒカリのアトリエ ..... 愛媛県伊予郡松前町</p>	 <p>■障がいの者のアートと社会を テクノロジーで繋ぐ自立促進 事業（展覧会・アーカイブ 図録制作・アーカイブを活用 ■助成金：1,000,000円</p>
<p>ボランティア活動</p> <p><b>28</b></p> <p>福岡県立図書館音訳の会 ..... 福岡県福岡市東区</p>	 <p>■今よりもっと！よりよい 録音図書を提供を 目指して ■助成金：170,000円</p>
<p>研究</p> <p><b>29</b></p> <p>NPO法人 凸凹ライフデザイン ..... 熊本県熊本市西区</p>	  <p>■発達障害特性を考慮したWRAP実施の為の マニュアル整備事業 ■助成金：1,000,000円</p>
<p>スポーツ活動</p> <p><b>30</b></p> <p>沖縄キッズランニングス クール・車いす体験会 実行委員会 ..... 沖縄県与那原町</p>	  <p>■沖縄キッズランニングスクール・車いす体験会 ■助成金：550,000円</p>

## (公2) 研修・育成事業

# 2022年度 障がい者の働く場 パワーアップフォーラム実施報告

## Ⅰ 実施報告

コロナ禍で開催の方法を模索し、2022年度は「現地からお届けするパワーアップフォーラム」として9月に滋賀会場、11月に宮城会場からYouTubeで配信。視聴者の目となり耳となるゲストをホスト会場にお迎えして開催しました。2022年度を締めくくる形で、2023年1月、東京会場では参加者を会場に集めて、同時にYouTubeのライブ配信を行うハイブリッドで開催。

テーマは「人は自立して生活することで幸せを感じられる」。サブテーマは「高工賃へのあくなき挑戦」として、全部で3会場から全国に発信しました。

## Ⅱ プログラム内容

現地からお届けする  
オンラインフォーラム **滋賀会場**

日 時：2022年9月22日(木) 13:00~16:00

会 場：社会福祉法人共生シンフォニー

### 成功事例から学んで、ポストコロナの販売方法を探っていこう！

13:00	主催者挨拶	
13:05		本日のプログラムのご案内
13:10	ホスト講演 ビデオ事業所紹介	<b>私たちの軌跡と高工賃への取り組み</b> 社会福祉法人共生シンフォニー / 常務理事 中崎ひとみ がんばカンパニー / 所長 水野 武 はっぴいミール・ほわいとクラブ / 所長 荷宮将義  <b>共生シンフォニー事業所紹介ビデオ</b> がんばカンパニー / はっぴいミール / ほわいとクラブ
13:50	講 演	<b>障害のある人の働く意味「ディーセントワークの視点を踏まえて 私たちに問われること」</b> NPO法人日本障害者協議会 / 代表 藤井克徳
14:20	ゲスト報告①	認定NPO法人麦の会 コッペ / 代表理事 飯嶋 茂
14:40	ゲスト報告②	社会福祉法人平成会 多機能型事業所あさひサービス / 管理責任者 岩岡智之
15:00	休憩(10分)	
15:10	シンポジウム	<b>テーマ：さらなる高工賃を目指し新たな販路への挑戦、取り組みについて</b> ゲストから、共生シンフォニー事業所の見学レポート シンポジスト / 中崎ひとみ・飯嶋 茂・岩岡智之 コーディネータ / 藤井 克徳
16:00	終 了	

現地からお届けする  
オンラインフォーラム **宮城会場**

日 時:2022年11月25日(金) 13:00~16:00

会 場:社会福祉法人はらから福祉会

### 障がいの重い人にも高い工賃を実現する支援方法を学ぼう!

13:00	主催者挨拶	
13:05		本日のプログラムのご案内
13:10	ホスト講演 ビデオ紹介	<b>より障害が重い人を働き手に ーチーム化、機械化、意識化を通してー</b> 社会福祉法人はらから福祉会 / 理事長 武田 元 障がいの重い人への高工賃実現のポイント「チーム化」「機械化」「意識化」を、 事業所で撮影したビデオを交え具体的に紹介します。
13:50	講 演	<b>障害のある人の働く意味「ディーセントワークの視点を踏まえて 私たちに問われること」</b> NPO法人日本障害者協議会 / 代表 藤井克徳
14:20	ゲスト報告①	社会福祉法人オリーブの樹 / 理事長 加藤裕二
14:40	ゲスト報告②	社会福祉法人かしのみ福祉会 / 理事長 小俣弘美
15:00	休憩(10分)	
15:10	シンポジウム	<b>テーマ:さらなる高工賃を目指し、障がいの重い人への支援などこれからの取り組みについて</b> ゲストから、はらから福祉会事業所の見学レポート シンポジスト / 武田 元・加藤裕二・小俣弘美 コーディネータ / 藤井 克徳
16:00	終 了	

リアル会場&  
YouTube同時配信 **東京会場**

日 時:2023年1月12日(木) 10:00~16:30

会 場:東京都貿易産業センター浜松町館 4階【北】(港区)

### 人は自立して生活することで幸せを感じられる

10:00	主催者挨拶	
10:10	基調講演	<b>障がい者権利条約とソーシャルインクルージョン</b> NPO法人日本障害者協議会 / 代表 藤井克徳
11:00	特別講演	<b>知的障がい者への就労支援の在り方</b> 社会福祉法人武蔵野千川福祉会 / 理事長 菅野 敦
11:50	休憩(70分)	
13:00	小倉昌男賞 受賞者講演	<b>企業の信頼が高くなる施設外就労</b> 社会福祉法人維賀幸育会 / 理事長 村田輝夫 社会福祉法人維賀幸育会 / 統括管理者 奥西利江
13:40	実践報告①	<b>工賃向上を实践した10年間</b> NPO法人出愛いの里福祉会 障がい者支援センター 出愛いの里 / 所長 高橋勝茂
14:00	実践報告②	<b>自然栽培チャレンジ報告</b> 一般社団法人農福連携自然栽培 パーティ全国協議会 / 理事長 磯部竜太
14:20	実践報告③	<b>沖縄県発 ゆいジョブ!活動報告</b> 社会福祉法人若竹福祉会 / 就業・生活支援課長 吉川嘉朝
14:40	休憩(20分)	
15:00	シンポジウム	<b>テーマ:人は自立して生活することで幸せを感じられる</b> シンポジスト / 菅野 敦・村田輝夫・奥西利江・高橋勝茂・磯部竜太・吉川嘉朝 コーディネータ / 藤井 克徳
16:00	終 了	

## 》 現地からお届けするオンラインフォーラム 滋賀会場

- 日 時：2022年9月22日
- オンライン会場：(社福) 共生シンフォニー

### 成功事例から学んで、 ポストコロナの販売方法を探っていこう！

滋賀会場のホストは(社福) 共生シンフォニーです。講演は常務理事の中崎ひとみさんと法人事業所のがんばカンパニー所長・水野武さん、はっぴいミール・ほわいとクラブ所長の荷宮将義さんです。中崎さんは法人の成り立ちから、添加物を一切使用しないクッキーの製造・販売で1億3,000万円の売上を続け、高工賃を実現した経緯、変化した法人の仕組みを、2人の所長は、高工賃を実践するための工夫や営業について話しました。

ゲスト報告は、仙台でパンやクッキーを作る認定NPO法人麦の会の飯嶋茂さんが直販でなく卸業に徹することで高工賃を実践したこと、ピュアチョコレートの研究・製造販売で高工賃を目指す(社福)平成会多機能型事業所あさひの岩岡智之さんが実践を伝えました。



## 》 現地からお届けするオンラインフォーラム 宮城会場

- 日 時：2022年11月25日
- オンライン会場：(社福)はらから福祉会

### 障がいの重い人にも、 高い工賃を実現する支援方法を学ぼう！

宮城会場では、ホストのはらから福祉会が実践する、障がいの重い人にも高い給料を実現する取り組みを理事長の武田 元さんが講演。『「チーム化」で質の高い商品を量産する。難易度の高い仕事を単純化するため「機械化」を図り、利用者さんのやりがいも広げる。「意識化」により、こだわりの強いマイペースの人を集団行動することで周りに合わせるユアペースにする』と研究を重ねて取り組む実践を話します。

ゲスト報告では、(社福)オリーブの樹の加藤裕二さんは、小倉昌男さん(ヤマト福祉財団初代理事長)の「払いたい賃金を払ってしまえ」という言葉に衝撃を受け、A型事業所にして最低賃金を実施したこと、(社福)かしのみの小俣弘美さんは、武田塾で学び5万円の目標に覚悟を決めたことを、かしのみのあゆみと共に伝えました。



## 》リアル会場&YouTube同時配信 東京会場

- 日 時：2023年1月12日
- オンライン会場：東京都立産業貿易センター浜松町館

### 人は自立して生活することで幸せを感じられる

2022年度を締めくくるパワーアップフォーラムは、3年ぶりのリアル開催となり、約100名が来場、YouTubeでも同時配信しました。

基調講演は(NPO)日本障害者協議会代表の藤井克徳さんが、日本に勧告された総括所見の内容など障害者権利条約について詳しく話されました。

特別講演では、新堂塾のアドバイザーでもある(社福)武蔵野千川福社会理事長の菅野 敦さんが、「人との関わりを通して、利用者さんの働く力・暮らす力を育てる」と話します。

小倉昌男賞受賞者講演は、(社福)維雅幸育会の統括管理者である奥西利江さんと理事長の村田輝夫さんが、施設外就労で高工賃を実践する取り組みを話しました。

実践報告では、「工賃向上を目指した10年間」として、第1期の新堂塾で学び、入塾時6,000円だった工賃を4万5,000までにしたさまざまな取り組み、利用者さんや職員の変化を報告した(NPO)出愛いの里福社会の高橋勝茂さん。(一社)農福連携自然栽培パーティ全国協議会の磯部竜太さんが「自然栽培チャレンジ報告」で、2015年に5ヵ所の施設がヤマト福祉財団の「自然水稲栽培チャレンジ」で成果を出し、現在では自然栽培で地域活性化を目指す、障がい者施設や農家など125団体以上にネットワークが広がっていると報告しました。沖縄からは、2018年パワーアップフォーラム沖縄第2分科会から発展して「ゆいジョブ!実行委員会」が誕生。コロナ禍を乗り越えて、働きたい障がい者と雇用したい企業を繋ぐポータルサイト「ゆいジョブ!」をはじめマルシェやイベント「おしごと発見フェア」などさまざまな活動を行っています。コロナ禍を乗り越えての活動の経過を「沖縄県発 ゆいジョブ!活動報告」として、(社福)若竹福社会の吉川嘉朝さんが報告しました。



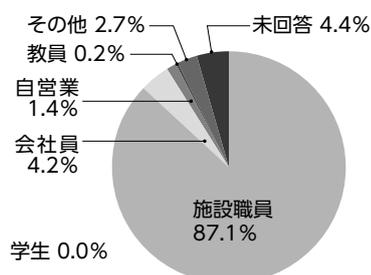
### Ⅲ 実施日・場所・人数

開催日	開催地	会場	参加人数
9月22日	滋賀	オンライン	248名
11月25日	宮城	オンライン	233名
2023年1月12日	東京	東京都立産業貿易センター浜松町館	103名
合計			584名

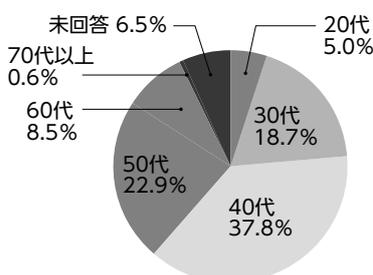
### Ⅳ 2022年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム 参加者の傾向

※アンケート回答者 519名

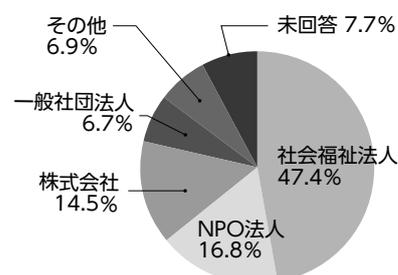
#### 職業



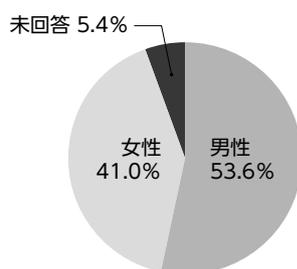
#### 年齢



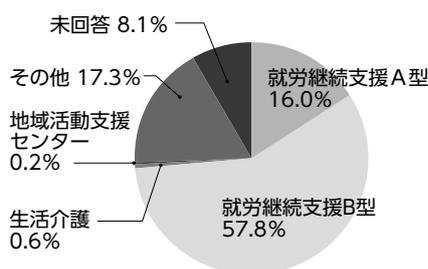
#### 所属



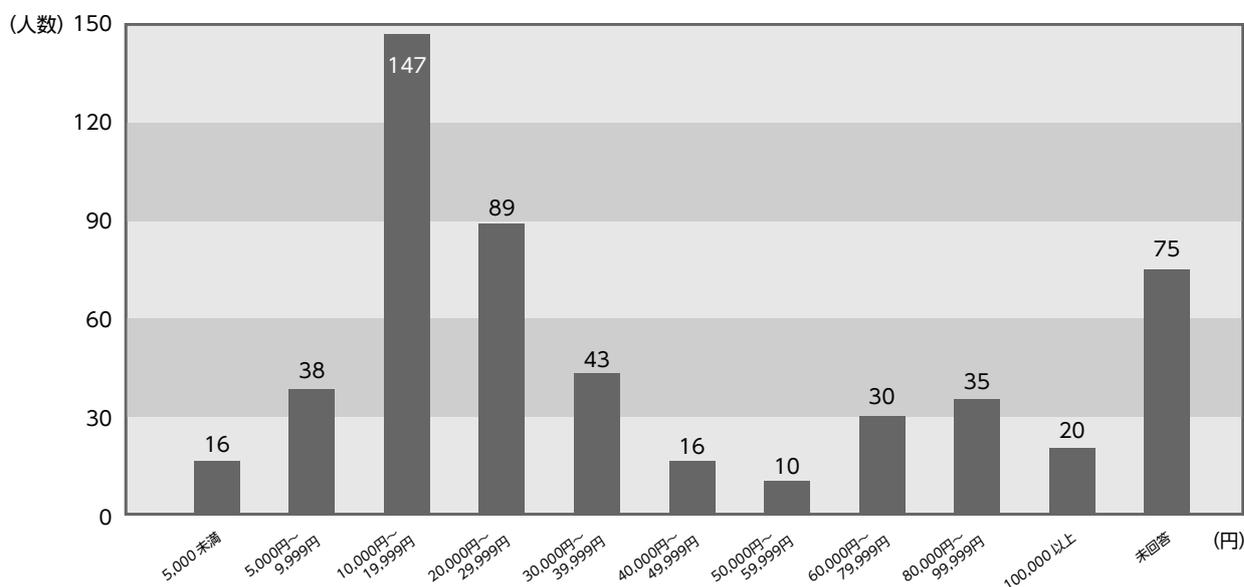
#### 性別



#### 事業区分



### 参加施設の平均給料の分布



## 障がい者のクロネコDM便配達事業 ・進捗状況・

### 〈取り組み経過〉

2021年2月～4月	クロネコDM便配達の一部を日本郵便株式会社に委託。 対象地域の障がい者施設については、ネコポスの配達業務を行う。 対象地域：山形県・福島県・富山県・福井県・奈良県・山口県・香川県・鹿児島県・北海道の一部・静岡県の一部
2019年11月～ 2020年2月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国4ヵ所の施設（東京都世田谷区・神奈川県横浜市港北区・愛知県豊橋市・奈良県北葛城郡広陵町）で開催。
2018年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヵ所の施設（山口県周南市・長崎県長崎市）で開催。
2017年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国1ヵ所の施設（北海道帯広市）で開催。
2016年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヵ所の施設（山形県鶴岡市・奈良県北葛城郡広陵町）で開催。
2016年8月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」をリニューアル。 ヤマト運輸（株）品質向上推進部と連携をとり、社内に9,080部納品。
2015年10月～11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヵ所の施設（熊本県上益城郡益城町・神奈川県横浜市港北区）で開催。
2015年4月	新サービス「クロネコDM便」開始。 「障がい者のクロネコメール便配達事業」は「障がい者のクロネコDM便配達事業」へと変更。
2015年3月	「クロネコメール便」サービス廃止。
2014年10月～ 2015年2月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国3ヵ所の施設（東京都東村山市・長崎県佐世保市・栃木県小山市）で開催。
2013年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国3ヵ所の施設（神奈川県横浜市戸塚区・熊本県上益城郡益城町・埼玉県鴻巣市）で開催。
2012年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国4ヵ所の施設（岩手県紫波郡矢巾町・山梨県甲府市・東京都東村山市・兵庫県姫路市）で開催。
2011年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国4ヵ所の施設（大阪市住吉区・新潟県長岡市・宮崎県都城市・山形県鶴岡市）で開催。

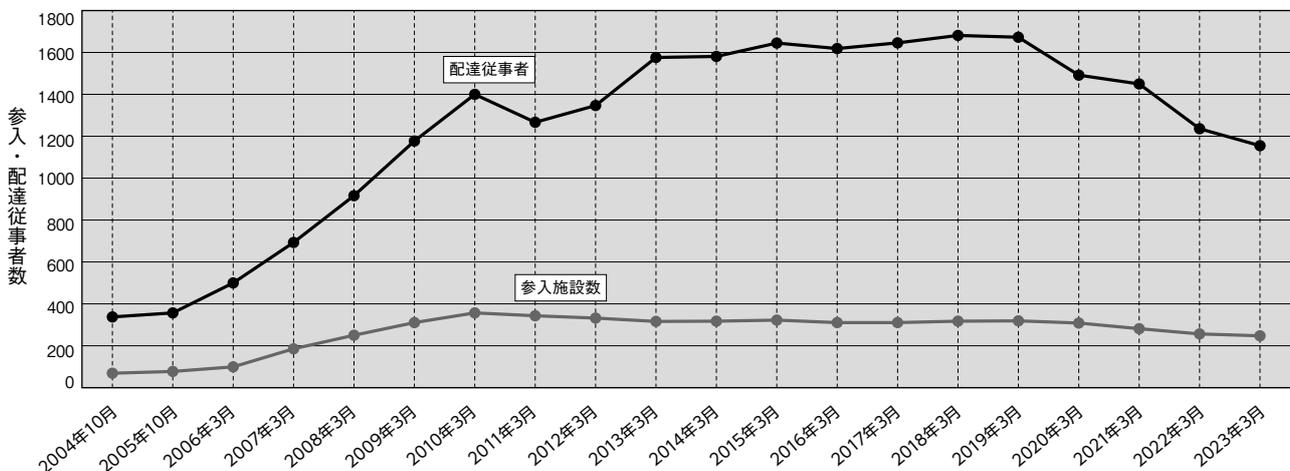
2010年12月12日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を東北福祉大学で開催。約200名の参加者を前に、岩手県・山形県・宮城県・福島県の9施設23人が発表を行った。また実学臨床教育学生が、クロネコメール便配達施設でメール便配達を一日体験した様子を発表。
2010年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催のミニ報告会）を開催。全国4カ所の施設（神奈川県横浜市磯子区・鹿児島県鹿屋市・福島県南相馬市・東京都江東区）で開催。
2010年7月	障がい者施設向けクロネコメール便配達実績報告システム立ち上げ。全国の事業参入施設から毎月の実績を報告してもらい、財団本部で集計するシステムを立ち上げる。
2010年6月19日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会を大分で開催。大分県でメール便配達事業を行う9施設が参加。23人のクロネコメイトさんが、自分の工夫や、配達先での出来事を報告。
2009年12月12日	当事者33名と仙台北福祉大学実学臨床教育推進室の学生12名、一般参加者156名による第5回メール便配達特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。
2009年8月22日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、関東地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。関東地区157名からなる参加者に、5都県10施設のクロネコメイトさん24名が、ありのままの声をお届けした。
2009年5月～6月	事業参入マニュアルブックレット、「参入の手引き・動画版DVD」の制作と社内外への配布（200枚）。本事業のさらなる啓発広報と標準化促進を図るため、障害者支援関連団体とヤマト運輸（株）全国支店長および主管支店長、ならびにメール便営業課長に向けて配布。
2009年3月16日	全国47都道府県全参入。
2008年12月3日	配達状況アンケート調査を実施。昨年にひきつづき参入施設278カ所・配達従事者1,012名を対象とした調査。結果、配達に携わった約16%の障がいのある人達が一般の会社に就職。
2008年11月1日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、仙台地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。東北福祉大学学園際で120名の参加者を前に、10施設21名のクロネコメイトさんが配達実践報告。さらに、実学臨床教育推進室の学生7名が「配達一日体験」で体感した働く大変さと達成感を実践報告した。
2008年9月19日	NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン主催によるソーシャル・ビジネス賞「優秀賞」受賞。社会性・事業性・革新性の観点から、社会的事業として本事業が高い評価をうける。
2008年8月30日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、大分地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。130名の参加者が見守るなか、大分県内外から10カ所の施設・作業所のクロネコメイトさん27名が配達実践報告。
2008年4月	施設・作業所のクロネコメイトさんが「ヤマトファン賞」を受賞。福祉施設ドリームブイ（東京都北区）所属メイト酒井さんが、お客さまからお褒めの言葉をいただく。

2008年2月28日	(社団)日本フィランソロピー協会による第5回企業フィランソロピー大賞・特別賞「社会共生賞」を受賞。「共に生きる」意味を実感できる就業機会を提供し、また、障がい者と健常者を差別しない社会貢献のあるべき姿が本事業で取り組まれている活動として高い評価をうける。
2008年1月	ヤマト運輸(株)木川 眞社長が福祉施設を訪問。「現場で頑張っている皆さんの声を直接聞きたい」と、スワンカフェ&ベーカリー事業を展開している障がい者就労支援センター『らいむ』(町田市)を訪れ、メイトの皆さん(5名)との座談会参加と現場での配達状況を視察。
2008年1月	クロネコメール便配達事業〈個人別成長目標設定シート〉をテスト導入。潜在能力および顕在能力を開発し、自己実現するための育成支援ツールとして活用していただく。
2007年12月～ 2008年1月	12月26日時点での参入施設231カ所を対象に、各施設の配達状況アンケート調査を実施。
2007年12月	障害者週間事業イベントとして、(財)ナイスハート基金と東北福祉大学共催、宮城県仙台市後援によるクロネコメール便配達特別報告会(13名のメイトさんが発表)「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。報告会のお知らせが、11月28日朝刊・毎日新聞みやぎワイドに、河北新報12月12日朝刊に内容が掲載される。32カ所の施設・作業所(秋田・福島・宮城)から約100名が参加した。
2007年11月	「メール便配達リーフレット」リニューアル版発刊。沖縄、大阪、東京、青森の施設・作業所のメイトさん8名を紹介。
2007年8月	ヤマト運輸(株)が発刊するメイトさんの啓発広報誌「メイト通信」に障がいのあるメイトさんの配達状況を毎号紹介。
2007年8月	(社団)日本フィランソロピー協会より、ヤマト運輸の社会貢献活動とメール便配達事業の経緯と活動について取材を受ける。機関誌「10・11月合併号月刊フィランソロピー」に紹介される。
2007年7月	配達従事者1,004名。事業開始から34ヵ月で1,000名を達成。
2007年6月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」作成。メール便営業部と連携をとり社内関係者に3,300部配布。
2007年4月	月刊誌「マリ・クレール」5月号特別付録(企業のCSR活動に焦点をあてた特集)にメール便配達事業が紹介される。
2007年3月	「配達事例集」リニューアル版発刊。全国11カ所の施設・作業所の配達状況を紹介。
2007年2月	イギリスのソーシャル・ファーム「リンケージ・コミュニティー・トラスト」で働く知的障がい者5名とディレクター8名の総勢13名が日本の障がい者の実情を知るために来日。クロネコメール便の配達現場を視察。
2006年12月	「障害者白書」別冊版、内閣府発行啓発広報誌「それぞれの願い」に本事業を紹介する。障害者週間(12月3日～12月9日)期間中に、各地で開催されたシンポジウム会場において配布された。(「障害者白書」テーマ、「共生する社会」について障がいのある方々ご本人や、その支援されている人々の声を取り纏めた冊子)
2006年 10月10日～12日	東京都福祉保健局・産業労働局との共催「東京の障がい者雇用・就労の新たな展開を考える」と題したシンポジウムおよび東京都第三セクター企業2社とのコラボ企画展示を開催。(ポスターパネル13点の展示と配達風景をビデオ上映)

2005年12月	<p>障害者週間事業として、「クロネコメール便配達ポスター展」をスワンカフェ赤坂店で開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォトグラファー平間至氏撮影によるポスターパネル13点を展示し、障がいのある人達の前向きな働く姿を紹介。</li> <li>・施設・作業所のメイトさん8名のポートレートと、事業参入全国マップを掲載した「メール便リーフレット」を配布。</li> </ul> <p>(2008年12月現在 14,000部配布)</p>
2005年10月	<p>参入施設・作業所の“地域で働く人々の姿”を網羅した「配達カルテ」を作成。社内外に向けた事業推進のための効果的な啓発・広報資料として活用。</p>
2005年7月	<p>啓発広報資料として、各障がい種別全国7ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介した「配達事例集」を作成。</p> <p>(2008年12月現在 16,000部配布)</p>
2005年3月	<p>社内外からの事業問い合わせ増加に伴い、事業案内を一元化するため、財団HPに事業案内を掲載。</p>
2005年2月	<p>軽四輪車で配達を希望する施設を対象に、ヤマトリースのご協力をいただき財団特別料率を設定し、軽商用リース車の斡旋をスタート。</p>
2004年10月	<p>民間支援四団体加盟の全施設・作業所(3,520ヵ所)に「クロネコメール便配達事業」マニュアルを配布。</p> <p>WIJメール便委員会発足(日本セルフ・ゼンコロ・社会福祉協議会・きょうされんの四団体)</p>

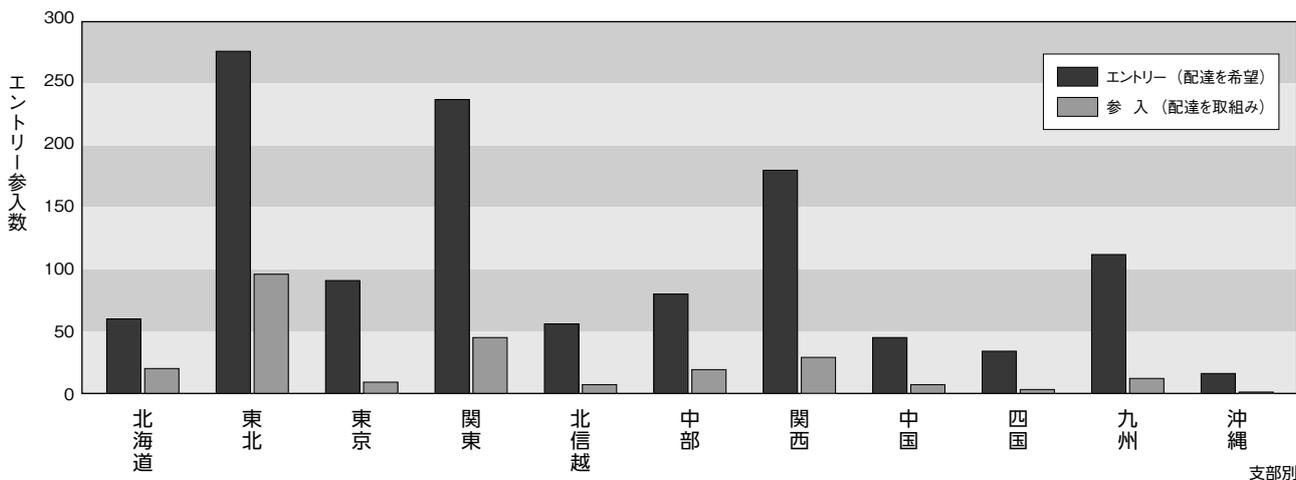
■ 進捗状況補足資料 2023年3月31日現在(図表1・2・3)

図表1. 参入施設数/配達従事者数推移 248施設/1,156名

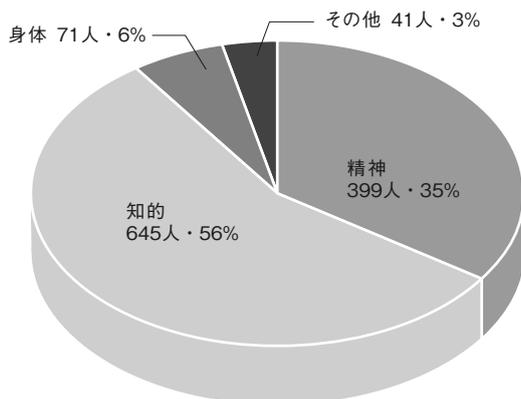


※2010年7月以降、集計方法を財団支部の報告から参入施設からの報告に変更したため実績に差が生じています。

図表2. 全国支部別 エントリー/参入状況 1,187施設/248施設



図表3. 障がい別配達従事者人数とその割合



## 『障がい者のクロネコDM便配達事業』 参入施設一覧 248施設

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
わーく・ひまわり	北海道札幌市豊平区	青森うとうの園	青森県青森市
はんど&はんど	北海道札幌市手稲区	田面木の家	青森県八戸市
自由工房	北海道札幌市手稲区	エンジェルハウス	青森県八戸市
ヴォーグ	北海道札幌市清田区	あるふぁ	青森県八戸市
いちもく神居	北海道旭川市	ラボロー	青森県八戸市
ワークステーション輝	北海道虻田郡倶知安町	サポートセンターあさひ	青森県三戸郡南部町
前田の家	北海道岩内郡共和町	森の菜園・たっこ	青森県三戸郡田子町
オフィスきらり	北海道釧路市	NPO 法人 team.Step by step NEXT	青森県弘前市
はばたき	北海道釧路市	NPO 法人 team.Step by step NEXT2	青森県弘前市
やまびこ	北海道恵庭市	NPO 法人太陽の園	秋田県横手市
ハートフルネットワークほほえみ	北海道千歳市	ひまわり社	秋田県横手市
ゆうび	北海道千歳市	出発の家	秋田県鹿角市
きずな	北海道帯広市	いなほ作業所	秋田県秋田市
クローバー	北海道帯広市	ドリームカンパニーあゆみ	秋田県秋田市
クローバーベリー	北海道河東郡音更町	アポロン	秋田県秋田市
就労継続支援事業所大作 本別町	北海道中川郡本別町	One memory	秋田県秋田市
コミュニティハウスしずない	北海道日高郡新ひだか町	Biobentos Laundry Sarvice	秋田県鹿角市
夕陽が丘	北海道函館市	さんさんクラブ	秋田県仙北郡美郷町
おはよう	北海道函館市	工房JOYさあくる	秋田県大館市
美幌地域就労支援センター	北海道網走郡美幌町	長岡事業所	秋田県大館市
ワークセンターつばき	青森県五所川原市	ふれあい作業所	秋田県大仙市
創	青森県五所川原市	ほっぺ	秋田県大仙市
ワークハウスとわだ	青森県十和田市	サンワーク大曲	秋田県大仙市
ベア・ハウス	青森県上北郡おいらせ町	男鹿浜辺の里	秋田県男鹿市
ほっとワークはびくる	青森県上北郡野辺地町	コスモス	秋田県能代市
ゆみと就労支援事業所	青森県上北郡六戸町	根分け会	秋田県由利本荘市

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
飯田川つくし苑	秋田県潟上市	フロックス	岩手県滝沢市
ポリッシュ	秋田県雄勝郡羽後町	やまだ共生作業所	岩手県下閉伊郡
千厩ワークプラザ	岩手県一関市	HOPE GARDEN 気仙沼	宮城県気仙沼市
つくし共同作業所	岩手県釜石市	とれいん	宮城県気仙沼市
かまいしワーク・ステーション	岩手県釜石市	七ヶ浜町あさひ園	宮城県宮城郡七ヶ浜町
りんりん舎	岩手県岩手郡滝沢村	トータルサポートセンターみんなの夢広場	宮城県石巻市
グローアップ	岩手県岩手郡雫石町	パーラー山と田んぼ	宮城県石巻市
さくら製作所	岩手県紫波郡紫波町	くじらのしっぽ	宮城県石巻市
あさあけの園	岩手県紫波郡矢巾町	めだかのたいよう	宮城県石巻市
杜の家	岩手県盛岡市	就労サポートセンターべてるの風	宮城県石巻市
盛岡杉生園	岩手県盛岡市	ワークつるがや	宮城県仙台市宮城野区
となんカナン	岩手県盛岡市	わ・は・わ若林	宮城県仙台市若林区
生生学舎アダージョ	岩手県盛岡市	わ・は・わ沖野	宮城県仙台市若林区
太田の園	岩手県盛岡市	L i n k s 五橋	宮城県仙台市若林区
福祉バンクグッドウィルセンター	岩手県盛岡市	こころや	宮城県仙台市青葉区
ファーム神明町 杜のカフェ	岩手県盛岡市	わ・は・わ広瀬	宮城県仙台市青葉区
ファーム神明町 カフェラウンジフィールド	岩手県盛岡市	つなぎっこ	宮城県仙台市青葉区
笑光安庭事業所	岩手県盛岡市	ぱーとなー	宮城県仙台市青葉区
ちゃちゃまる	岩手県盛岡市	みんなの広場・工房きまち	宮城県仙台市青葉区
ゆうき社	岩手県大船渡市	ほっとスペース歩歩	宮城県仙台市泉区
ポパイの家	岩手県八幡平市	アトリエ・ソキウス	宮城県仙台市泉区
いわて共生会あけぼの	岩手県北上市	ポッケの森	宮城県仙台市太白区
北萩寮	岩手県北上市	わらしべ舎西多賀工房	宮城県仙台市太白区
ワークハウス アトリエ Sun	岩手県宮古市	工房けやき	宮城県仙台市太白区
ワークス洋野	岩手県九戸郡洋野町	スミールステッド就労支援事業所	宮城県仙台市太白区
ぼるた	岩手県滝沢市	工房バルコ	宮城県大崎市
ノリノリ農林Ⅰ	岩手県滝沢市	わ・は・わ美里	宮城県遠田郡美里町
ノリノリ農林Ⅱ	岩手県滝沢市	手づくりクッキーおからや	山形県鶴岡市

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
大げやきの家	山形県東根市	ライトハウス	埼玉県ふじみ野市
フラワーコート米沢	山形県米沢市	熊谷たんぼぼ	埼玉県熊谷市
ゆうゆうハウス	福島県河沼郡会津坂下町	ひなたぼっこ	埼玉県熊谷市
ほっとハウスやすらぎ	福島県会津若松市	コスモス共同作業所	埼玉県鴻巣市
ひまわりの家	福島県相馬市	ぼてと工房芦山	埼玉県坂戸市
みはる工房	福島県田村郡三春町	ジョブサポートはぶたえ	埼玉県深谷市
きぼうのあさがお	福島県南相馬市鹿島区	ワークセンターせんば	埼玉県川越市
自立研究所ビーンズ	福島県南相馬市鹿島区	サルース	埼玉県川越市
来夢	東京都北区	まあぶるひろ	千葉県千葉市花見川区
N a v i o げやき	東京都世田谷区	ワークセンター明日へのかけはし	千葉県千葉市中央区
しごとも	東京都世田谷区	ワークス未来千葉	千葉県千葉市美浜区
すまいる・フォレスト	東京都練馬区	たけの子工房	千葉県千葉市緑区
すきっぷ	東京都三鷹市	就労サポートリーブ	千葉県袖ヶ浦市
結の会	東京都八王子市	hana	千葉県木更津市
千川作業所	東京都武蔵野市	オリーブ and	千葉県我孫子市
MEIMI・CLUB	東京都東久留米市	i工房	千葉県我孫子市
飛翔クラブ	東京都東村山市	アーモ	千葉県船橋市
共同作業所ふれあい	茨城県ひたちなか市	第2こだま	千葉県柏市
はあとぼっぼ	茨城県坂東市	ハンディジャンプ	神奈川県横浜市磯子区
らしん盤	茨城県取手市	いぶきの風	神奈川県横浜市戸塚区
ゆきわりそう	茨城県水戸市	いろえんぴつ	神奈川県横浜市港北区
第2げやき作業所	栃木県芳賀郡芳賀町	ひとつの芽	神奈川県横浜市泉区
いっすんぼうし	栃木県小山市	エアリアル	神奈川県海老名市
県東ライフサポートセンター・真岡	栃木県真岡市	青い麦の家	神奈川県鎌倉市
伊勢崎市桑の実福祉作業所	群馬県伊勢崎市	茅ヶ崎第二ワーキングハウス	神奈川県茅ヶ崎市
若草作業所	群馬県館林市	トライフィールドわーくあーつ	神奈川県厚木市
つばさ共同作業所	埼玉県さいたま市中央区	セルブきたかせ	神奈川県川崎市幸区
生活支援センターこしがや	埼玉県越谷市	つばさ	神奈川県川崎市高津区

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
ありのまま舎	神奈川県相模原市緑区	三都橋たくみワークス	愛知県北設楽郡設楽町
ハートピア湘南	神奈川県藤沢市	垂坂山ブルーミング	三重県四日市市
るる湘南	神奈川県藤沢市	サポートセンターあいぶろ	三重県四日市市
スイートベリー KATUYAMA	山梨県南都留郡	グリーンリーフ	岐阜県岐阜市
南アルプス市松の実作業所	山梨県南アルプス市	ワークセンターひびき	大阪府東大阪市
すみよし生活支援センター	山梨県甲府市	オリーブ	大阪府大阪市平野区
阿賀野市さくらの会作業所	新潟県阿賀野市	ニコサービス	大阪府大阪市城東区
手楽来家	新潟県新潟市江南区	のぞみ共同作業所	大阪府吹田市
和工房	新潟県新潟市西区	ドルフィンハート・ドルフィンアイ	大阪府堺市堺区
豆の木	新潟県新潟市西区	高槻ワーク工房	大阪府高槻市
希望の里つばさ	長野県岡谷市	ステラ守口	大阪府守口市
ワンステップ	長野県松本市	オレンジの会	京都府京都市東山区
エコンファミリー	長野県長野市	S A Pふっとぶりんつ	京都府京田辺市
ネットワークひこばえ	静岡県静岡市葵区	かがやきの杜	京都府京丹後市
ウィン作業所	静岡県静岡市葵区	もりの実事業所	奈良県北葛城郡広陵町
ライフクリエイター + S	静岡県浜松市西区	たんぼぼ作業所	和歌山県紀の川市
さくらんぼ	愛知県名古屋市中川区	岩出サンワーク	和歌山県岩出市
ファンタジスタ名古屋	愛知県名古屋市中川区	すまいる・フレンズ	兵庫県神戸市須磨区
サポートセンター being 吹上	愛知県名古屋市中川区	たすけあい	兵庫県神戸市須磨区
のぞみ	愛知県名古屋市中川区	E n T r y	兵庫県神戸市垂水区
くうねる・イマーゴ	愛知県名古屋市中川区	ひまわり作業所	兵庫県淡路市
アーム	愛知県豊田市	アミアミ	兵庫県洲本市
ワーキングスペースおおぶ	愛知県大府市	ぐる〜りあ	兵庫県尼崎市
やすらぎの家	愛知県新城市	共同作業所ふるーる	兵庫県尼崎市
笑い太鼓岡崎	愛知県岡崎市	雑居工房	兵庫県尼崎市
輝望	愛知県豊岡市	しらさぎ作業所	兵庫県姫路市
ほまれの家尾張旭店	愛知県尾張旭市	自立の家さらら	兵庫県宝塚市
株式会社ハートリフォーレ 心暖	愛知県尾張旭市	かるべの郷ドリームワークス	兵庫県養父市

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
TODAY	兵庫県三木市	ワークハウス陸美	愛媛県伊予市
西宮作業所クローバー	兵庫県西宮市	さるびあ作業所	福岡県筑紫野市
てんとうか	兵庫県西宮市	ケアポートがんぎだん	福岡県福岡市西区
アミル甲子園口	兵庫県西宮市	夢ぼけっと	福岡県福岡市南区
元気アップみのり作業所	兵庫県相生市	コリアンダーの家	長崎県長崎市
ゆめの木・わかば	広島県福山市	どんぐり村	熊本県上天草市
三次共同作業所	広島県三次市	らぶらんどカフェ	熊本県熊本市中央区
しまなみ瀬戸田夢工房	広島県尾道市	ピープルステーション	大分県大分市
オレンジ作業所	広島県尾道市	どんぐりの家	大分県大分市
ボン・チャンス	鳥取県倉吉市	ワーク大分すみれ会	大分県大分市
コミュニティーハウス楽	鳥取県倉吉市	べっぶ優ゆう	大分県別府市
川本ワークス	島根県邑智郡川本町	メロディー	大分県別府市
ワークセンタースマイル	徳島県阿波市	SUNはぁと	宮崎県宮崎市
第2あおぞら	高知県高知市	キャンプグリーンヒル	沖縄県うるま市

### ■ 2022年度 支部別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコDM 便配達従事者人数			クロネコDM 便配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北海道	2022年4月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	84	96	-12	21,735	23,563	92.2%	60.0	58.9	1.1
	5月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	78	86	-8	19,037	22,711	83.8%	54.7	64.3	-9.6
	6月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	83	83	0	23,387	19,551	119.6%	60.7	53.4	7.3
	7月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	79	76	3	18,136	18,405	98.5%	53.5	53.8	-0.3
	8月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	81	82	-1	17,095	15,725	108.7%	47.2	43.8	3.4
	9月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	80	79	1	21,011	20,601	102.0%	58.2	55.5	2.7
	10月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	78	81	-3	20,976	21,696	96.7%	63.2	58.3	4.9
	11月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	76	83	-7	20,120	20,995	95.8%	55.6	56.4	-0.8
	12月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	75	79	-4	17,613	17,053	103.3%	50.5	48.3	2.2
	2023年1月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	76	82	-6	18,625	17,509	106.4%	56.8	53.9	2.9
	2月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	76	78	-2	19,976	17,607	113.5%	58.1	56.8	1.3
	3月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	82	76	6	20,366	21,837	93.3%	54.6	57.6	-3.0
東北	2022年4月	100	100	100.0%	100.0%	0.0%	542	575	-33	96,483	101,747	94.8%	62.4	68.1	-5.7
	5月	100	100	100.0%	100.0%	0.0%	548	572	-24	99,394	97,292	102.2%	66.8	72.4	-5.6
	6月	100	100	100.0%	100.0%	0.0%	577	566	11	103,264	102,290	101.0%	61.7	66.0	-4.3
	7月	100	100	100.0%	100.0%	0.0%	562	530	32	83,563	86,631	96.5%	54.8	61.9	-7.1
	8月	99	99	100.0%	100.0%	0.0%	562	545	17	82,466	78,903	104.5%	49.6	59.3	-9.7
	9月	99	99	100.0%	100.0%	0.0%	533	517	16	93,850	99,707	94.1%	64.5	67.8	-3.3
	10月	97	97	100.0%	100.0%	0.0%	576	529	47	96,634	100,931	95.7%	65.1	57.3	7.8
	11月	97	97	100.0%	100.0%	0.0%	571	579	-8	93,874	99,697	94.2%	66.2	65.3	0.9
	12月	95	95	100.0%	100.0%	0.0%	554	572	-18	83,196	81,792	101.7%	61.7	56.3	5.4
	2023年1月	95	95	100.0%	100.0%	0.0%	562	526	36	84,468	86,055	98.2%	63.7	62.5	1.2
	2月	96	96	100.0%	100.0%	0.0%	559	562	-3	82,925	83,562	99.2%	63.4	63.1	0.3
	3月	96	96	100.0%	100.0%	0.0%	548	566	-18	94,846	96,608	98.2%	61.4	59.0	2.4
東京	2022年4月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	48	45	3	19,393	18,974	102.2%	132.8	120.9	11.9
	5月	9	9	100.0%	88.9%	11.1%	47	43	4	19,386	17,965	107.9%	132.8	139.3	-6.5
	6月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	44	45	-1	18,419	21,263	86.6%	128.8	135.4	-6.6
	7月	9	8	88.9%	100.0%	-11.1%	43	40	3	15,339	17,226	89.0%	123.7	129.5	-5.8
	8月	9	8	88.9%	100.0%	-11.1%	38	39	-1	12,169	15,890	76.6%	105.8	121.3	-15.5
	9月	9	8	88.9%	88.9%	0.0%	44	42	2	15,258	19,145	79.7%	110.6	138.7	-28.1
	10月	9	8	88.9%	88.9%	0.0%	39	42	-3	18,183	19,950	91.1%	127.2	138.5	-11.3
	11月	9	8	88.9%	100.0%	-11.1%	43	45	-2	17,175	21,138	81.3%	133.1	137.3	-4.2
	12月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	46	46	0	17,497	20,721	84.4%	113.6	133.7	-20.1
	2023年1月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	48	45	3	18,009	18,513	97.3%	129.6	127.7	1.9
	2月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	45	42	3	14,159	17,504	80.9%	99.7	129.7	-30.0
	3月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	46	47	-1	18,419	20,704	89.0%	110.3	131.0	-20.7
南関東	2022年4月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	163	187	-24	21,265	26,569	80.0%	55.7	55.8	-0.1
	5月	24	23	95.8%	100.0%	-4.2%	143	187	-44	20,847	25,465	81.9%	61.7	60.2	1.5
	6月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	164	187	-23	24,542	26,310	93.3%	61.0	53.6	7.4
	7月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	167	190	-23	23,599	25,535	92.4%	49.9	55.9	-6.0
	8月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	170	189	-19	21,255	26,252	81.0%	57.8	59.4	-1.6
	9月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	168	185	-17	23,701	27,267	86.9%	63.2	60.3	2.9
	10月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	167	162	5	26,504	25,297	104.8%	71.6	61.7	9.9
	11月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	148	168	-20	24,471	26,571	92.1%	67.2	61.9	5.3
	12月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	148	172	-24	22,879	24,288	94.2%	66.1	58.4	7.7
	2023年1月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	165	168	-3	21,004	21,728	96.7%	63.6	56.7	6.9
	2月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	168	164	4	20,698	20,841	99.3%	59.8	58.7	1.1
	3月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	168	164	4	23,585	24,387	96.7%	60.5	57.5	3.0
北関東	2022年4月	24	22	91.7%	92.3%	-0.6%	106	156	-50	19,343	22,019	87.8%	57.9	57.9	0.0
	5月	24	21	87.5%	96.0%	-8.5%	100	149	-49	18,492	17,386	106.4%	61.0	51.1	9.9
	6月	24	21	87.5%	92.0%	-4.5%	99	162	-63	20,737	20,680	100.3%	60.1	56.2	3.9
	7月	24	21	87.5%	92.0%	-4.5%	95	162	-67	19,231	20,022	96.0%	62.4	58.0	4.4
	8月	24	21	87.5%	88.0%	-0.5%	97	110	-13	18,053	16,806	107.4%	59.0	59.4	-0.4
	9月	22	21	95.5%	95.8%	-0.4%	93	135	-42	19,525	21,379	91.3%	62.4	60.1	2.3
	10月	22	21	95.5%	95.8%	-0.4%	93	131	-38	20,333	21,526	94.5%	65.0	58.8	6.2
	11月	22	21	95.5%	95.8%	-0.4%	93	132	-39	20,448	22,995	88.9%	65.1	62.5	2.6
	12月	22	21	95.5%	95.8%	-0.4%	98	106	-8	19,245	20,505	93.9%	63.5	61.0	2.5
	2023年1月	22	21	95.5%	91.7%	3.8%	93	127	-34	17,393	17,344	100.3%	60.0	60.2	-0.2
	2月	22	21	95.5%	91.7%	3.8%	92	109	-17	17,154	16,604	103.3%	59.4	61.7	-2.3
	3月	22	21	95.5%	95.8%	-0.4%	90	128	-38	19,766	20,106	98.3%	59.0	56.0	3.0

## ■ 2022年度 支部別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコDM 便配達従事者人数			クロネコDM 便配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北 信 越	2022年4月	8	5	62.5%	77.8%	-15.3%	15	20	-5	13,309	12,705	104.8%	158.4	117.6	40.8
	5月	8	5	62.5%	77.8%	-15.3%	15	21	-6	2,300	13,743	16.7%	39.0	141.7	-102.7
	6月	8	5	62.5%	77.8%	-15.3%	15	19	-4	13,956	12,505	111.6%	153.4	118.0	35.4
	7月	8	5	62.5%	87.5%	-25.0%	15	21	-6	14,025	12,616	111.2%	165.0	108.8	56.2
	8月	7	4	57.1%	87.5%	-30.4%	9	22	-13	15,088	12,184	123.8%	232.1	113.9	118.2
	9月	7	4	57.1%	87.5%	-30.4%	8	35	-27	12,212	13,963	87.5%	190.8	114.5	76.3
	10月	7	4	57.1%	75.0%	-17.9%	9	21	-12	11,766	13,779	85.4%	183.8	140.6	43.2
	11月	7	4	57.1%	75.0%	-17.9%	9	19	-10	12,308	13,559	90.8%	212.2	138.4	73.8
	12月	7	4	57.1%	62.5%	-5.4%	9	13	-4	11,550	13,049	88.5%	192.5	169.5	23.0
	2023年1月	7	4	57.1%	62.5%	-5.4%	10	12	-2	12,870	11,141	115.5%	214.5	148.5	66.0
	2月	7	5	71.4%	62.5%	8.9%	10	12	-2	12,670	10,379	122.1%	162.4	154.9	7.5
	3月	7	5	71.4%	62.5%	8.9%	10	13	-3	14,069	9,567	147.1%	171.6	122.7	48.9
中 部	2022年4月	20	14	70.0%	73.9%	-3.9%	41	66	-25	12,637	14,125	89.5%	69.1	59.9	9.2
	5月	20	14	70.0%	68.2%	1.8%	51	61	-10	14,233	13,213	107.7%	80.9	63.2	17.7
	6月	20	14	70.0%	68.2%	1.8%	51	58	-7	16,321	14,009	116.5%	80.0	62.8	17.2
	7月	20	14	70.0%	68.2%	1.8%	49	61	-12	14,465	12,070	119.8%	71.6	55.1	16.5
	8月	19	14	73.7%	63.6%	10.0%	47	58	-11	12,829	11,605	110.5%	66.5	60.8	5.7
	9月	19	13	68.4%	63.6%	4.8%	32	57	-25	9,934	13,719	72.4%	59.1	68.6	-9.5
	10月	19	14	73.7%	63.6%	10.0%	51	57	-6	16,147	14,382	112.3%	85.0	68.5	16.5
	11月	19	13	68.4%	63.6%	4.8%	50	57	-7	16,282	14,930	109.1%	54.5	72.8	-18.3
	12月	19	13	68.4%	59.1%	9.3%	50	57	-7	13,879	12,482	111.2%	80.7	64.7	16.0
	2023年1月	19	13	68.4%	63.6%	4.8%	46	55	-9	14,087	13,205	106.7%	87.0	78.6	8.4
	2月	19	13	68.4%	63.6%	4.8%	45	57	-12	13,785	12,561	109.7%	82.1	76.1	6.0
	3月	19	13	68.4%	75.0%	-6.6%	48	58	-10	14,851	13,825	107.4%	78.6	67.1	11.5
関 西	2022年4月	29	14	48.3%	53.1%	-4.8%	101	126	-25	8,778	13,210	66.4%	35.7	42.2	-6.5
	5月	29	14	48.3%	53.1%	-4.8%	104	93	11	11,000	11,851	92.8%	46.4	42.9	3.5
	6月	29	14	48.3%	54.8%	-6.6%	74	104	-30	11,094	11,132	99.7%	44.4	36.1	8.3
	7月	29	15	51.7%	54.8%	-3.1%	101	129	-28	12,083	10,920	110.7%	34.0	39.6	-5.6
	8月	29	14	48.3%	51.6%	-3.3%	72	120	-48	7,615	10,674	71.3%	36.6	42.0	-5.4
	9月	29	14	48.3%	51.6%	-3.3%	70	119	-49	10,841	11,867	91.4%	45.6	43.6	2.0
	10月	29	14	48.3%	51.6%	-3.3%	93	123	-30	11,631	12,351	94.2%	51.2	43.8	7.4
	11月	29	14	48.3%	51.6%	-3.3%	71	94	-23	10,967	12,579	87.2%	46.7	45.6	1.1
	12月	29	14	48.3%	48.4%	-0.1%	74	80	-6	10,767	10,945	98.4%	46.2	43.1	3.1
	2023年1月	29	14	48.3%	50.0%	-1.7%	96	114	-18	11,617	10,957	106.0%	57.8	47.4	10.4
	2月	29	14	48.3%	50.0%	-1.7%	98	91	7	10,290	10,695	96.2%	47.2	48.4	-1.2
	3月	29	14	48.3%	51.7%	-3.4%	71	76	-5	11,848	11,401	103.9%	45.6	44.2	1.4
中 国	2022年4月	8	8	100.0%	100.0%	0.0%	24	27	-3	4,548	5,357	84.9%	42.9	42.5	0.4
	5月	8	8	100.0%	100.0%	0.0%	24	27	-3	4,375	5,389	81.2%	44.2	48.1	-3.9
	6月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	20	27	-7	3,773	5,080	74.3%	40.6	39.4	1.2
	7月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	20	27	-7	3,169	4,121	76.9%	38.2	20.7	17.5
	8月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	20	27	-7	3,468	4,041	85.8%	40.8	41.2	-0.4
	9月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	10	27	-17	2,862	5,397	53.0%	42.7	46.5	-3.8
	10月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	10	27	-17	3,680	5,425	67.8%	41.3	45.2	-3.9
	11月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	10	27	-17	4,178	6,166	67.8%	51.0	51.4	-0.4
	12月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	20	26	-6	3,246	4,381	74.1%	43.3	40.6	2.7
	2023年1月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	10	27	-17	3,157	5,448	57.9%	58.5	50.0	8.5
	2月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	10	24	-14	3,219	4,077	79.0%	46.7	44.3	2.4
	3月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	10	24	-14	3,814	4,258	89.6%	41.0	38.0	3.0
四 国	2022年4月	3	2	66.7%	20.0%	46.7%	4	3	1	609	71	857.7%	19.6	6.5	13.1
	5月	3	2	66.7%	40.0%	26.7%	4	4	0	286	655	43.7%	10.2	21.8	-11.6
	6月	3	2	66.7%	40.0%	26.7%	4	4	0	678	683	99.3%	19.4	22.0	-2.6
	7月	3	1	33.3%	20.0%	13.3%	3	3	0	51	73	69.9%	5.1	7.3	-2.2
	8月	3	1	33.3%	40.0%	-6.7%	3	3	0	57	565	10.1%	7.1	18.2	-11.1
	9月	3	2	66.7%	40.0%	26.7%	4	4	0	591	586	100.9%	19.7	17.8	1.9
	10月	3	2	66.7%	40.0%	26.7%	4	4	0	637	583	109.3%	19.9	17.1	2.8
	11月	3	2	66.7%	40.0%	26.7%	4	4	0	637	742	85.8%	19.9	22.5	-2.6
	12月	3	2	66.7%	40.0%	26.7%	4	4	0	908	701	129.5%	30.3	21.2	9.1
	2023年1月	3	2	66.7%	40.0%	26.7%	4	4	0	608	647	94.0%	19.6	22.3	-2.7
	2月	3	2	66.7%	40.0%	26.7%	4	3	1	572	580	98.6%	19.1	20.7	-1.6
	3月	3	2	66.7%	66.7%	0.0%	2	4	-2	795	625	127.2%	24.8	18.9	5.9

## ■ 2022年度 支部別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

報告年月	事業参加施設数	月次報告入力済施設数	入力率			クロネコDM 便配達従事者人数			クロネコDM 便配達冊数			1施設1日当り配達冊数			
			実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差	
九州	2022年4月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	81	86	-5	24,934	26,365	94.6%	94.4	90.6	3.8
	5月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	80	84	-4	23,705	26,927	88.0%	98.4	106.9	-8.5
	6月	13	13	100.0%	92.9%	7.1%	79	86	-7	26,721	30,006	89.1%	96.1	106.0	-9.9
	7月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	78	84	-6	21,697	23,664	91.7%	85.8	91.0	-5.2
	8月	13	13	100.0%	92.9%	7.1%	78	81	-3	21,771	22,665	96.1%	87.1	102.6	-15.5
	9月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	78	84	-6	23,140	26,581	87.1%	94.8	104.2	-9.4
	10月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	77	80	-3	26,258	28,141	93.3%	102.6	103.5	-0.9
	11月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	80	85	-5	27,542	27,787	99.1%	108.4	104.9	3.5
	12月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	82	81	1	27,121	26,100	103.9%	115.9	101.6	14.3
	2023年1月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	82	84	-2	23,329	23,048	101.2%	102.3	93.7	8.6
	2月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	82	83	-1	22,484	23,287	96.6%	107.6	100.4	7.2
	3月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	81	81	0	26,272	25,320	103.8%	110.9	91.1	19.8
沖縄	2022年4月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	5月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	6月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	7月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	8月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	9月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	10月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	11月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	12月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	2023年1月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	2月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	3月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				

報告年月	事業参加施設数	月次報告入力済施設数	入力率			クロネコDM 便配達従事者人数			クロネコDM 便配達冊数			1施設1日当り配達冊数			
			実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差	
全国	2022年4月	259	231	89.2%	88.9%	0.3%	1,209	1,387	-178	243,034	264,705	91.8%	66.0	66.3	-0.3
	5月	259	229	88.4%	88.8%	-0.4%	1,194	1,327	-133	233,055	252,597	92.3%	67.3	70.9	-3.6
	6月	258	229	88.8%	88.7%	0.0%	1,210	1,341	-131	262,892	263,509	99.8%	67.4	65.7	1.7
	7月	258	228	88.4%	89.0%	-0.6%	1,212	1,323	-111	225,358	231,283	97.4%	60.0	61.6	-1.6
	8月	255	225	88.2%	87.9%	0.4%	1,177	1,276	-99	211,866	215,310	98.4%	58.5	62.5	-4.0
	9月	253	225	88.9%	88.5%	0.4%	1,120	1,284	-164	232,925	260,212	89.5%	67.4	68.7	-1.3
	10月	251	224	89.2%	88.2%	1.1%	1,197	1,257	-60	252,749	264,061	95.7%	72.2	64.9	7.3
	11月	251	223	88.8%	88.6%	0.3%	1,155	1,293	-138	248,002	267,159	92.8%	69.9	69.4	0.5
	12月	248	221	89.1%	87.5%	1.7%	1,160	1,236	-76	227,901	232,017	98.2%	69.0	63.8	5.2
	2023年1月	248	221	89.1%	87.8%	1.3%	1,192	1,244	-52	225,167	225,595	99.8%	71.5	66.8	4.7
	2月	248	222	89.5%	87.8%	1.7%	1,189	1,225	-36	217,932	217,697	100.1%	68.1	68.1	0.0
	3月	248	222	89.5%	90.3%	-0.8%	1,156	1,237	-81	248,631	248,638	100.0%	67.2	63.4	3.8

# 2022年度 「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告

## » I 夢へのかけ橋 実践塾とは 2022年度の報告

「夢へのかけ橋 実践塾」は、夢へのかけ橋プロジェクトのテーマ“経済的自立力を備えた新しい福祉”に向かって行動を起こす施設を塾生とし、利用者さんの給料増額という目的を達成するための研修会です。

2022年度はコロナ禍により思うように集合研修ができない中、期間を延ばした最終年、2023年3月を修了としました。「新堂塾（第4期）」の8塾生、「楠元塾（第3期）」の8塾生の計16名が「1年後3万円、2年後5万円」への給料増額を目指し、事業改革に取り組みました。

最終年は、少しずつ研修なども再開しましたが、オンラインと現地での塾長視察による見学勉強会の実施を中心としました。

コロナ禍で、塾生はみな、売上の落ち込みを経験しましたが、修了研修では入塾前より成果を上げている、またその兆しが見えてきた報告がありました。また、コロナ禍でオンラインであっても3年半という時間は、同じ目標を目指す塾生同士のつながりがより深まりました。

## » II 研修内容

各塾は独自に研修会、見学会、勉強会、塾長による塾生施設の視察などを実施し、塾生や目指す事業が抱える課題を具体的に解決できる取り組みを目指しています。また、複数の塾が一つの会場で合同研修会を開くことにより、互いに情報交換を行う機会も提供し、給料増額の目標達成につながる効果も狙っていきます。

- 販路拡大や商品開発など営業に関する新規事業や改善について事業プランを作成。
- 2年間を通じて合同研修をはじめ、塾ごとに研修会や勉強会を開催し、自分の目標の進捗や他参加者の進捗などを確認。
- 2年間、PDCAサイクル手法を実行して成果を出す。
- 先行している施設より現場の課題などを説明。
- グループディスカッション・合同パネルディスカッションなども取り入れる。

### Ⅲ 夢へのかけ橋 実践塾とは 全体のスケジュール

新型コロナウイルス感染対策として、2020年4月に最初の緊急事態宣言が発出。2021年は1月～3月と4月～9月に、2022年に入ってからも1月～3月と発出されましたが、以降、少しずつ動けるようになり、塾長視察や見学・勉強会を実施。全員での集合研修会は、3年半で3回の開催でした。

年月	新堂塾 (第4期)	楠元塾 (第3期)
2022年 4月	● オンライン 臨時ミーティング (2022年4月26日)	
5月		
6月		
7月		● 見学・勉強会 (2022年7月20日) どんぐり村福祉工場
8月	● 見学・勉強会 (2022年8月18日) 東京都板橋福祉工場 ● 見学・勉強会 (2022年8月30-31日) 就労継続支援多機能事業所あんずの森	
9月		
10月	● 関西地区見学・勉強会 (2022年10月13日) 太陽の郷 ● 関西地区見学・勉強会 (2022年10月14日) ワークセンターHalle!	● 第3回研修会 (2022年10月20-21日) ※岐阜県福祉・農業会館/じゅうろくプラザ研修室 ● 見学・勉強会 (10月31日・11月1日) Joint Joy
11月		
12月	● 広島地区見学・勉強会 (2022年12月1日) 八木園 ● 広島地区見学・勉強会 (2022年12月2日) 平成会あさひ ● オンライン見学・勉強会報告会 (2022年12月15日)	
2023年 1月	● オンライン見学・勉強会報告会 (2023年1月30日)	
2月		
3月	● 新堂塾第4期修了式・最終発表会 (2023年3月13・14日) ワークイン中町/ワークイン関前/チャレンジャー ※武蔵野プレイス会議室・L stay&grow南砂町会議室	● 楠元塾第3期卒業の会「飛躍へ!」 (2023年3月15～17日) お弁当のまるよし/加工センターキャンパス/ CBSリネンサービスとしみ/ふくふく

## Ⅳ 「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金

「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金として、塾生の立てた事業プランから、効果の高いと認められるものに対し、事業改革を進めるために必要な道具や、働く環境整備の資金を助成しています。2022年度は以下の塾生施設に助成しました。

### 助成先

(社福)北九州障害者福祉事業協会  
とりはた玄海園就労センター



- 助成内容：ペットフードリパック作業にかかる機材のシーラー機及び金属検出機の購入のため、¥2,233,000を助成
- 目的：とりはた玄海園就労センターは、印刷業務、製菓業、委託業務を行っています。コロナ禍で受注量が激減。新事業を模索している時に、新堂塾オンライン研修でペットフードのリパック事業の話を聞き、法人として利用者・職員で取り組む体制を固めました。まずリパック事業に着手し、将来的には、現在の製菓部門の設備を活用したペット用おやつの開発、簡易作業のミシン設備をペット用洋裁等、自主事業で事業幅を拡大していきます。

(一社)あんずの森  
就労継続支援多機能事業所 あんずの森



- 助成内容：ペットフードリパック作業に伴う圧着機(シーラー機)・金属検出機購入資金として¥2,145,000を助成
- 目的：コロナ禍で下請事業も激減。その時に新堂塾オンライン研修で(株)ドアーズの柴田氏(第12回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞)から、ペットフード事業の話を聞き、法人として新規に取り組む体制を整えました。(株)ドアーズより指導と中古機械を借り受け、リパック作業を開始。毎月製造数をあげ、売上も最初の3カ月平均が約5万円から次の3カ月平均では約72万円になりました。ゆくゆくは自主製品に取り組み、給料2万5,000を目指します。

### 助成先

(NPO)コミュニティ益田  
かまて



- 助成内容：電気フライヤー購入資金として¥593,100を助成
- 目的：2017年に自分たちで調理器具を持ち寄り、コンビニ空き店舗の小さな流しで弁当・惣菜事業を始めたかまて。楠元塾入塾時には1日29個でしたが、2019年に厨房の改修を行い、1日100個製造を目指すことができるようになりました。ただ、人気の手づくりカレーコロッケなど、天ぷら鍋で揚げているため時間がかかり、大量に揚げるとコロッケが爆発してロスが出ます。フライヤーを入れることでメニューを広げ、唐揚げなど惣菜として販売することも考えています。

(社福)あしたの会  
どんぐり村福祉工場



- 助成内容：弁当製造厨房の床塗装・排水目皿の取り替え・側溝補修の実施に¥2,695,000を助成
- 目的：どんぐり村福祉工場は、楠元塾入塾時に277個だった製造個数がさらに増え、2022年1月には345個を製造するようになり、HACCP取得も視野に入ってきました。しかし、開設されて19年が経ち、厨房内は床の塗装のはがれがひどく、コンクリートがむき出しになっています。HACCP導入準備として、床の塗り替え、排水目皿の取り替え、側溝補修を行い衛生面を強化。安心安全なお弁当を提供し売上を拡大して、利用者さんの給料向上を目指します。

### 新堂塾

### 助成対象事業の内容および助成額

### 楠元塾

### 助成対象事業の内容および助成額

## 新堂塾 (第4期)



新堂塾は、生産効率を高めるライン化の実現で給料増額を目指しています。塾長である(社福)武蔵野千川福祉会の新堂常務理事は「ライン化とは、いままで一人で行っていた仕事を、いくつかの工程に分け、複数人で分担作業することで生産性を上げ、売り上げを伸ばすこと」と伝え、塾生は働く環境の改善、ビジネスマナー、お客様へのアプローチなど総合的な改善に取り組んでいます。

- 塾長：(社福)武蔵野千川福祉会 常務理事 **新堂 薫氏**
- アドバイザー：(社福)武蔵野千川福祉会 理事長 **菅野 敦氏**

### ○略歴

新堂 薫氏は、第9回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞を受賞(2008年度)。2010年9月～2013年3月『障がい者の働くちから革新塾(第1期新堂塾)』、2013年9月～2015年9月『夢へのかけ橋実践塾 新堂塾(第2期)』、2016年9月～2018年9月『新堂塾(第3期)』、2019年9月からは『新堂塾(第4期)』の塾長として、15年間の長きにわたりヤマト福祉財団の活動にご協力いただきました。新堂塾長が2022年3月27日にご逝去された後、その意志を継ぎ、アドバイザーである(社福)武蔵野千川福祉会の菅野理事長が、新堂塾4期生の指導にあたっています。

### お二人 の 名言

## 「職員が成長してこそ、利用者さんの働く力も伸びる」

「利用者さんの働く力を伸ばすためには、支援のあり方はもちろん、それに見合った職場環境づくりと品質の高い仕事と量を確保することが必要です。まずは職員の意識改革をしっかりと行い、一つひとつレベルアップしていくこと。それが利用者さんの自立した社会参加につながっていくのです」

### 新堂塾：8施設 (2023年3月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容(要旨)】	【取り組みたい事業(要旨)】
(NPO) ふくおか福祉とびうめ会	就労継続支援事業所とびうめワークセンター	就労継続B型	ペットショップの清掃、ペット用バンダナ・無添加おやつ製造、販売	ペット用バンダナ・無添加おやつ事業の拡大
(社福) 北九州障害者福祉事業協会	とりはた玄海園就労センター	就労継続B型・就労移行・定着支援	印刷作業、おやつ製作、下請け作業、清掃作業	印刷作業の充実
(一社) あんずの森	就労継続支援多機能事業所 あんずの森	就労継続A型・B型	下請け作業(アメニティ、タオル袋詰め、ペットフードリパック) 清掃、農業、施設外就労	現在の仕事の収益改善、自社商品開発
(社福) やぎ	八木園	就労継続B型	下請け作業(自動車部品、作業着補修のため、クリアケース仕上げ、糸通し他)	低単価の作業を整理し高単価の仕事受注
(社福) 五倫会	太陽の郷	就労継続B型・生活介護	施設外就労(除草作業他)、DM作業、缶分別作業、農作業、惣菜	DM作業の拡大
(社福) 修光学園	ワークセンター Halle !	就労継続B型	製菓事業、紙器加工事業、DM事業	紙器加工事業、DM事業の拡大
(社福) 日本キリスト教奉仕団	東京都板橋福祉工場	就労継続A・B型・就労移行	DM封入・封緘、ペーカリー、レストラン、自主製品(プリント事業)	DM事業の拡大
(社福) 武蔵野千川福祉会	ワークイン関前	就労継続B型	DM封入・封緘事業	DM事業について作業環境づくり、生産性向上

# 新堂塾（第4期）活動報告

## » オンライン 臨時ミーティング

- 日 時：2022年4月26日
- 開催方法：Zoomミーティング

4月26日、臨時Zoomミーティングを開き、新堂塾長が急逝されたことを塾生たちに伝えました。

利用者さんが地域で自立した生活を送れるようにするために、私たちになにができるか。夢へのかけ橋実践塾の塾長として、全国の障がい者施設の職員に心のこもった指導を続けてきた新堂塾長。菅野アドバイザーは「コロナ禍のため、新堂塾長と最後にきちんとお会いしお話しできなかったのがとても悔しい。それでも利用者さんの働く力を伸ばす支援を続けていくことが、新堂塾長の想いを私たちが継いでいく唯一の方法だと思います」と、画面越しに塾生たちに伝えました。

## » 見学・勉強会

- 日時：2022年8月18日
- 場所：(社福) 日本キリスト教奉仕団  
東京都板橋福祉工場 (東京都板橋区高島平)

8月18日、コロナ禍でなかなか実現できていなかった待望の見学・勉強会を東京都板橋区の塾生施設(社福)日本キリスト教奉仕団東京都板橋福祉工場で実施しました。

「第一工場は、レストラン、喫茶店、ベーカリー、そしてDMなどの受託作業を、第二工場は水耕栽培で葉野菜などを栽培しています。地元の特別支援学校の卒業生を受け入れ、現在の利用者数は47名です。新堂塾長の施設・チャレンジャーを見学し、刺激を受け、いろいろと工夫はしているのですがいまひとつ効率が上がりません」と塾生が説明。

早速、現場を見学すると、ラインが途中で何度も止まってしまい、手持ち無沙汰にしている利用者さんの姿が目立ちます。「封筒を数えてからラインに流しているが、数量は最後の検品で確認すれば良い」と菅野アドバイザーが提案。封入工程の利用者さんが治具も使ってテキパキと作業を終えると、次の計測、封かんの利用者さんもそのスピードに合わせて仕事はスムーズに、途切れることなく流れ始めました。

アドバイザーの菅野理事長は「各工程ごとの利用者さんの能力、人数で、どれくらいの作業ができるのかを把握することが、職員には求められます。その上で、納期に合わせて適宜交通整理を行い、指示を出してください」とアドバイス。さらに「初めてこの工場を見た人が、ここでどんな仕事をしているのか、どう仕事が行っているのかがわかるようにしなければ、利用者さんの働く力は向上していきませんよ」と伝えました。



### ■ 見学・勉強会の内容

日程	プログラム
8月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法人説明</li> <li>■ 施設・作業内容の見学</li> <li>■ 勉強会 (職員も参加)</li> </ul>

## » 見学・勉強会

- 日時：2022年8月30・31日
- 場所：(一社) あんずの森 就労継続支援多機能事業所  
あんずの森 (愛媛県松山市)

8月30・31日には、愛媛県松山市の塾生施設 (一社) あんずの森の多機能事業所「あんずの森」へ。

「B型では、清掃作業や野菜やハーブの栽培、施設外就労を行っています。さらに現在は、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者の柴田智宏氏のご協力を得て、ペットフードのリパックも開始しました。このリパックのラインをフル活用できるように、農業班が栽培したハーブの加工・パック作業も行うなど各班が連携して仕事を進めています。

B型で働く利用者さんは、グループ作業、一人での作業に慣れてくるとA型事業所へステップアップ。施設外就労先のコープの物流センターで多くの従業員と一緒に働きながらさらに働く力を高め、一般就労を目指しています」と泉代表理事が説明。そのあと、利用者さんたちのそれぞれの職場を見学してまわりました。

翌日の勉強会では、職員のみなさんから日頃抱えているさまざまな課題について質問が飛び交うことに。一番の悩みは「仕事に集中し続けられない利用者さんをどう支援するか」です。

菅野理事長は「とにかく意欲を持たせること。それには、高い給料も必要だが、たくさんほめてあげることが必要です。例えば、20分に一度ほめることができる、そんな仕事の流れ、仕組みを作ってみましょう。次は、仕事の流れをより視覚的に理解できるようにすること。自分が何をやっているのか、何を作っているのかが見えないとやりがいが湧いてきません」とアドバイスしました。



### ■ 見学・勉強会の内容

日程	プログラム
8月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法人説明</li> <li>■ 施設・作業内容の見学</li> <li>■ 施設外就労先の作業内容の見学</li> </ul>
8月31日	■ 勉強会 (職員も参加)

## » 関西地区見学・勉強会

- 日時：2022年10月13日
- 場所：(社福) 五倫会 太陽の郷 (兵庫県姫路市)

10月13日に見学・勉強会で訪れた兵庫県姫路市の(社福)五倫会の事業所「太陽の郷」は、月額平均給料を約3万6,000円まで伸ばしています。しかし、コロナ禍で事業の柱の一つDMの封入封かんの受注が下降線をたどっていることに悩んでいました。

「除草作業、空き缶リサイクル、お弁当、施設外就労など、他にもたくさん仕事があるので、他の仕事を増やしていけばと思っていますが、中には仕事の集中力を欠いている人もいて」と塾生。

菅野理事長は「以前は、清掃作業などのサービス業は、知的障がい者に向いていないと言われていましたが、工程を分け、手順を明確にすることでできるようになってきました。



他にも治具などいろんな支援方法が考えられるし、もっと勉強し工夫していけば、苦手な仕事も得意に変えていけるはずです。ただし、あれもこれもと一人の利用者さんがいろんな仕事を担当するのはどうでしょうか。一つの仕事に専念することで、これが私の仕事だという自覚と働く喜びも生まれてきます。結果、その仕事に特化して能力は伸びていくし、職員も適切な支援ができますね。

学校を卒業して施設に入り20年が経ち、40歳になる利用者さんもいると聞いています。これから歳を取り、できる仕事も変化していくでしょう。利用者さん一人ひとりを見つめ、その方の能力に、頑張っている対価に見合う仕事なのか、原材料費・経費を計算し、確かな給料を支払える収益を上げられる仕事なのか。この先も見つめながら、どの仕事により力を入れていくべきかを考えてみてください」と伝えました。

## » 関西地区見学・勉強会

- 日時：2022年10月14日
- 場所：(社福) 修光学園 飛鳥井ワークセンター  
ワークセンターHalle! (京都府京都市)

翌日の10月14日は、京都府京都市の(社福) 修光学園へ。まずは給食・配食サービスを軸にした「飛鳥井ワークセンター」を見学。続いて塾生が担当するB型事業所「ワークセンターHalle!」で、お土産品に使う紙器加工、地元印刷会社と提携したDM作業、そして蜜玉マドレーヌなどの製菓作業を見学しました。

「2018年に地元の生産者とコラボして利用者さんたちが作った製菓を販売する洋菓子店をオープン。紙器加工もより単価の高い仕事を受注するなど売上を伸ばし、利用者さんの平均月額給料は3万6,000円を超えました。さあこれからだと盛り上がっていた矢先、コロナ禍で状況が一変。観光客の減少とともにお菓子も紙器加工も売上は大幅にダウンしてしまったのです」と塾生は肩を落とします。

それでもお中元・お歳暮の注文を維持。新たに京都市のふるさと納税の返礼品に選ばれるなど復活の兆しも見えています。さらに、DMの仕事安定して受注できるように印刷会社との連携を強化していますが、いまの利用者さんのスピードで納期に間に合うのかと、ハラハラすることも多いようです。

そこで菅野理事長は「でき上がった物を持ってきた利用者さんに、良くできましたね。次はこれをやってみて、と声かけをしてみてもは？」とアドバイス。実際にやってみると、利用者さんの動きはイキイキと変わり、作業スピードまでアップしました。「その一言で利用者さんはどう変化したのか、職員はちゃんと見ていましたか？ 誰だってほめられたらうれしいですね。工程や作業環境の改善点もありますが、自分たちの支援に利用者さんがどう反応しているのかを把握していないと、次の方法は考えられないはずです」と厳しい指摘も加えました。

## ■ 関西地区見学・勉強会の内容

日程	プログラム
10月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法人説明</li> <li>■ 施設・作業内容の見学</li> <li>■ 勉強会（職員も参加）</li> </ul>



## ■ 関西地区見学・勉強会の内容

日程	プログラム
10月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法人説明</li> <li>■ 施設・作業内容の見学</li> <li>■ 勉強会（職員も参加）</li> </ul>

## » 広島地区見学・勉強会

● 日時：2022年12月1日

● 場所：(社福) やぎ 八木園 (広島県広島市)

12月1日、広島市内でカフェの運営と企業からの委託作業を行う塾生施設(社福)やぎの「八木園」を訪ねました。

「企業から委託されているのは、作業着の補修や縫製、金属部品の内職などです。まだとても満足できる給与に到達できていませんが、受注量を増やし過ぎると、余暇にあてる時間が削られていくので、そのバランスを取るのに苦労しています」と塾生。勉強会で職員も「学校を卒業してここで働く子たちに、働くとはなにかを伝えるのが難しい」「やはり楽しく過ごしてもらうことが大切なのは」と悩みを口にします。

それを聞いた他の塾生は「うちの利用者さんは、もっと働きたいと言っているけれど」と疑問を感じた様子です。そんなやり取りを聞いていた菅野理事長は「働くこと、楽しむこと。二つは対立するものなのでしょうか」と塾生たちに問いかけます。

「私は、新堂塾のアドバイザーとして長年多くの塾生たちとこの問題について考えてきました。そこでわかったのは、楽しく働いて見えないのは、仕事の提供の仕方が良くないからだ、ということです。自分がなにをしているのか、なにを作っているのか、それがどう人の役に立っているのか。それがわかると、人は働くことが楽しくなってきます。しかもその頑張りを認めてもらい、給料という形になって評価されれば、なおうれしい。だからより積極的に取り組み、力も伸びてますます楽しくなる。そんな好循環を作るのは、職員の仕事です」と説きました。



### ■ 広島地区見学・勉強会の内容

日程	プログラム
12月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 古民家カフェ・デミール見学</li> <li>■ 法人説明</li> <li>■ 施設・作業内容の見学</li> <li>■ 勉強会 (職員も参加)</li> </ul>

## » 広島地区見学・勉強会

● 日時：2022年12月2日

● 場所：(社福) 平成会 あさひ (広島県竹原市)

12月2日、同じ広島県内にあり、9月のパワーアップフォーラムで講演した多機能事業所あさひを訪問。ここは先日の勉強会のテーマとなった「働くことと、楽しむこと」を一つに実現している施設です。早速、チョコレートづくり、接客を行うチョコレートカフェで、楽しそうに働く利用者さんの働きぶり、それを実現する仕事の提供の仕方を見学。職員と意見交換会も行い、具体的に現場でどのように工夫・実践しているかなど、多くの参考にできる点を学ぶことができました。



### ■ 広島地区見学・勉強会の内容

日程	プログラム
12月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ あさひチョコレートカフェ見学</li> <li>■ 多機能事業所あさひ見学</li> <li>■ 法人説明</li> <li>■ 意見交換会</li> </ul>

## 》 オンライン 見学・勉強会報告会

- 日 時：2022年12月15日、2023年1月30日
- 開催方法：Zoomミーティング

12月15日と1月30日の2日間に分けオンラインで今期見学した五つの塾生施設の感想を話し合いました。塾生たちは、各施設の改善点を分析することで、自分たちの施設にも反映しようとしています。

菅野理事長は「動線や5Sなど各自の課題はまだありますが、作業内容をわかりやすくするために見える化したり、治具を開発したりと、学んだ点をよく反映できていました。今後も職員間で課題を共有し、アイデアを出し合い、事業所全体で具体的に実践できるように進めていきましょう」と伝えました。



## 》 新堂塾（第4期）修了式・最終発表会

- 日時：2023年3月13・14日
- 場所：(社福) 武蔵野千川福祉会（東京都武蔵野市）  
／ホテルL stay&grow南砂町（東京都江東区）

コロナ禍で2年間の研修を3年半に延長し、利用者さんの働く力を伸ばし給料増額を実現する学びと実践を積み重ねてきた新堂塾9名の塾生たち。3月13日には、故・新堂塾長の施設であり、アドバイザーの菅野理事長がその意志を引き継いだ(社福)武蔵野千川福祉会の各事業所を訪れ、これまで研修してきた内容を菅野理事長たちがどう実践されているかを見学しました。

菅野理事長は「私はこの3年間で、利用者さんの働く力を伸ばし最終的に「働く態度、を育んでいこうとお話してきました。これは利用者さんが、仕事だけでなく「暮らしに向かう態度、を育成し、安定・自立して地域で暮らしていくためにも大切な支援です。人とかかわりながら、働き、学び、楽しみ、バランスを保ちながら成長していく。それを給料に反映できる仕事の創出と支援のあり方の両方を、今後も同時に進めてください」と伝えました。

翌日は、宿泊研修施設・L stay&grow南砂町で最終発表会を開催。塾生たちが発表した3年半の研修成果を聞いた山内理事長は「突然のコロナ感染拡大により、利用者さんが通所できなくなったり、仕事が減ったりと、みなさん大変でしたね。学んできたことを思うように実践することもできず、悩まれた方もいると思います」と3年間の頑張りを労いました。

「机上の知識や情報だけでなく「やってみる」こと、です。たとえば実際にレイアウトを変えてみると、利用者さんの反応など予想以上のことが起きてきます。なかには数字に現れない効果もある。そういった利用者さんの変化、成長をよく



見て、ほめて上げることも大切です。そこから職員にも新たな気づきが生まれてくると思います。みなさんは、なんととしてもやり遂げる、そんな「覚悟」を互いに確認し合える仲間を得ました。そのネットワークを活かし、自分の施設だけではできない新しいことにも共同で挑戦してほしいと願っています」と講評しました。

菅野理事長も「これからも利用者さんの変化を見逃さないでください。私たちの仕事は、利用者さんの仕事の技能を伸ばすだけではありません。働く意欲を高め、生活面での態度を育み、地域の一人として暮らせる力を育てていくことを目標としてください。そのために必要な動作分析について、最後に説明しておきましょう」と講義を始めました。塾生たちは、ペンを握り直すと菅野理事長の最後の講義に熱心に耳を傾け「利用者さんのために学び続ける、そんな新堂塾らしい姿勢を貫いた発表会となりました。

財団から修了の結びに「一人ひとりの心に新堂塾長がいて、この学びを実践していくことが恩返しになります」と塾生に伝えました。



### ■ 新堂塾(第4期)修了式・最終発表会の内容

日程	プログラム
3月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワークイン中町見学</li> <li>■ ワークイン関前見学</li> <li>■ チャレンジャー見学</li> <li>■ 法人説明・見学振り返り・塾生の感想</li> <li>※ホテル移動</li> <li>■ 懇親会</li> </ul>
3月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 塾生から学びの成果発表</li> <li>■ 講評(山内理事長)</li> <li>■ 講義(菅野理事長)</li> <li>■ 今後について</li> </ul>

### ■ 新堂塾4期生 3年半の変化 (2019年9月～2023年3月)

単位:円(平均売上、平均給料) 単位:人(在籍人数)

		入塾2019年度 (9月～3月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)	2022年度 (4月～3月)	入塾時からの比較 修了÷入塾時(%)
とびうめ ワークセンター	1か月平均売上	2,064,521	2,953,533	3,264,937	3,555,439	172%
	利用者在籍人数	26	30	30	36	138%
	平均給料	20,915	26,811	31,878	34,148	163%
とりはた玄海園 就労センター	1か月平均売上	1,556,845	1,716,491	1,443,075	2,012,304	129%
	利用者在籍人数	33	33	30	29	88%
	平均給料	23,700	19,681	20,898	20,258	85%
あんずの森	1か月平均売上	124,913	187,034	777,460	954,549	764%
	利用者在籍人数	16	18	17	16	100%
	平均給料	7,104	11,368	13,460	16,198	228%
八木園	1か月平均売上	147,606	152,096	167,738	135,080	92%
	利用者在籍人数	19	19	15	10	53%
	平均給料	7,217	6,711	6,119	5,864	81%
太陽の郷	1か月平均売上	1,742,443	1,304,156	1,895,988	2,193,517	126%
	利用者在籍人数	16	16	17	16	100%
	平均給料	26,034	32,825	35,117	35,014	134%
ワークセンター Halle!	1か月平均売上	1,678,409	1,568,615	1,825,865	1,820,698	108%
	利用者在籍人数	31	33	33	33	106%
	平均給料	36,355	28,176	34,776	35,050	96%
東京都板橋福祉工場	1か月平均売上	875,156	667,598	834,344	1,291,416	148%
	利用者在籍人数	35	35	42	42	120%
	平均給料	24,265	16,737	17,048	26,095	108%
ワークイン関前	1か月平均売上	1,268,399	869,220	870,476	972,473	77%
	利用者在籍人数	20	18	19	20	100%
	平均給料	48,793	42,350	43,267	46,226	95%

## ■ 3年半の研修を終えて「塾生の成果発表」



### ・とびうめワークセンター 福本親吾さん

「ペットフード業界で培ったノウハウを福祉施設で活かす自信はありましたが、利用者さんの働く力を伸ばし、給料増額につなげる、さまざまなノウハウを学び、平均月額給料は入塾時より260%アップできました。今後は、給料が上がるたびに利用者さんがどう変化していくか、その姿を楽しみに上を目指していきます」



### ・とりはた玄海園就労センター 出口貴行さん

「職員全体が給料増額の意識を共有化し、就労支援としての結果にこだわり取り組むことができました。煩雑な作業、単価が低い事業から脱却するため、新たにペットフードリパック事業を開始。今後は営業にも力を入れて仕事量を増やし、作業の進め方、取り組み方をより改善し続けていこうと思います」



### ・あんずの森 泉 栄さん

「成功している施設の規模や地域差を羨むばかりの時期もありましたが、弱みを強み！と意識転換を図り、営業を重ねました。本当の意味で、働く力に必要なこと、が見えてきて、施設全体で支援の方向を統一し、施設外就労という形でも企業との受注関係・信頼関係を構築することができました」



### ・八木園 岡本真生さん

「度重なるコロナ感染者の発生で利用者さんが安定して仕事に従事できず、取引量も減ってしまうことに。それでも作業ごとの動線を工夫し、人数が少ないときも生産性を上げ、現状を維持しています。正直、まだまだこれからですが、ここで学んだことを施設全体で進められるように意識改善を図っていきます」



### ・太陽の郷 廣岡有希さん

「毎月、作業振り返りを行い課題を明らかにし、解決のための計画を立て実践していく。そんな習慣ができてきたことで、自分以外の職員から治具の考案などの意見も出るようにもなりました。いまでは利用者さんのスキルアップを利用者さんと職員と一緒に喜び合える、そんな意識と雰囲気施設全体に広まっています」



### ・ワークセンター Halle! 豊崎景太さん

「新たに始めたDMの封入封かん作業では、視察でアドバイスいただいた、定数で作業を流す、利用者さんの作業を評価する、を取り入れています。利用者さんは、評価されることで喜びを感じ働く力も伸び、それが全体の生産性アップに、給料増額にもつながる。そんな好循環を目指していきます」



### ・東京都板橋福祉工場 大西政嗣さん

「生産会議を新たに設け、新堂塾で学んだ内容をみんなで共有することで、職員の意識も意欲も高まっています。営業が根気よく頑張ってくれたおかげで固定案件が増え、また口コミで取引先も増えてきました。利用者さんも、どんな工程で作業を進めていくかを理解し行動できるように成長してきています」



### ・ワークイン関前 亀村知恵美さん

「レイアウトや作業提供の見直しを図り、利用者さんがより働きやすい無駄のない環境へ。また、作業稼働率を可視化することで、営業が取引先と交渉しやすく大口案件を受注できるようにし、ノベルティグッズなどDM以外の仕事も拡大していきます。コロナ禍をともに乗り越えた塾の仲間は、かけがえのない宝物となりました」

## 楠元塾 (第3期)



「弁当・配食サービス事業」を対象として給料増額を目指す楠元塾。塾長である(社福)キャンパスの会 楠元理事長は、自分たちのつくりたいものではなく「お客様が求める売れるメニューづくり」を指導。無駄をなくす棚卸しや材料から容器まで網羅した原価計算などで利益をきちんと計算し、利用者さんの給料アップへのさまざまな実践ノウハウを教えてくださいました。

● 塾長：(社福)キャンパスの会 理事長 楠元 洋子 氏

### ○ 略歴

2007年に(社福)キャンパスの会を立ち上げ、「障がいの重さに関係なく、一人でも多くの利用者さんに働く場とお給料を」のテーマで弁当・配食サービス事業を開始。現在1日2,000食以上を販売。その他にもリネン事業、レストランの運営など、幅広く障がいのある方の働く場を創出している。また、2017年には重症心身障がい児(者)と家族のために医療的ケアもできる福祉施設『はながしま診療所』を開設した。2014年9月～2016年9月『夢へのかけ橋実践塾 楠元塾(第1期)』塾長。2017年9月～2019年9月『楠元塾(第2期)』塾長。2019年9月～『楠元塾(第3期)』塾長。第13回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞(2012年度)。

## 「見て楽しい、食べて美味しい、価格で嬉しい」を合い言葉に

研修を終えて  
塾長  
メッセージ

コロナ禍のお弁当塾で学び合った知識や技術、気持ちの持ち方などを業務に活かしていただき以上の成果を上げていきましょう。地域のお弁当屋さんで認知されるために、日々のPDCAを継続し、スタッフと利用者さんとのコミュニケーションをしっかりとっていくこと。「見て楽しい、食べて美味しい、価格で嬉しい」の合い言葉を忘れずに、目標・目的を見失うことなく進んでください。みなさまのおかげで私も事業の振り返りやたくさんの方の事を学ばせていただきました。またいつか、その後の続きを話し合える日を楽しみにしています。

### 楠元塾塾生：8施設 (2023年3月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容(要旨)】	【今後の方向性(入塾時)】
(NPO) Joint Joy	Joint Joy	就労継続B型・就労移行	農業・弁当	弁当を中心とした事業、100食を目標
(NPO) コミュニティ益田	かまて	就労継続B型	ウエス製造・内職・電線の皮むき・弁当・惣菜	弁当事業の拡大
(社福) 敬和会	就労支援センター ハーモニー	就労継続B型・就労移行	きのご栽培・キッチン事業(カフェ・弁当)	弁当を中心とした事業
(社福) あしたの会	どんぐり村福祉工場	就労継続A・B型	A型…弁当、 B型…パン・クッキー	現在260食を350食へ
(社福) 矢吹厚生事業所	わーくる矢吹	就労継続B型・生活訓練	弁当・衣類縫製 ほか	作業環境の改善による弁当数向上
(社福) くまもと障害者労働センター	くまもと障害者労働センター おれんじカフェ	就労継続B型・生活介護	菓子製造・弁当・カフェテリア	現在80食を250食へ
(同) エルアクト	はたらく工房	就労継続B型	お弁当、おやき製造販売・農作業	弁当・配食サービスの開始
(NPO) ともいき	就労支援センター みらいず	就労継続B型	お惣菜、お弁当製造・店頭販売	弁当・配食サービスの開始

# 楠元塾（第3期）活動報告

## » 見学・勉強会

- 日時：2022年7月20日
- 場所：（社福）あしたの会  
どんぐり村福祉工場（岐阜県本巣市）

7月20日、岐阜県の（社福）あしたの会のどんぐり村福祉工場で見学・勉強会を開催しました。今回は、感染対策のため楠元塾長が現地に赴き、他の塾生はオンラインで勉強会に参加する新たな試みで実施しています。

どんぐり村福祉工場は、1日350食以上の弁当を福祉施設や病院の職員に配食しています。気になるのは、利用者さんが主力として活躍できていないことでした。

「職員の本来の仕事は、利用者さんが働きやすい環境などの支援をすることです。たとえば、たくさんお弁当を並べていますが、これでは盛りつけるお惣菜のボールを置くスペースがありません」と楠元塾長。塾生は、すぐに弁当箱を並べ替えてみました。また楠元塾長は導入したばかりの粗熱取りプラスチックには傷が付いていましたが、配置が悪いことが原因と指摘しています。

「盛りつけ作業にはなにが必要か、どう動くか、効率的か、それにはなにをどこに置くと良いかを考えてください。そして利用者さんの話もしっかりと聞くこと。ここから企業に巣立つ人も、調理関連のプロになりたいと言う人もいます。仕事はもちろんお金のことも含めて、利用者さんといういろいろな話をしてこれからの方向性を決めていってください」。

楠元塾長のアドバイスを、オンラインで参加している他の塾生たちも真剣に聞き入っていました。



### ■ 見学・勉強会の内容

日程	プログラム
7月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ どんぐり村福祉工場見学</li> <li>■ 昼食・試食</li> <li>■ オンライン勉強会</li> </ul>

## » 第3回研修会

- 日時：2022年10月20・21日
- 場所：岐阜県福祉・農業会館、  
じゅうろくプラザ（岐阜県岐阜市）

10月20日、岐阜県福祉・農業会館、翌21日はじゅうろくプラザで全体研修を実施しました。塾生たちは、楠元塾長が課題にした「利用者さんが働きやすくなる環境づくり」の取り組み状況と、いま抱えている問題点を報告。多くの塾生が悩んでいるのは「利用者さんが動きやすい動線をどうやって確保するか」です。現場の様子を撮影してきた塾生の動画を



みんなで見ながら改善点を話し合っていました。

翌日も塾生の取り組み報告の続きから開始し、楠元塾長が一人ひとりを講評。環境づくりの他にも同じ味で提供するための秤の使い方、二人で協力して作業するノウハウ、そして原価計算についてなども具体的にアドバイスしていきま

した。  
「改善した方がよいと気づいたことはすぐにやってください。次は、利用者さんにお弁当づくり全体の流れが見えるようにも工夫していきましょう。なんのためにその仕事をしているのかがわかると、利用者さんの意欲も違ってきますよ」と次のステップも示しました。そして「これからクリスマスやお正月に向けてオードブルなどの需要は増えていきます。福祉施設の強みを活かした高齢者向けのお節料理などにもチャレンジしてみましょう」と激励の声をかけ、研修会を締めくくりました。



### ■ 第3回研修会の内容

日程	プログラム
10月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 研修会①／塾生報告</li> <li>■ 楠元塾長の講評</li> </ul>
10月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 研修会②／塾生報告</li> <li>■ 楠元塾長の講評</li> </ul>

## » 見学・勉強会 (オンライン塾長視察)

- 日時：2022年10月31日・11月1日
- 場所：(NPO) JointJoy (京都府八幡市)

京都府八幡市の塾生施設 (NPO) JointJoyの見学・勉強会は、ヤマト福祉財団のスタッフが現地に入り、初日に厨房などを見学し、その様子を写真や動画などに記録。翌日は楠元塾長に宮崎の(社福)キャンパスの会のオフィスから視聴、講評いただくスタイルで実施しました。

楠元塾長の講評は「衛生管理が徹底できていないですね」と厳しい指摘から始まることに。「どこにどの道具を置き、だれが使い元に戻すのか。ルールをしっかりと決めてください。でも塾生がすべて一人で指示を出すのでは意味がありませんよ。みんなで考えて決め、自主的に動くようにしてください」と話しました。

塾生は「最終目標は1日300個の弁当販売の実現です。まずは年度内に200個を目指しています」と報告。しかし、狭い厨房ではなかなか生産性が上がらず悩んでいる様子です。「一気に盛りつけようとたくさん弁当を並べるのは逆効果です。盛りつける人がぶつからないように、バランスの良い数にすること。盛りつけ終わったら蓋を閉めて配達に動けば、すぐに次の盛りつけに入れます」と楠元塾長。また「一番大事なのは、お客様からお金をいただき提供するだけの品質であること。高齢者にとって最後の食事になるかもしれない、それに応えるだけのプロの弁当屋としての誇りを持ってください。厳しい指摘をしていますが、棚卸しなどはしっかりできているようなので、もうひと頑張りですよ」とアドバイスしました。



### ■ 見学・勉強会 (オンライン塾長視察) の内容

日程	プログラム
10月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヤマト福祉財団職員による現地見学 (撮影)</li> </ul>
11月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 楠元塾長のオンライン視察・講評</li> </ul>

## » 楠元塾（第3期）卒業の会「飛躍へ！」

● 日時：2023年3月15～17日

● 場所：（社福）キャンパスの会（宮崎県都城市）

3月15～17日、8名の塾生たちが宮崎県都城市にある楠元塾長の施設（社福）キャンパスの会に集い、卒業の会を行いました。

16日は、お弁当のまるよしと加工センターキャンパスを見学。塾生は、3年前に見学したときは、見る目もポイントも違ってきているようです。見学後は加工センターキャンパスで卒業の会を開き、3年間半の研修の成果と感想を一人ずつ発表しました。

「お弁当を口にしてお客様が、ああ美味しかったとまた食べたくなるようなお弁当を作り続けたい」「原価計算の方法、目で惹き付けるお弁当の色合い、お客様の声をホワイトボードに書いてみんなで共有するなどいろいろと学べた」「安心してお弁当を提供できるように、みんなで厨房をきれいに保つ意識を持つ」「盛りつけの際の手順や並べ方など、ちょっとした工夫で働きやすく効率的に変わることには驚いた」「図や写真で見てわかるようにすることで、利用者さんに大きな変化が生まれた」。塾生たちは多くの学びを得て、入塾時よりも販売数、給料で着実な成果を上げました。

リモートで参加した山内理事長は「写真で入塾前後の弁当を見せてもらいましたが、みんな美味しそうに変わりましたね。お客様のことを考えて作ることで、いろいろな変化が生まれたのだと思います。これからも毎日お客様の顔と数字をしっかりと見つめていく、そんな日々の積み重ねを大事にしてください。そこから肌感覚での気づきを得て、自分たちの感性を磨くこともできます」と講評。「利用者さんの幸せをつねに意識し、失敗を恐れずやってみる覚悟を持ち続けてください」と、はなむけの言葉を贈りました。

そのあと、塾生たちはキャンパスの会の事業所「ふくふく」で新メニューに追加できる総菜の調理実習を、キャンパスの会の料理長から直接教えていただきました。

翌日は生活介護なみきで、塾生たちの今後の抱負を発表しました。楠元塾長は「みなさんには、いろいろ厳しいことも言ってきましたが、本当に良く頑張ってきましたね。これからはそれぞれの地域の客層を見つめ、どんなお弁当が喜ばれるかを考え続けていきましょう。見て楽しい、食べて美味しい、価格で嬉しい、ここにいままで勉強したすべての内容が詰まっています」と最後のメッセージを伝え、3年間半の研修の幕を閉じました。



### ■ 楠元塾（第3期）卒業の会の内容

日程	プログラム
3月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ お弁当のまるよし見学</li> <li>■ 加工センターキャンパス見学</li> <li>■ 卒業の会 (山内理事長リモート参加)</li> <li>■ ふくふくで調理実習</li> </ul>
3月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生活介護なみきで 塾生から今後の抱負</li> <li>■ 楠元塾長講評</li> </ul>

## ■ 3年半の研修を終えて「塾生の成果発表」



### ● Joint Joy 山本陽子

感染症と物価変動と大きな混乱の中で楠元塾の一員として毎月きめ細やかなフォローのおかげで、売り上げを落とさず、一步步前進できた実感しています。「商売」の基本を塾長はじめ財団のみなさまが繰り返しアドバイスくださったことで、思うように進まない現実と向き合いながらも、前進できる形が身につく、先につなげていくことができそうです。塾長のようなスピード感は持ち合わせていませんが、粘り強くコツコツと「家族に食べさせたい手作りのお弁当作りで地域のお役に立ち、ハンデのある人の生活をよりよいものにする」ために基本を継続し、工賃を毎年上げていけるよう皆で励みたいと思います。



### ● かまて 村上栄子

入塾時の誓約書「工賃5万円」は今も目標です。この間に人生で二度とないような厨房改修工事もあり、この塾でのご助言がどんなに心強かったです。みなさんと知り合えたのも財産です。

お弁当作りの素人の私が、原価計算、棚卸、衛生管理、彩鮮やかなお弁当…毎日毎日考えることで、一緒に働く人たちにも伝えることができるようになったと思います。そして、口うるさくなりました。「私たちにはお客様が2人います。お弁当を買ってくれるお客様と働く利用者さんです。お弁当が売れなくなっても私たちの給料は下がらない。手を抜かず、一個でも多く売ることを真剣に考えましょう」。次は唐揚げとコロッケ惣菜にチャレンジし、障がいがあってもやりがいを持って生き生きと働き、高い工賃を得て、幸せに暮らす。その夢を実現したいと思います。



### ● 就労支援センターハーモニー 松尾隼人

塾長に視察にきていただき、厨房内も作業しやすいように動線も改善しました。お弁当の蓋を開けたときにお客さまがどう思うか、というのを利用者さんにも「きれいな盛り付けを」と常々声をかけています。塾で学んで、私自身が数字に対する意識が変わりました。私が変わると周りの職員が変わり、利用者さんが変わって、事業所内の別事業の職員も一緒に数字を追ってくれるようになりました。事業所として一丸となって、利用者さんの給料を上げるという雰囲気が出てきました。1年後、2年後が楽しみで、いろんなことが動き出しています。自分もどんどん向上して、法人も変わっていけるように頑張っていきたいと思っています。



### ● どんぐり村福祉工場 羽賀智加

塾長には献立や盛り付け方、衛生、営業、原価計算などの弁当事業の基礎を一から丁寧に教えていただき、自分の施設を見直すきっかけになりました。また、塾長視察で現場に来ていただいたときにはたくさんご意見をいただき、改善点が明確になりました。

弁当事業という、同じ環境で働く全国の方々と研修で情報共有できたり、相談し合えるような関係性を築くことができ、良い繋がりができました。入塾させていただいたことで利用者さんの給料を上げることができ、さらなる給料アップを目指すため営業が積極的にできているのも楠元塾のおかげです。今後も塾長や3期生の方々の繋がりを大切にしていき、より良いお弁当を提供していきます。



### ● わーくる矢吹 松村優佳

入塾前は弁当の原価、売上を正確に把握できていませんでしたが、毎月行ったPDCAサイクル、日別売上、棚卸し、弁当を写真で撮影し記録を残す事により、値段に見合ったものか、在庫を抱えずに無駄にしているものがないか等、数字で知ることができました。

コロナ禍で売上が伸び悩む時期もありましたが、楠元塾長をはじめ、みなさまのおかげで厳しい時も乗り越え、無事新店舗への移転を行うことができました。

塾長視察で直接ご指導をいただけたことで職員、利用者全員が問題点に対する改善意識・モチベーションの向上につながり、常に向上心を持って作業に取り組んでいます。今後、わーくるが地域のみなさまにもっと必要とされるよう頑張っていきたいと思っています。



### ● くまもと障害者労働センター・おれんじ村 宮守文美子

楠元塾長から、基本的な衛生面・営業面・覚悟を持って取り組む事・感謝の気持ちを忘れないなど、たくさんのことを学びました。いろいろなアドバイスもいただきみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。ヤマト福祉財団様から助成金をいただき、新社屋が建ち調理機器など購入しました。今後も大事に使って製造数を上げていきます。そして、PDCAなどを継続しておれんじ村一丸となり、メンバーの工賃を上げたいという目標に向けて取り組んでいきます。

3年半の中で、経済的影響などありましたが、3期生のみなさまと出会い、それぞれ乗り越えて来た仲間と、これからも繋がりたいと思います。おれんじ村にとって、貴重な時間になりました。



● はたらく工房・むぎのね 狩野ナギラ

お弁当塾で一番学んだ事は、何よりお弁当作りのいろはです。何も分からない状況での新規事業で、お米の炊き方やお弁当箱選び・・・分からないことをすぐに教えてもらえることは絶大な安心感がありました。PDCAに取り組み、原価計算をする事で数字をいつも意識するようになりました。

もしあの時に、お弁当塾に入塾させてもらってなければ、コロナ渦の中で利用者さんの工賃は激減していたと思います。「とにかくやってみる、やってみた先に新しい景色が見えてくる」山内理事長の卒業の会でのお言葉に深くうなずく私がいまいました。3年半の歩みの中で多くの人に出会い刺激を受け、行動する事の大切さを教えていただきました。本当にありがとうございました。



● 就労支援センターみらいず 山下俊介

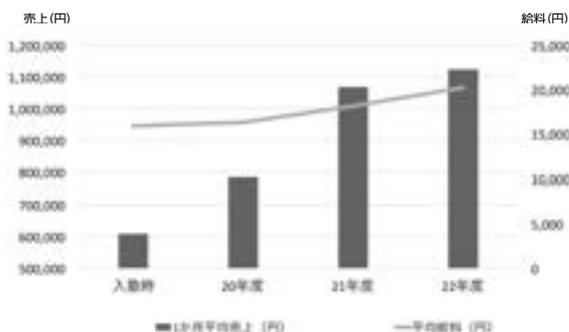
就労支援センターみらいずは、鹿児島市の市街地にあるお持ち帰りの「お惣菜屋さん」です。「利用者さんの工賃向上とその手段としてのお弁当の利益アップのために」という同じ思いで集った塾生との出会いは財産となりました。山内理事長が話されていた、「お客様がよろこぶ」、「日々の積み重ね」、「やってみる（試行錯誤）」という言葉や、「サービスが先、利益は後、利益はあとからついてくる」、「お客様とのつながりを作り、意見をいただきサービスで還元する」など、重みがあり、実践的で有用な助言を、今後の発展に活かしていきたいと思っています。

今後も利用者さんの笑顔や生きがいのために歩む、みらいずであり続けたいと思っています。

■ 楠元塾3期生 2022年度実績 (2022年4月～2023年3月)

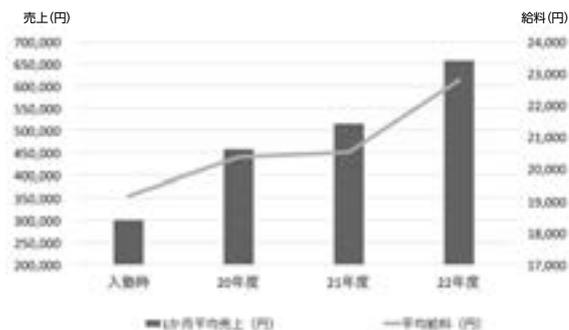
■ Joint Joy

	入塾時の状況 (2019年10月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)	塾修了時 2022年度 (4月～3月)	入塾からの比較 修了÷入塾時 (%)
1か月平均売上(円)	607,610	783,530	1,067,473	1,122,656	185%
1日あたりの個数(個)	41	60	83	89	217%
利用者人数(人)	21	26	25	25	122%
平均給料(円)	15,880	16,276	18,119	20,202	127%



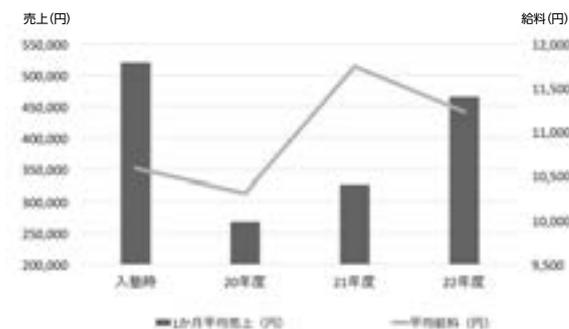
■ かまて

	入塾時の状況 (2019年10月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)	塾修了時 2022年度 (4月～3月)	入塾からの比較 修了÷入塾時 (%)
1か月平均売上(円)	299,710	456,632	514,315	656,181	219%
1日あたりの個数(個)	29	40	49	55	193%
利用者人数(人)	14	14	16	16	117%
平均給料(円)	19,151	20,347	20,499	22,778	119%



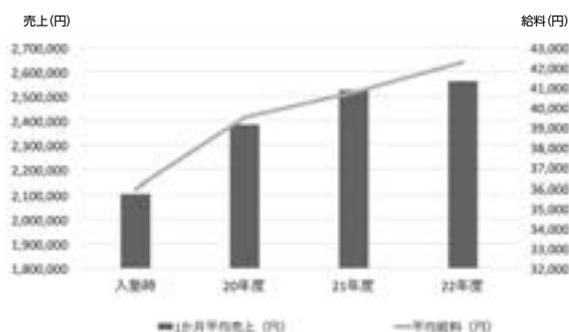
■ 就労支援センターハーモニー

	入塾時の状況 (2019年10月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)	塾修了時 2022年度 (4月～3月)	入塾からの比較 修了÷入塾時 (%)
1か月平均売上(円)	520,244	267,552	326,861	465,642	90%
1日あたりの個数(個)	68	29	27	40	59%
利用者人数(人)	26	29	28	28	107%
平均給料(円)	10,581	10,305	11,740	11,224	106%



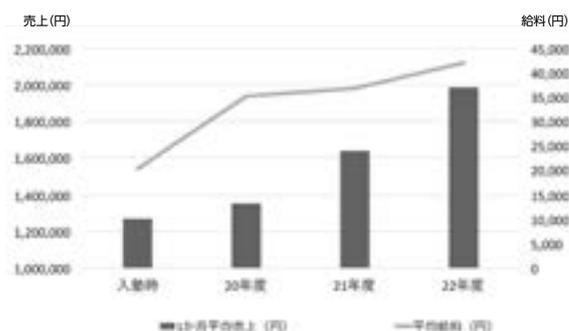
## ■ どんぐり村福祉工場

	入塾時の状況 (2019年10月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)	塾修了時 2022年度 (4月～3月)	入塾からの比較 修了÷入塾時 (%)
1か月平均 売上 (円)	2,103,585	2,383,980	2,525,680	2,561,996	122%
1日あたりの 個数 (個)	277	314	323	346	125%
利用者人数 (人)	9	9	9	9	100%
平均給料 (円)	35,929	39,496	40,745	42,257	118%



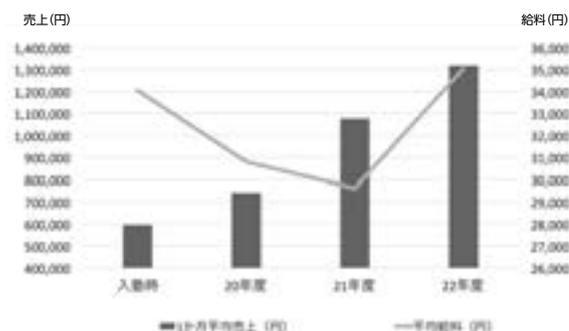
## ■ わーくる矢吹

	入塾時の状況 (2019年10月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)	塾修了時 2022年度 (4月～3月)	入塾からの比較 修了÷入塾時 (%)
1か月平均 売上 (円)	1,270,340	1,355,257	1,637,639	1,987,186	156%
1日あたりの 個数 (個)	157	164	178	211	134%
利用者人数 (人)	37	43	43	52	141%
平均給料 (円)	20,167	35,153	36,798	42,030	208%



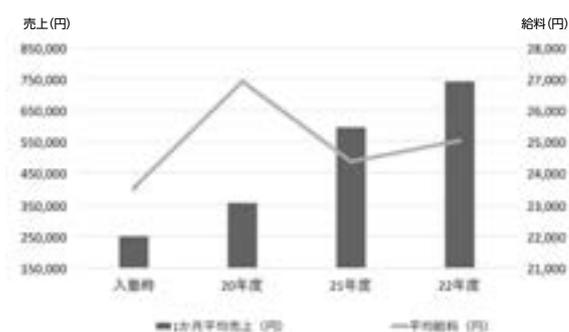
## ■ くまもと障害者労働センター・おれんじ村

	入塾時の状況 (2019年10月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)	塾修了時 2022年度 (4月～3月)	入塾からの比較 修了÷入塾時 (%)
1か月平均 売上 (円)	596,550	741,280	1,076,407	1,318,500	221%
1日あたりの 個数 (個)	84	88	133	153	182%
利用者人数 (人)	29	29	29	29	97%
平均給料 (円)	34,052	30,803	29,609	35,043	103%



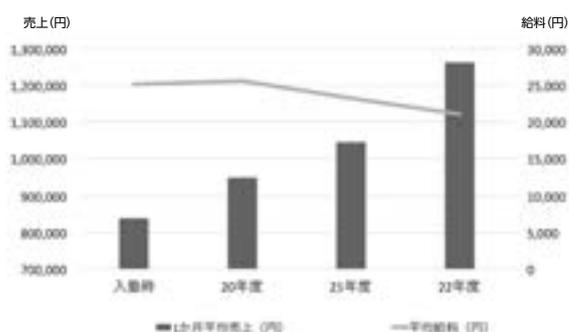
## ■ はたらく工房・むぎのね

	入塾時の状況 (2019年10月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)	塾修了時 2022年度 (4月～3月)	入塾からの比較 修了÷入塾時 (%)
1か月平均 売上 (円)	250,380	357,272	594,927	741,640	296%
1日あたりの 個数 (個)	0	29	50	73	—
利用者人数 (人)	23	23	29	10	43%
平均給料 (円)	23,510	26,917	24,355	25,024	106%



## ■ 就労支援センターみらいず

	入塾時の状況 (2019年10月)	2020年度 (4月～3月)	2021年度 (4月～3月)	塾修了時 2022年度 (4月～3月)	入塾からの比較 修了÷入塾時 (%)
1か月平均 売上 (円)	839,090	946,603	1,044,056	1,262,499	150%
1日あたりの 個数 (個)	0	37	49	52	—
利用者人数 (人)	16	18	24	25	155%
平均給料 (円)	25,136	25,590	23,206	21,027	84%



# 2022年度 「農福連携実践塾」実施報告

## Ⅰ 農福連携実践塾とは

農福連携の事業のあり方は、地域によってもさまざまです。「どのように農業をやれば良いかわからない、野菜を栽培しても売れない、加工品開発もやってみたいがノウハウがない」など、いざ始めたいと考えても戸惑う福祉施設が多いのも実情です。

そこで福祉・農業・ブランディングのエキスパートを先生に迎え、農業を事業として給料を支払い、きちんとやっていくには、具体的にどうしたら良いか実践的に学ぶ「農福連携実践塾」を開講。

日本全国から12の塾生が参加し、農業を福祉施設の事業の柱として利用者さんの仕事の拡大と給料増額を目指しています。当初は、2020年5月にスタートし2年間研修を行う予定でしたが、コロナ禍での影響を配慮し、2023年3月まで研修期間を延長することにしました。

## Ⅱ 研修内容

研修会、見学会、勉強会、塾生施設の視察などを開催し、一人ひとりの抱える問題を具体的に解決できる取り組みを目指します。また、塾生間での情報交換や事業の連携も行える機会を提供し、全員が給料増額の目標達成につながる効果も図っていきます。

- 農業で就労、雇用して給料向上を目標とし、半年ごとに1泊2日の宿泊研修を6回程度開講予定。
- 栽培や販売など農業に関する取り組み方や改善について、事業プランを作成。
- 農産品の加工商品の開発と販売ノウハウ、ブランディングについて検討します。
- 先行施設の紹介や現場見学会、グループディスカッションを行いながら、PDCAサイクルをかけて成果を出します。

## Ⅲ 2022年度スケジュール

- 見学勉強会 in 愛知・中間報告会 (2022年5月20・21日)
  - ・ (社福)みなと福祉会 わーくす昭和橋 (愛知県)
- 見学勉強会 in 鹿児島 (2022年7月12・13日)
  - ・ (株)リーフエッジ あまみん (鹿児島県)
- JFPフォーラム参加・全体研修会 (2022年9月16・17日)
  - ・ 八芳園 (東京都)、SPG新橋貸し会議室 (東京都)
- ぶどう剪定研修会 (2022年12月2・3日)
  - ・ 山田農場信州ぶどう工房 (長野県)
- 農福ふくしまフォーラム参加 (2023年2月16・17日)
  - ・ (NPO)ウッドピアはなわ (福島県) ・ 福島県農業総合センター (福島県)



●塾長：  
(一社)空  
代表理事 熊田 芳江氏

精神保健福祉士、社会福祉士。2004年「こころん」設立。安心・安全な農作物を生産しながら養鶏場を経営。また、地元企業と6次産業化を目指す新商品の開発、地元の野菜や加工品を直売するカフェ「こころや」の運営など、農家・地域企業・福祉が連携できる新事業を創出。2021年(一社)空を設立、代表理事。第14回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞(2013年度)。2015年10月より夢へのかけ橋実践塾熊田塾塾長、2020年9月より農福連携実践塾塾長。



●講師：  
(NPO)ピアファーム  
理事長 林 博文氏

2008年、農業で工賃給与向上を目指すことを事業目標にピアファームを設立。2011年にNPO法人として全国数少ない認定農業者になる。第16回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞(2015年度)。



●アドバイザー：  
(株)エススリーブランディング  
代表取締役 川田 勝也氏

2019年に地域の発信や企業などのCI、ブランディングを行うエススリーブランディングを設立。現在、全国の福祉施設などとともに、食品を通して環境・健康・文化などの地域の課題解決に貢献するJAPAN FOOD PROJECTも展開中。

## 農福連携塾：12施設 (2023年3月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容(要旨)】	【今後の方向性】
(社福) ゆずりは会	菜の花	就労継続B型	野菜・米・土器洗浄・施設外就労	平均工賃40,000円突破へ
(社福) 八身福祉会	葉菜屋(はなや)	就労継続B型	水耕栽培による葉物野菜・ハーブの栽培・内職	農業を中心にした事業展開と工賃向上
(社福) 有田つくし福祉会	早月農園	就労継続B型	果樹・野菜等栽培、加工品製造、訪問販売	安定した農業収入、加工品のギフトセット
(株) リーフエッチ	多機能型事業所あまみん	就労継続B型	近隣農家手伝い・食品加工・ホテル清掃など	加工品の生産性向上・島内外への販路拡大
(社福) 郡山コスモス会	多機能型事業所キッチンコスモス	多機能型	弁当事業・施設外就労・農作業ほか	農業を軸とした事業計画・営農計画
(社福) くりのみ園	NATURAL GARDEN くりのみ	多機能型	養鶏・有機栽培の稲作・畑加工販売	新たに有機JAS獲得、収益高い販路開拓
(社福) こころん	こころんファーム(ここたま養鶏場)	多機能型	野菜・卵生産、直売所・カフェ、菓子製造ほか	卵の生産量と販路の拡大
(NPO) 縁活	おもや	就労継続B型	農園・飲食店・食品加工	支援と生産性のバランス
(社福) みなと福祉会	わーくす昭和橋	多機能型	肉まん製造販売・自然栽培農業	国産小麦の自然栽培、農業と加工
(社福) 北九州市手をつなぐ育成会	北九州市手をつなぐ育成会	多機能型	野菜、流通会社・食品加工会社へ施設外就労	工賃向上、生産性向上の具体策
(社福) フォーレスト八尾会	おわらの里	就労継続B型	食品加工・農園・菓子製造ほか	桑畑再生事業、桑茶の活用
(社福) ゆずりは会	エール	就労継続B型	野菜・米、干し芋加工など	梨の栽培技術向上、収穫量の増加、販路拡大

# 農福連携実践塾 活動報告

## 塾長の 名言

### 「利用者さんのため、地域のため、私たちになにができる？」

「利用者さんのために、地域のために、農業を通してなにができるのかを真剣に考えてみましょう。そこから新たな目標も計画も見えてくるはずですよ。それを上司も含めて事業所全体できちんと共有できれば、協力し合い課題も解決でき、頑張りが数字としても現れてきますよ」

## » 見学勉強会 in 愛知・中間報告会

- 日時：2022年5月20・21日
- 場所：(社福) みなと福祉会・わーくす昭和橋 (愛知県名古屋市)

利用者さんが作る美味しい肉まんがテレビなどでも話題になっている愛知県名古屋市の(社福)みなと福祉会のわーくす昭和橋で、5月20・21日に見学勉強会・中間報告会を開催しました。

「そもそもは、地元の伝統食材・野崎白菜を使って肉まんを作れないか?と地域おこしを推進する研究会から声をかけられたのが始まりです」と塾生。試作を繰り返すがなかなか納得できる味にできず悩んでいた時、中華の鉄人・陳健一さんの兄弟子で四川料理の名店を営むシェフが救世主として登場。「厨房まで足を運んでいただき、皮の包み方から肉あんの作り方まで指導いただき、研究会のみなさんをうならせる肉まんを完成できました」。

この品質が認められ、利用者さんあこがれの松坂屋のデパ地下にも期間限定で出店し好評価を得ます。「そんな時、川田さんに偶然出会い究極の肉まんづくりを提案されました。八丁味噌、名古屋コーチンなど愛知県産の食材にこだわり出来上がった肉まん、カレーまんは、2019年の楽天の肉まんランキングで1位に、フード・アクション・ニッポン・アワードにも2年連続で入選しました」。

現在、法人内で生産するにんにくを使った餃子も開発中。「今後も地元のつながりを活かし、名古屋めしの一つとなる商品へと高めたい」と塾生は中間報告で今後の目標を発表しました。

他の塾生も自施設の取り組み状況を順次報告。「農業を柱にしているが、さらに売上・給料を上げるには六次化で商品づくりも進めたいので参考にしたい」と話します。熊田塾長も「ここは六次化の良い事例だと思います。ただし、利用者さんの給料増額を図るには、ただ販売数を伸ばすだけではなく、ネット販売の手数料など経費削減が課題となるでしょう。地元のつながりを活かして実店舗を構えるのも良いかもしれません」とアドバイスしました。



### ■ 見学勉強会 in 愛知・中間報告会の内容

日程	プログラム
5月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ わーくす昭和橋見学</li> <li>■ 研修会①・塾生の中間報告</li> </ul>
5月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 研修会②・塾生の中間報告</li> <li>■ 塾長ほか講話</li> </ul>

## » 見学勉強会 in 鹿児島

- 日時：2022年7月12・13日
- 場所：(株)リーフエッジ・あまみん (鹿児島県大島郡)

7月12・13日、奄美大島でジェラートを製造販売する(株)リーフエッジのあまみんへ。「ジェラートづくりは、地元農家のもとで施設外就労した対価を果物などで支給いただいたことが始まりです。果物を商品に加工することで農業以外の仕事も創出し、売上アップも同時に図ろうと考えました」と塾生。さらに自前のハーブ園で栽培したバタフライピーでハーブティーも作り、地元のホテルなどで販売を開始します。しかし2020年、コロナ感染者拡大で観光客が激減。それでもピンチをチャンスにと、高島屋のお中元ギフトのオンラインショップに出品し、通販という新たな道を拓きました。

「2021年には奄美群島が世界自然遺産に登録されたことを機に、各島の農家から食材を取り寄せ商品を充実。話題になりアクセス数は増えましたが、信用を得るためにも実店舗が必要なため、ヤマト福祉財団の助成に申し込みジェラテリアを建設しました。2階には休憩室を兼ねた宿泊施設も設備。現在、海の見える景観の良い場所にA型の農泊ホテルを計画中です」と塾生。

熊田塾長たちは「果実栽培には改善点があるものの、農業にジェラート、他にもパッケージデザインなどを行うPCチームといろいろな仕事があるのは良いことです。そこに観光も加われば、利用者さんはより得意な仕事を選んで意欲も技能も高まり、一般就労にもつながりやすくなります」と評価しました。「課題は多いが耕作放棄地を私たちの手で新たな産業に再生していきます」と塾生は意欲的です。

### ■ 見学勉強会 in 鹿児島の内容

日程	プログラム
7月12日	■ あまみん見学 (ジェラート製造・ジェラテリア・新事業予定地の見学)
7月13日	■ ハーブ収穫作業 ■ 勉強会



## » JFPフォーラム参加・全体研修会

- 日時：2022年9月16・17日
- 場所：八芳園 (東京都港区)

JFP (ジャパンフーズプロジェクト) は、農福連携にチャレンジする福祉施設とともに地元の食材などを使った商品を開発し、地域の活性化・課題解決を応援するプロジェクトです。農福実践塾の川田アドバイザーは、JFPの旗頭でもあります。

9月16日、ヤマト福祉財団との共同開催で行われた全国フォーラム



に塾生たちも参加しました。昨年度発行した「農福連携実践塾六次化レポート」の冊子の紹介と合わせ、加工班が掲載された取り組み内容を発表。富山県で地元企業と桑の葉を使った六次化商品を開発し、畑の見学、体験ツアーなどを企画する塾生。群馬県で地元の酒蔵などと連携して甘酒の開発・販売に取り組む塾生などの発表に、会場から惜しみない拍手が贈られました。

フォーラム終了後と翌日を使い塾生たちが現在の状況を報告。「収穫した作物を予定通り出荷できず悩んでいる」「コロナ禍で計画通りにイベントなどが進行できない」「ふるさと納税返礼品の一つになり、近くにできた大型ショッピングモールで販路も広がってきた」など、新たな課題やチャンスを迎えた報告などが出ました。熊田塾長は「利用者さんにいくら給料を払いたいか、それを指針にしていくこと」。川田アドバイザーも「利用者さんを置き去りして進んでいけないこと。なにをやってみたいかのアンケートを取るのも良いのでは」とアドバイス。最後に講師の林さんから「県の担当者などに相談し具体策を立ててほしい。とにかく動き出すことだ」と残り半年のラストスパートを呼びかけました。



## ■ JFPフォーラム・全体研修会の内容

日程	プログラム
9月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ JFP 六次化全国フォーラム (六次化冊子・出店施設の発表)</li> <li>■ 研修会①</li> </ul>
9月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 研修会②</li> <li>■ 熊田塾長ほか講話</li> </ul>

## » ぶどう剪定研修会

● 日時：2022年12月2・3日

● 場所：山田農場信州ぶどう工房（長野県駒ヶ根市）

「福祉施設が農業を事業として成功するには、農作物の品目ごとに成果を上げている先駆者から、実践的な技術とノウハウを学ぶ方が効果的」と考えた熊田塾長たち。12月2・3日、有機農業研究家で有名な山田 優さんの長野県駒ヶ根市にある山田農場ぶどう工房でぶどう剪定研修会を実施しました。

「ぶどうは、12月に剪定するとその後は4月の芽かき、6月の摘粒と進んでいくので、ここが勝負となります。では実際に剪定してみましよう」。塾生たちは緊張の面持ちで山田さんが実演してくれた剪定方法に則り、作業を実体験していきました。

翌日は、林塾長が福井県の作成したぶどう栽培マニュアルをもとにブドウ栽培の基本的な知識を1からレクチャー。その後、果実栽培と六次化について交流講座を行いました。

この研修には塾生以外の福祉施設も多数参加し、さまざまな質問が飛び交うことに。たとえば「生食と加工品とのバランスを



どう取るのか」との質問に「加工設備もないのに自分たちでやる必要はない。委託製造販売も視野に入れた方がよい」といった回答も。参加者は「自然栽培のぶどうづくりは大変だと思っていたがぜひ挑戦したい」「ぶどうなら利用者さんの給料増額に直結できると感じた」など手応えを得ることもできました。

### ■ ぶどう剪定研修会の内容

日程	プログラム
12月2日	■ 実施指導 (山田優さんぶどう栽培講義)
12月3日	■ 実施指導 (ぶどう剪定ほか) ■ ぶどう栽培の基本 (林講師)



## » 農福ふくしまフォーラム参加

● 日時：2023年2月16・17日

● 場所：(NPO) ウッドピアはなわ (福島県白川郡)  
／福島県農業総合センター(福島県郡山市)

2月16日、塾生たちは、前回のぶどう剪定研修に参加し、交流を得た福島県白川郡の(NPO)ウッドピアはなわのぶどうハウスを見学。翌日、郡山市で開催された「農福連携事業・ふくしまフォーラム」に参加しました。

基調講演で千葉大学の吉田行郷教授が、先進事例を紹介しながら、障がいのある方と農業のマッチングを解説。農業後継者不足解決にも農福連携の必要性を説いていきました。

続いて福島の事業所の実践報告とパネルディスカッションへ。熊田塾長は「福島県の利用者さんの平均月額給料はまだ低い。助成金なども利用し農福連携や六次化を進め、利用者さんの幸せのために頑張らなければ」と説明。川田アドバイザーは「ブランド化は施設のリーダー一人が頑張っても、施設職員が力を合わせても成功しない。地域、外部の専門家を有効に活用し、福島を盛り上げてください」と伝えました。

### ■ 農福ふくしまフォーラム参加の内容

日程	プログラム
2月16日	■ ウッドピアはなわ見学 (ぶどうハウス)
2月17日	■ ふくしまフォーラム参加



## ■ 農福連携実践塾 2年間の実績 (2021年度～2022年度)

単位：円

	A 入塾前 2020年度	B 1年目 2021年度	差額 (B - A)	C 2年目 2022年度	差額 (C - B)	
<b>社会福祉法人 ゆずりは会 菜の花</b>	事業収入合計	22,194,832	24,825,659	2,630,827	34,281,010	9,455,351
	利用者給料 総支給額	13,095,254	14,031,062	935,808	20,691,384	6,660,322
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	24.1	21.8	-2.3	22.6	0.8
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	45,281	53,636	8,355	76,296	22,660
<b>社会福祉法人 八身福祉会 葉菜屋</b>	事業収入合計	5,826,143	6,753,677	927,534	7,452,986	699,309
	利用者給料 総支給額	3,072,888	3,337,956	265,068	3,383,303	45,347
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	12.9	15.0	2.1	15.5	0.5
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	19,851	18,544	-1,306	18,190	-354
<b>社会福祉法人 有田つくし福祉会 早月農園</b>	事業収入合計	16,612,767	16,786,905	174,138	17,950,760	1,163,855
	利用者給料 総支給額	6,900,314	7,080,677	180,363	7,283,111	202,434
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	21.0	20.0	-1.0	20.0	0.0
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	27,382	29,502	2,120	30,346	844
<b>株式会社 リーフエッジ あまみん</b>	事業収入合計	7,866,932	16,249,340	8,382,408	23,977,100	7,727,760
	利用者給料 総支給額	7,236,184	9,410,771	2,174,587	11,434,595	2,023,824
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	28.0	29.0	1.0	30.0	1.0
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	21,536	27,042	5,506	31,763	4,720
<b>社会福祉法人郡山 コスモス会 キッチンコスモス</b>	事業収入合計	10,431,395	12,820,778	2,389,383	14,010,329	1,189,551
	利用者給料 総支給額	3,092,014	5,736,918	2,644,904	6,488,188	751,270
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	28.0	26.0	-2.0	24.0	-2.0
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	8,962	18,041	9,079	22,566	4,525
<b>社会福祉法人 くりのみ園 NATURALGARDEN くりのみ</b>	事業収入合計	14,526,000	17,065,482	2,539,482	17,881,461	815,979
	利用者給料 総支給額	9,655,840	10,060,200	404,360	10,193,040	132,840
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	19.0	19.0	0.0	18.0	-1.0
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	41,620	44,712	3,092	47,190	2,478

※1 利用者人数は年間の延べ人数(毎月の給料支給人数の12ヶ月合計の人数)÷12

※2 (利用者給料総支給額)÷(月次平均利用者数)÷12

社会福祉法人 こころん こころんファーム		A 入塾前 2020年度	B 1年目 2021年度	差額 (B - A)	C 2年目 2022年度	差額 (C - B)
	事業収入合計	21,468,418	20,287,334	-1,181,084	21,538,891	1,251,557
	利用者給料 総支給額	5,764,679	6,965,209	1,200,530	6,115,634	-849,575
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	13.3	17.6	4.4	15.2	-2.4
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	36,953	32,246	-4,707	33,976	1,730
NPO法人縁活 おもや		A 入塾前 2020年度	B 1年目 2021年度	差額 (B - A)	C 2年目 2022年度	差額 (C - B)
	事業収入合計	15,900,185	15,013,964	-886,221	17,034,987	2,021,023
	利用者給料 総支給額	8,594,639	7,447,027	-1,147,612	9,020,124	1,573,097
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	25.0	26.0	1.0	28.0	2.0
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	28,648	23,868	-4,780	26,845	2,977
社会福祉法人 みなと福祉会 わーくす昭和橋		A 入塾前 2020年度	B 1年目 2021年度	差額 (B - A)	C 2年目 2022年度	差額 (C - B)
	事業収入合計	22,250,049	26,513,849	4,263,800	20,500,257	-6,013,592
	利用者給料 総支給額	3,448,827	3,962,800	513,973	3,259,788	-703,012
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	9.0	8.9	-0.1	7.7	-1.3
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	31,934	37,022	5,088	35,417	-1,605
(社福)北九州 手をつなぐ育成会 北九州市 手をつなぐ育成会		A 入塾前 2020年度	B 1年目 2021年度	差額 (B - A)	C 2年目 2022年度	差額 (C - B)
	事業収入合計	4,924,707	7,315,622	2,390,915	8,158,587	842,965
	利用者給料 総支給額	4,924,707	7,315,622	2,390,915	8,158,587	842,965
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	37.6	32.4	-5.2	32.9	0.5
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	10,914	18,815	7,901	20,665	1,850
社会福祉法人 フォーレスト八尾会 おわらの里		A 入塾前 2020年度	B 1年目 2021年度	差額 (B - A)	C 2年目 2022年度	差額 (C - B)
	事業収入合計	11,790,887	12,163,907	373,020	14,283,269	2,119,362
	利用者給料 総支給額	5,768,915	5,375,075	-393,840	5,206,010	-169,065
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	31.5	27.8	-3.7	25.3	-2.5
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	15,261	16,112	851	17,147	1,035
社会福祉法人 ゆずりは会 エール		A 入塾前 2020年度	B 1年目 2021年度	差額 (B - A)	C 2年目 2022年度	差額 (C - B)
	事業収入合計	32,168,162	40,053,893	7,885,731	48,082,654	8,028,761
	利用者給料 総支給額	15,874,912	18,077,364	2,202,452	21,404,013	3,326,649
	利用者人数 (月次平均) <sup>※1</sup>	40.8	39.5	-1.3	39.2	-1.0
	一人当り平均 給料(月額) <sup>※2</sup>	32,464	38,138	5,674	45,537	7,399

※1 利用者人数は年間の延べ人数(毎月の給料支給人数の12ヶ月合計の人数)÷12

※2 (利用者給料総支給額)÷(月次平均利用者数)÷12

# 通販研究会の活動について

福祉施設では、コロナ禍でイベント中止、店頭販売の困難さや販路の拡大もままならない中、新たな販売チャンネルを模索しています。その一つが通販であると考え、同じ志をもった事業所が集まり、議論を重ね課題を見つけるための研究会を発足。ヤマト運輸の商品である「らくうるカート」を使って、通信販売をする試みを行いました。

らくうるカートは、商品パンフレット(チラシ等)にQRコードを掲載し、サイト上のShopを検索できる仕組みです。2022年度は、らくうるカートを各自でサイトに設定し、研究会メンバーの商品を掲載した三つ折りのパンフレットを企画・製作を行いました。それぞれ、関係者や顧客に送り通信販売を展開しています。

## ■ オンラインミーティング

- ・ 第 7 回通販研究会 2022年4月18日
- ・ 第 8 回通販研究会 2022年5月23日
- ・ 第 9 回通販研究会 2022年7月 1日
- ・ 第10回通販研究会 2022年8月22日



# 「自然栽培パーティ」活動報告

2015年に5カ所の障がい者施設を対象に、無農薬・無肥料の自然栽培検証プロジェクトとして「水稻栽培チャレンジ」を実施。安心・安全な農作物を育て、付加価値の高い農産物として売上を伸ばし、利用者さんの給料増額を目指して、一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会（自然栽培パーティ）が立ち上がりました。

活動の主人公は、農業に励む障がい者のみなさん。彼らを「農福師」と呼び、毎年「自然栽培アワード」として讃えています。5カ所からスタートした自然栽培のネットワークが、2022年には福祉施設や農家など125の団体・個人に広がってきました。

ヤマト福祉財団は、自然栽培パーティの活動をさまざまな角度から支援しています。

## » 自然栽培パーティ感謝祭2022 全国フォーラム in 沖縄

- 日時：2022年11月23日
- 場所：ユインチホテル（沖縄県南城市）

2022年11月23日、「自然栽培パーティ2022」が沖縄県南城市で開催されました。感謝祭は、収穫を祝う新嘗祭に開催される一年に一度の農福師の祭典です。コロナ禍で2年ほどオンライン開催が続いていましたが、仲間の輪を広げようと、沖縄での感謝祭を計画。対面での開催がようやく叶い、会場には200名の参加者が集まりました。

初めての沖縄開催。これまでの事例発表はもとより、「沖縄での自然栽培農福連携は可能か？」というテーマでパネルディスカッションも繰り広げられました。

午後には、4年前から撮影を続けていたドキュメンタリー映画「種まいて水やって自然栽培パーティ」の特別上映、最後に農福師の貢献や頑張りを讃える授賞式を行い、15名の方を表彰しました。

マルシェ会場では、自然栽培パーティ以外の協力を募り、地元有名店のオーガニック商品やローカルグルメが勢ぞろい。約1,500名の参加者で大盛況となり、自然栽培沖縄メンバーとの連携も深まりました。



# 2022年度 ゆいジョブ! 実行委員会活動報告

「ゆいジョブ!」は、2018年～2021年に実施したパワーアップフォーラム沖縄の実行委員が立ち上げた「働きたいと願う障がいのある方と、雇用したいと考える企業」を結ぶポータルサイトです。ゆいジョブ!の名前は、沖縄の方言「ゆいまーる(助け合い)」から来ています。その名にふさわしくゆいジョブ!実行委員会はサイト以外にも、障がいのある方と企業の双方がリアルで出会うイベント、地域の方に利用者さんが作った商品を楽しく知っていただく企画などを実施。沖縄の障がいのある方の「将来設計」を、企業も地域の方も一体となって応援するさまざまな活動を展開しています。

## » ゆいジョブ! マルシェ

- 日 時：2022年6月4・5日
- 場 所：イーアス沖縄豊崎(沖縄県豊見城市)

「私たちの作る商品と私たちのことをもっと多くの方たちに知っていただきたい」。そんな思いを込めて6月4日・5日、イーアス沖縄豊崎の1階イーアスコートで「ゆいジョブ!マルシェ」を開催しました。「何度も企画しながら、その度にコロナ禍で中止となっていましたが、やっと実現できました」と比嘉実行委員長は感慨深げです。

沖縄本島だけでなく宮古、八重山など各島から全13の事業所が、利用者さんの製作した自慢の商品を出品。伝統技法の入浜式製塩法で作る塩、各地元食材を使った菓子、利用者さんの自由な感性が目を引くアート作品やシーサー、裂き織りをあしらった一品物のバッグ、伝統工芸の紅型染めで作った文具、沖縄素材にこだわったアセロラ化粧品などがずらりと並ぶ会場に、続々とお客様がやってきます。

「梅雨時期は集客力が高いと聞いていましたが、想像以上の来場者です。人気が高かったのはパンや焼き菓子で、午後の早い時間ですでに完売。スタンプラリーを企画した効果もあり、お客様には各店をくまなく見ていただけました。2日間の売上は延べ854,794円に。この売上状況は、随時ラインで各事業所に報告し、その都度、利用者さんと職員は一喜一憂していたようです」と実行委員たちは手応えを感じていました。

午後には、「さわやか」と「びいやま商店」の三線の合同ライブも開催。スポットライトやステージと連動したデジタルサインエージの演出効果もあり、ステージ前のフロアに集まった子どもも大人も一緒に歌い踊り存分に楽しんでいただきました。

マルシェには、就労を希望する方や作業委託を考えている企業、特別支援学校の先生も来場。急遽、就労相談スペースを設置し、障がいのある方の雇用機会を拡げる情報交換の場としても活かすことができました。



## » おしごと発見フェア2022

- 日 時：2022年7月28日
- 場 所：沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）

「サイトにアップした情報だけでは、一般企業で働く勇氣はなかなかわかないかもしれない。やはり実際に企業の担当者やと会って仕事について教えてもらったり、自分にどんな仕事ができるのかを体験する機会がほしいはず」。そこで実行委員が企画したのが、7月28日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター会議棟で開催した「おしごと発見フェア2022」です。

「企業説明会」には県内の企業18社が出展し、仕事内容や労働環境などを丁寧に説明。「おしごとチャレンジ体験会」では、地元企業や福祉施設などが接客（飲食）、ベッドメイキング、縫製、介護、製造業、IT、フラワーアレンジメントなどの体験機会を設けることに。さらに「就業準備なんでも相談会」で、個別相談やキャリアカウンセリングなども行い、就労への不安解消をお手伝いしました。

当日は、350人近くの方たちが参加。利用者さんに同行した福祉施設の職員は「こんな企業が私たちが歓迎してくれている。私にはこんなこともできるんだ、と利用者さんはたくさんの気づきを得たようです。事業所に戻ってみんなに教えてあげたいと喜んでます」と感想を伝えてくれました。また、地元の特別支援学校で学ぶ生徒たちも「いままでは就職する、仕事をするとはどういうことか、正直なところあまりわかっていませんでした。でもこの体験を通してイメージできて、働いてみたいと思えるようになってきました。時間があったら全部体験してみたかったです」と楽しそうに話しています。

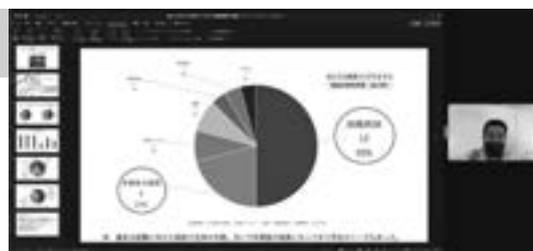
山内理事長は、参加者たちの姿を見つめながら「仕事の体験できたことが本当に良かったようですね。これからも沖縄の地元の方たちと協力し合い、障がい者雇用をみんなで盛り上げていける楽しい企画をどんどん実現してください」と今後の活動に期待を寄せていました。



## » おしごと発見フェア2022連絡会

- 日 時：2022年11月21日
- 場 所：沖縄県中小企業同友会会議室（沖縄県那覇市）  
※オンライン同時開催

11月21日、実行委員たちが「おしごと発見フェア2022」の成果と今後の展開について出展企業、関係者などと連絡会を開きました。企業説明会では「3社が4名の採用に至った」とのうれしい報告も。比嘉実行委員長は「これだけの内容をワンストップで行えたのはみなさんのご協力のおかげです。企業、利用者さんのご期待に応えるため、早速、2023年



8月開催に向けて会場も予約しました。一人でも多くの就労の足かかりとなるように、今後もみなさまのご協力をお願いします」と伝えました。

今後の展開として、オンラインで参加した特別支援学校の担当者から「企業名だけでなくどんな職種を募集しているかを事前にわかる告知を」との声が出ています。出展企業からは「車椅子の方が行き来しやすいように椅子の間隔を広くしてほしい。難聴者の方は周りの音が気になった様子なのでパーティションを設けることも必要では。また、ブース間の距離が近く隣を気にして声を大きくできなかった」などの要望もあがっています。

実行委員は「みなさんの声をできるだけ反映し、より良い会となるように検討していきます。なお今回のおしごとチャレンジ体験会はとても好評でした。もっといろいろな仕事を体験できるようにより多くの企業の参加を期待しています」と互いのリクエストを伝え合い、次回への準備をスタートしていききました。

## » ゆいジョブ！ 実行委員会研修 in 宮古島

- 日 時：2023年2月10・11日
- 場 所：(NPO) マーズ・くこりもや / (社福) みやこ福祉会・みやこ学園（沖縄県宮古島市）

「離島を含めた沖縄県全体のネットワーク強化し、活動の幅を拡げ、利用者さんと仕事のより良いマッチングにつなげていこう」と2月10・11日、ゆいジョブ！実行委員会研修を宮古島で開催しました。

初日、まずはマンゴーの生産や月桃を繊維に加工して商品作りなどを手がける(NPO) マーズのくこりもやへ。続いて六つの事業所で約100名の利用者が働く(社福) みやこ福祉会を訪ねました。ここではメロンの生産、水耕栽培、草花の育苗販売をはじめパン工房・レストランも運営しています。

翌日は、(社福)みやこ福祉会のみやこ学園に集い、見学してきた内容を振り返るとともに、施設職員からこれまでの取り組みなどを伺いました。「島内には働く場所が少ないため、自分たちで仕事を創り出そうと、周年栽培可能な野菜づくりをはじめました。さらに、施設で育てた野菜などを料理し提供するレストランも経営。農業だけでなく接客業などの仕事も選べるようにし、現在は県平均を上回る工賃を実現しています」と職員が説明。両施設で生産した商品をゆいジョブ！サイトで通販は可能かなど、これから物品販売を拡大する方法についても話し合いました。



### ■ 実行委員会研修 in 宮古島の内容

日程	プログラム
2月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ くこりもや 見学&amp;意見交換</li> <li>■ みやこ福祉会 見学&amp;意見交換</li> </ul>
2月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ みやこ学園 全体会議</li> </ul>

## ゆいストーリー

### ゆいジョブ! イメージソング・ プロモーションビデオ完成 2023年2月

#### ゆいストーリー

楽曲制作：ゆいジョブ!実行委員会  
作詞：ゆいジョブ!のゆかいな仲間たち  
作曲：赤峰徳朗  
編曲・演奏：さわやかバンド

2022年10月、ゆいジョブ!の活動をわかりやすく伝えるために、プロモーションビデオ制作企画が立ち上がりました。11月、最初に楽曲づくりがスタート。各事業所の利用者さんに「働くこと」についてイメージすることばを募集し、集まったことばをキーワードとして作詞しました。曲は三線をいれて、沖縄を感じるサウンドにすることも実行委員会で決定。12月には、曲作りと共にビデオ撮影の準備を開始。利用者さんの働く様子や、利用者さんが楽しむ様子を撮影するためにビーチパーティを開催する企画・準備が始まりました。

楽曲のタイトルは「ゆいストーリー」、2023年1月に楽曲が完成。

実行委員会ミーティングでは、歌い、踊りにメッセージ性を持たせるために手話を取り入れる提案があり、その振り付けを那覇未来特別支援学校の先生に協力を依頼しました。

2月にビーチパーティ撮影会を実施。当日は好天に恵まれ、各事業所から利用者さん、職員総勢70名が集まり、さわやかバンドによるバンド演奏に合わせて思い思いに歌い、手話ダンスをする素晴らしい撮影会となりました。

完成したプロモーションビデオは、YouTube配信、ゆいジョブ!公式サイトでも公開。次年度の広報媒体として活用していきます。



(公3) 表彰事業

# ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈

障がい者の仕事づくりや雇用創出、拡大、労働条件の改善、社会参加などを積極的に推し進め、多くの障がい者に働く喜びと生きがいをもたらしている方など、障がい者の自立支援に著しく貢献した個人を表彰するため、毎年2名の方を選んでいきます。

受賞者には正賞として、この賞のために製作された雨宮 淳氏（1937-2010年日本芸術員会員）作のブロンズ像『愛』のほか、副賞100万円が贈られます。



## 第23回ヤマト福祉財団小倉昌男賞贈呈式 ( 2022年12月7日 於：日本工業倶楽部 )



中山みち代さん  
社会福祉法人パレット・ミル 常務理事 (滋賀県栗東市)



山口由紀子さん  
社会福祉法人ハイジ福祉会 理事長 (福岡県八女市)



### 中山みち代さん 社会福祉法人パレット・ミル 常務理事

#### どんな障がいのある方にも高い給料を

中山みち代さんが、パレット・ミルを立ち上げたのは、1996年のことです。子育てが終わった後にボランティアとして関わった授産施設の工賃が数千円だったこと。中山さんは「これでは自立は難しく、年金を合わせても生活をしていけない」と、最低賃金保障を目指す事業所が必要だと考えていました。知り合いのワークアドバイザーから『パレットの仕事』があるからと声をかけていただいたことがきっかけで、動き始めます。物件探しで市役所に訪ね、使われていない木工所があると紹介されたのが、現在のパレット・ミルです。木製パレットの積み下ろしに必要なフォークリフトもなければ免許ももっていない状況でスタート。「銀行へ福祉基金の申請は通りましたが、まだお金が足りません。どうしようと頭を抱えていたら、寄付をしてくださる方が現れたのです。なんだか神様から事業所を作れといわれている気がしました」と中山さんは振り返ります。

最初の給料は1人100円。利用者と職員で分けるような形ではじまりました。チェーンソーで丸太を切ったり、丸太のバス亭づくりを請け負ったり、利用者さんの求人職安に行ったり、自分たちで動いて、給料はすぐに3～4万円になったといいます。でも目指すのは利用者さんの最低賃金。それを支える職員も生活していけるようにと、法人化を目指します。営業担当は中山さん。中小企業同友会や商工会で名刺を配り地元企業とのつながりをつくり、木工遊具の加工、砂鉄のお守りの製作、クッキーやラスクのOEM受注、発泡スチロールの減容など、多岐に仕事を広げ給料増額に務めます。施設外就労も次々と拡大。「施設外就労では、施設内で働くより高い給料を交渉します。それがモチベーションになり、自信になります」。



パレット・ミルには5つの事業所があり、2021年度でA型の月額平均給料は15万5,000円、B型は7万8,000円を越えています。中山さんは、利用者さんの頑張りに毎月でも給料を上げていく。あがっても下がることはないといいます。

「新しい利用者さんが来られたら、仕事も工賃もシェアしなくてはなりません。新しい人を受け入れるには常に仕事が必要で、新聞広告も町の看板もテレビでも、常に仕事の種がないかチェックしています」。利用者、職員、他法人の職員からも「おかあちゃん」と慕われるお人柄で、出会う人を魅了し新しい事業を広げていく中山さんです。



山口由紀子さん 社会福祉法人ハイジ福祉会 理事長

### 精神障がいの方に寄り添い、 農家の困りごとを担って、地域産業の活性化を

山口由紀さんが精神障がい者福祉の道に進んだのは、お兄様が精神障がい者を患い、家族会に参加するようになったことがきっかけです。13年間入退院を繰り返していたお兄様が家族会の紹介で八女作業所に通所するようになりました。

2001年、経理担当を当していた企業を退職し、ヘルパー研修を受けていた山口さんに、その作業所の所長になってほしいと依頼が来ます。作業所でやっていた仕事は1円50銭のタオル折。これでは工賃が支払えるはずがありません。

「このままではダメだ。どげんかせんといかん!」と動き出します。以前、施設外就労を断られた(株)武久に伺い、ケアをしながら所内で作業をするとお願いし、乾燥しいたけの包装に取り組むようになりました。仕事ぶりが認められさまざまな受託作業を受注し、事業が軌道に乗りはじめます。当初は社会福祉協議会の2階を借りていましたが、八女を撤退する銀行跡を入手し2007年に社会福祉法人ハイジ福祉会を設立。「地域の中で受託ばかりでなく自分で生み出す仕事もできるという手応えを感じたかった」と山口さんは言います。

2014年、農家が収穫するガーベラや百合の出荷作業を行うA型事業所のフラワーパッケージセンター(FPC)を立ち上げます。元JAの職員だった山口さんの次男・山口隆充施設長が、地元JAに提案し実現しました。農家の仕事は収穫だけでなく、その後の選花や出荷が夜中までかかる大変な仕事。その作業を精神障がいのある利用者が担うことで、農家は時間に余裕ができ生産を拡大することができます。当初、約126万本の年間出荷量が、2022年には3倍の約298万本の実績となりました。

FPCが安定してうまく行き始めたとき、山口さんは考えます。これも農家さんの下請け仕事で、いつ品目を変更されるか分からない。そこでハイジ福祉会として農協の組合員に加盟し、農地を取得してガーベラ、トマトの生産に乗り出しました。3年目、4年目にはトマト部会で1位に輝く収量と収入の実績もあげ、2021年の月額平均給料はA型で約8万3,000円、B型で3万円を超えています。

精神障がいの方へ一人ひとりに寄り添う支援で、地域になくはならない存在となっているハイジ福祉会。山口さんをはじめとする関係者の長年の活動で、2016年には西日本鉄道(株)の精神障がい者の交通運賃割引も実現しました。



## (公4) 広報・啓発等事業

## 全Aネット（就労継続支援A型事業所全国協議会）の報告

全Aネットは「良きA型事業所拡大支援事業」として、2020年4月から3年間で100事業所を目標に優良A型事業所の認定取得をチャレンジする事業所を増やす活動をしています。2022年度で44事業所となりました。

また、地方でのA型事業所の拡大を目指し、就労支援セミナーを大阪で行いました。

ヤマト福祉財団は全Aネットの活動を継続的に支援しています

### 》 全Aネット 就労支援セミナー

#### ● 就労支援セミナー in 大阪／2022年10月15日

求められるA型は？

社会に貢献できるA型は？

働きがいのあるA型は？

全Aネットの就労支援セミナー in大阪が、現地参加とオンラインのハイブリッドで約260名の参加者を集めて開催しました。「A型事業所は6割が赤字という状況のなか、一つでもよきA型事業所が増えるように加速していきたい」と全Aネットの久保寺理事長の挨拶でスタート。最初に、財団の山内理事長が「ヤマトグループの障がい者自立支援について」というテーマで、ヤマトグループの障がい者雇用、クロネコDM便配達事業、ヤマト自立センターの取り組みについて記念講演を行いました。

セミナーの初めての試みでA型の経営者である関西地区の支部長、副支部長6名が「『そこまで言って委員会』 by 関西支部長's」と題して、よきA型を探るシンポジウムを実施。「就労支援売上に重点を置くのはどう思う？ 赤字は悪しきA型か」など、それぞれのテーマに、現場に入る経営者ならではの苦労や日頃感じる疑問をぶつけ合い、時に厳しく、笑いも交えて議論を展開しました。シンポジウムの最後に「一般企業では難しい方を雇用して頑張っているA型事業所は、「よきA型」と評価してほしい」と議長のことばで締めくくりました。

優良認定について、2022年度の優良認定A型事業所の5事業所が追加認定を発表され、認定事業所は全部で44事業所となりました。

その後「A型に求められる者は？」と題して、A型優良認定事業の審査員による鼎談が行われ、認定事業の審査に関わった感想、福祉的支援と収益をあげる経営の両立の難しさなど、それぞれの立場からA型のあり方について意見を出されました。



# (NPO) 医療的ケア児者と 家族を社会につなぐネットワークの報告

「医療的ケアが必要な人々が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会をつくること」を基本理念として、2021年8月に(NPO)医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワーク(ブリッジネットワーク)が設立されました。重度障がい者のご家族は、24時間続く自宅でのケアのため、「働きたい」、「自分の時間を持ちたい」という思いを断念し、社会からの孤立を深めています。

ヤマト福祉財団は、ご家族の支援、山積する課題を解決するために小倉昌男賞受賞者である、楠元洋子氏を中心に立ち上げたこの活動を支援しています。

## » 医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワーク

- 日時：2023年2月25日
- 場所：宮崎県日向市

### 夢☆応援Live

#### 初のフォーラムを開催

(NPO)医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワーク(略称:ブリッジネットワーク)が、2月25日、宮崎県日向市から初の公開イベントとして、「夢☆応援Live」をYouTubeで配信しま

した。理事長の楠元洋子さんは重い障がいのある子どもたちに必要な配食、リネンサービスなどを事業として立ち上げてきました。現在手がけている事業は子どもたちが教えてくれたプレゼントだとおっしゃいます。

公開イベントにはブリッジネットワークの理事をはじめ、日向市で活動する(NPO)teとteの会のみなさんが参加。ブリッジネットワークの活動は、子どもたちのケアのため自分の時間が持てないお母さんたちへの就労支援を最大のミッションとして、資格取得の支援、モデル事業所の立ち上げなど活動を始めています。医療的ケア児者のお母さんが集まり、子どもたちの居場所づくりを目的に互いの子どもたちの介護などをしながら活動を続けてきた(NPO)teとteの会をお母さんたちの働きたいと夢を叶えるため、生活介護のモデル事業所として、支援していきます。

今年度から資格取得の支援の募集や、障がいのあるお子さんのお母さん方がつくったサークルや団体で、自ら生活介護事業所をつくりたいと思われる方に、事業所を立ち上げるノウハウを学ぶ「楠元塾」の塾生募集も始まりました。



# ヤマトグループ ボランティアプロジェクト 活動報告

ヤマト福祉財団では、ヤマト運輸労働組合と連携し、ヤマトグループ社員がそれぞれの地域の障がい者施設とつながり、交流を深めていくボランティアプロジェクトを進めています。障がい者施設が「どこにあるのか、どんなことをしているのか」を知り、より身近にある福祉施設の理解を進めていただくことを目的としています。

2年目となる今年度は、農業編として愛媛県と石川県の2ヵ所でボランティアを年2回実施。地域福祉活動編では、昨年に引き続き、横浜で「ヤマト繋がるプロジェクト」をヤマト運輸労働組合青年部のみなさんに参加していただきました。

## » 農業編／エコステーションはるかす

- 日時：2022年 6月11日 さつまいもの植え付け  
2022年10月29日 さつまいもの収穫
- 場所：(NPO) 続ける力  
エコステーションはるかす(愛媛県今治市)

梅雨空の6月11日、愛媛県今治市にあるエコステーションはるかすで、さつまいもの植え付けを行いました。1.5反の畑に紅はるか、安納芋の苗をそれぞれ1,500株ずつの植え付けです。普通なら3日はかかる作業ですが、愛媛支部のみなさんの参加で、なんと半日で作業を完了しました。

10月29日に実施したのは、6月に植え付けたさつまいもの収穫です。雲一つない秋晴れの中、組合員のみなさんご家族を含めて18名、はるかすの利用者さんと職員27名が、5～6人のチームになり芋掘り開始。

愛媛支部の河野支部執行委員長は「6月に植えた苗が、こんなにもみずみずしい緑の葉っぱが生い茂り、4ヵ月でこれだけ成長しているのに感動しています」と挨拶。はるかすの農業担当の石河さんは、「7～8月は雨が少なく、畑に水やりの設備がないため利用者さんと畑まで何度も往復して水やりをしました」と栽培のご苦労を話してくださいました。

組合員のみなさんも家族と一緒に収穫。早速収穫したさつまいもを、焼き芋にいただき「おいしい!、甘い!」と、いつもと違う筋肉を使った疲れも忘れてほおばります。

エコステーションはるかすは自然栽培でお米や野菜づくりを行っています。1.5反の畑でさつまいもを育てるのは初めての試み。1,500株ずつ植えた紅はるかや安納芋の収穫量は約400キロで、すべて愛媛支部に納品され、みなさんに分けていただきました。



## 》 農業編／ハーブ農園ペザン

- 日時：2022年 6月17日 マロウの収穫  
2022年11月12日 紅大豆の収穫
- 場所：ハーブ農園ペザン(石川県金沢市)

ハーブ農園ペザンは、金沢市から車で30分くらいの河北干潟干拓地のまん中あたりにあります。遠くに立山、白山を望み、1.2haの広大な農地に自然栽培で50種類以上のハーブをはじめ、さまざまな作物を育てています。

6月17日は、金沢支部の三役がハーブのマロウの花の収穫作業をお手伝いしました。11月12日には、金沢支部の組合員が約20名参加。約30aの畑に植えられた紅大豆の収穫を、利用者さんとチームを作り、協同作業で進めていきました。11月とはいえ天気恵まれ半袖になって作業をしている人も。通常は、利用者さんと職員で収穫をしたら2～3週間はかかるところを、なんと半日のうちに収穫を完了。広大な農場ですから、収穫した紅大豆を軽トラックに積み、何往復もして片付けまで完了してしまいました。

ペザンの澤邊代表は、ヤマトパワーにビックリして、「来年もぜひ手伝ってほしい」と佐野支部執行委員長をはじめ、みなさんに声をかけています。

収穫した紅大豆はペザンと連携している障がい者施設で味噌に加工されます。最後に佐野支部執行委員長は「みなさんが大事な食を支えてくださっていることを実感しました。それを私たちが日々運んでいます。利用者さんとチームを組んで一緒に作業をして、とても楽しい1日を過ごすことができました。また、お手伝いさせていただきます」と挨拶をされました。

このボランティアをきっかけに、ペザンと金沢支部の新たな交流がはじまっています。



## 》 地域福祉活動編／ヤマト繋がるプロジェクト

企画	福祉施設	プログラム
科学で遊ぼう!	中区地域訓練会チューリップ	11月26日 会場：本牧和田地域ケアプラザ
みんなであそBoccia	港区障害児者サークルラビッツ	11月13日 会場：障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
アートでつながろう!	都筑区子育て支援センター Popola、カブカブ川和	11月19日 会場：カブカブ喫茶、アトリエWA
報告会		2023年2月1日 ヤマト繋がるプロジェクト報告会 大倉山記念館

11月中旬、障がいのある方やお子さんたちと交流する地域イベントが、横浜市内の3ヵ所で催されました。

これは「ヤマト繋がるプロジェクト」と題するボランティア企画で、2年目となる2022年もヤマト運輸労働組合青年部のみなさんが参加しました。同プロジェクトは、(NPO) アクションポート横浜とのコラボレーションによるもので、社会人と学生が協同して、ボランティア企画をゼロから企画運営。福祉施設ともつながる場を設け、笑顔や気づきを生もうという試みです。

2022年は6月28日、オンラインによる企画会議が実施されたのを皮切りに、青年部のメンバーと大学生の方々がアイデアを出し合い、課題を一つひとつ解決していきながら、イベント当日を迎えました。

イベントは3つ。一つはサイエンスをテーマに「科学で遊ぼう!」。オンラインで参加する青年部の実況放送もあり、紫キャベツの汁の色が変化する実験、片栗粉スライムのパフォーマンスなど、子どもたちの新たな興味を引き出したようです。スポーツをテーマにしたイベントはボッチャの対抗戦、「みんなであそBoccia」。青年部は画面越しでの応援、会場とネットが一体となって盛り上がりました。三つ目は「アートでつながろう!」。「自分の気持ちや考えを知ってもらう・他者の気持ちや考えを知る」というテーマで巨大アートオブジェを共同製作しました。



科学で遊ぼう!



みんなであそBoccia



アートでつながろう!

## » ヤマト繋がるプロジェクト報告会／待ちに待ったリアル対面へ

● 日時：2023年2月1日

● 場所：大倉山記念館（横浜市）

2022年度に実施した活動の報告会が、2023年2月1日、大倉山記念館で行われました。企画会議、イベントともオンラインで参加していた、ヤマト運輸労働組合青年部のみなさんが、ようやく学生や施設のみなさんとリアル対面となりました。互いに感謝状や記念品の贈呈も行われ、次年度こそリアルに参加したいと青年部のみなさんが話しています。



# 自然栽培パーティ

## ドキュメンタリー映画「種まいて水やって自然栽培パーティ！」全国上映会の報告

自然栽培パーティの活動を広めていくために、ドキュメンタリー映画「種まいて水やって自然栽培パーティ！」を全国4都市でヤマト福祉財団協賛の上映会を行いました。

### » 「種まいて水やって自然栽培パーティ！」全国上映会

- 日時：2023年3月9日
- 場所：東京会場／渋谷ストリームホール

自然栽培パーティの活動を約4年間かけて撮影したドキュメンタリー映画が完成。自然栽培パーティの取り組みや農福師の活躍を知っていただき、改めて自然栽培パーティとは何か、これまでの活動を広めていくために全国で上映会を行っています。

財団では、「ヤマト福祉財団協賛」として、群馬、東京、滋賀、石川での上映会を支援しました。

東京会場は3月9日に、渋谷ストリームホールで満員の300名を集め、上映会を実施。映画監督および映画に出演された自然栽培パーティメンバー、農福師（利用者さん）のトークや、山内理事長も登壇。また自然栽培パーティの名誉顧問でもある木村秋則氏へのインタビュー、全国の実践報告も行いました。

山内理事長は「心震える、勇気をもらえる思いでした。日本中の田畑が、障がいのある人、ない人、地域の人たちが笑顔であふれるようになってほしい」と挨拶しました。





## **2. 2022 年度収支決算報告書**



# 貸借対照表

2023年3月31日現在  
(2022年度)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	73,036,165	46,169,678	26,866,487
現金	344,380	321,063	23,317
普通預金	72,691,785	45,848,615	26,843,170
未収金	20,400	113,400	-93,000
流動資産合計	73,056,565	46,283,078	26,773,487
2 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	6,031,986,500	6,031,986,500	0
基本財産合計	6,031,986,500	6,031,986,500	0
特定資産			
復興・再生支援事業資金	10,000,000	10,000,000	0
2022年度研修育成事業資金	0	36,000,000	-36,000,000
特定資産合計	10,000,000	46,000,000	-36,000,000
固定資産合計	6,041,986,500	6,077,986,500	-36,000,000
資産合計	6,115,043,065	6,124,269,578	-9,226,513
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,051,410	1,025,797	25,613
預り金	47,754	57,987	-10,233
流動負債合計	1,099,164	1,083,784	15,380
負債合計	1,099,164	1,083,784	15,380
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	5,430,400,000	5,430,400,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 5,430,400,000)	( 5,430,400,000)	( 0)
(うち特定財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	683,543,901	692,785,794	-9,241,893
(うち基本財産への充当額)	( 601,586,500)	( 601,586,500)	( 0)
(うち特定財産への充当額)	( 10,000,000)	( 46,000,000)	( -36,000,000)
正味財産合計	6,113,943,901	6,123,185,794	-9,241,893
負債及び正味財産合計	6,115,043,065	6,124,269,578	-9,226,513

# 2022年度正味財産増減計算書

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	163,507,000	188,388,500	-24,881,500
基本財産株式配当	163,507,000	188,388,500	-24,881,500
受取会費	105,115,000	106,518,500	-1,403,500
賛助会費収入	105,115,000	106,518,500	-1,403,500
受取寄付金	76,059,907	83,360,040	-7,300,133
寄付金収入	76,059,907	83,360,040	-7,300,133
雑収益	0	1,513,809	-1,513,809
雑収入	0	1,513,809	-1,513,809
経常収益計	344,681,907	379,780,849	-35,098,942
(2) 経常費用			
事業費	336,297,672	380,333,024	-44,035,352
奨学金支給	22,950,000	23,400,000	-450,000
助成金支給	136,086,791	205,702,013	-69,615,222
会場費	2,628,510	2,707,860	-79,350
運営費	15,783,718	8,691,850	7,091,868
講師諸費	2,040,113	2,497,866	-457,753
ビデオ・パンフ作成費	504,190	3,181,617	-2,677,427
システム費用	4,077,795	5,057,198	-979,403
就労支援費	4,000,000	4,000,000	0
委託費	25,314,321	29,444,220	-4,129,899
ホームページ運営費	1,596,134	1,090,100	506,034
贈呈費	43,095,684	29,977,257	13,118,427
給料手当	17,177,055	15,808,222	1,368,833
旅費交通費	14,565,874	6,780,236	7,785,638
通信運搬費	31,554,917	28,866,465	2,688,452
備品消耗品費	201,245	162,408	38,837
図書印刷費	12,201,217	10,513,269	1,687,948
事務室維持費	1,882,984	1,746,675	136,309
会議費	364,594	420,428	-55,834
支払手数料	272,530	285,340	-12,810

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	17,626,128	17,291,144	334,984
給料手当	7,408,895	6,597,608	811,287
福利厚生費	326,836	748,074	-421,238
会議費	566,304	1,106,133	-539,829
旅費交通費	803,646	408,559	395,087
通信運搬費	1,155,419	1,424,730	-269,311
消耗什器備品費	397,807	463,022	-65,215
図書印刷費	4,489,568	4,192,773	296,795
事務室維持費	1,211,724	942,904	268,820
事務機器賃借料	820,018	938,882	-118,864
賦課金	280,765	378,790	-98,025
支払手数料	27,202	89,669	-62,467
雑費	137,944	0	137,944
経常費用計	353,923,800	397,624,168	-43,700,368
評価損益等調整前当期経常増減額	-9,241,893	-17,843,319	8,601,426
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-9,241,893	-17,843,319	8,601,426
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期経費振替	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
有価証券償還差損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-9,241,893	-17,843,319	8,601,426
一般正味財産期首残高	692,785,794	710,629,113	-17,843,319
一般正味財産期末残高	683,543,901	692,785,794	-9,241,893
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,430,400,000	5,430,400,000	0
指定正味財産期末残高	5,430,400,000	5,430,400,000	0
III 正味財産期末残高	6,113,943,901	6,123,185,794	-9,241,893

# 正味財産増減計算書 内訳表

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 助成事業	公2 研修・育成	公3 表彰事業	公4 広報啓発等	公5 震災助成	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	130,805,600	130,805,600	32,701,400	163,507,000
基本財産株式配当	0	0	0	0	0	130,805,600	130,805,600	32,701,400	163,507,000
受取会費	0	0	0	0	0	84,092,000	84,092,000	21,023,000	105,115,000
賛助会費収入	0	0	0	0	0	84,092,000	84,092,000	21,023,000	105,115,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	60,847,926	60,847,926	15,211,981	76,059,907
寄付金収入	0	0	0	0	0	60,847,926	60,847,926	15,211,981	76,059,907
経常収益計	0	0	0	0	0	275,745,526	275,745,526	68,936,381	344,681,907
(2) 経常費用									
事業費	165,387,242	80,081,531	12,328,262	76,488,971	0	2,011,666	336,297,672		336,297,672
奨学金支給	22,950,000	0	0	0	0	0	22,950,000		22,950,000
助成金支給	136,086,791	0	0	0	0	0	136,086,791		136,086,791
会場費	36,302	1,863,023	729,185	0	0	0	2,628,510		2,628,510
運営費	15,000	12,123,128	2,055,880	1,589,710	0	0	15,783,718		15,783,718
講師諸費	111,370	1,728,277	167,055	33,411	0	0	2,040,113		2,040,113
ビデオ/パンフ作成費	0	0	504,190	0	0	0	504,190		504,190
システム費用	219,677	3,811,918	0	46,200	0	0	4,077,795		4,077,795
就労支援費	0	4,000,000	0	0	0	0	4,000,000		4,000,000
委託費	1,113,200	12,721,180	615,490	10,864,451	0	0	25,314,321		25,314,321
ホームページ運営費	0	0	0	1,596,134	0	0	1,596,134		1,596,134
贈呈費	0	19,673,918	3,000,000	20,421,766	0	0	43,095,684		43,095,684
給料手当	3,692,370	8,406,660	2,488,340	2,589,685	0	0	17,177,055		17,177,055
旅費交通費	72,073	11,474,034	1,227,747	1,718,870	0	73,150	14,565,874		14,565,874
通信運搬費	377,823	3,934,864	455,537	26,755,801	0	30,892	31,554,917		31,554,917
備品消耗品費	12,320	114,514	15,808	33,963	0	24,640	201,245		201,245
図書印刷費	380,622	141,585	990,000	10,689,010	0	0	12,201,217		12,201,217
事務室維持費	0	0	0	0	0	1,882,984	1,882,984		1,882,984
会議費	169,234	0	68,370	126,990	0	0	364,594		364,594
支払手数料	150,460	88,430	10,660	22,980	0	0	272,530		272,530
管理費								17,626,128	17,626,128
給料手当								7,408,895	7,408,895
福利厚生費								326,836	326,836
会議費								566,304	566,304
旅費交通費								803,646	803,646
通信運搬費								1,155,419	1,155,419
賦課金								280,765	280,765
消耗什器備品費								397,807	397,807
図書印刷費								4,489,568	4,489,568
事務室維持費								1,211,724	1,211,724
事務機器賃借料								820,018	820,018
支払手数料								27,202	27,202
雑費								137,944	137,944
経常費用計	165,387,242	80,081,531	12,328,262	76,488,971	0	2,011,666	336,297,672	17,626,128	353,923,800

科 目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 助成事業	公2 研修・育成	公3 表彰事業	公4 広報啓発等	公5 震災助成	共通	小計		
評価損益等調整前当期経常増減額	-165,387,242	-80,081,531	-12,328,262	-76,488,971	0	273,733,860	-60,552,146	51,310,253	-9,241,893
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-165,387,242	-80,081,531	-12,328,262	-76,488,971	0	273,733,860	-60,552,146	51,310,253	-9,241,893
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
前期経費振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
有価証券償還差損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-165,387,242	-80,081,531	-12,328,262	-76,488,971	0	273,733,860	-60,552,146	51,310,253	-9,241,893
一般正味財産期首残高	-457,843,792	-157,580,151	-35,917,365	-225,342,152	-13,219,628	1,369,849,428	479,946,340	212,839,454	692,785,794
一般正味財産期末残高	-623,231,034	-237,661,682	-48,245,627	-301,831,123	-13,219,628	1,643,583,288	419,394,194	264,149,707	683,543,901
II 指定正味財産増減の部									
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	4,344,320,000	4,344,320,000	1,086,080,000	5,430,400,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	4,344,320,000	4,344,320,000	1,086,080,000	5,430,400,000
III 正味財産期末残高	-623,231,034	-237,661,682	-48,245,627	-301,831,123	-13,219,628	5,987,903,288	4,763,714,194	1,350,229,707	6,113,943,901

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

- (1) 計算書類は公益法人会計基準（平成20年4月11日、改正平成21年10月16日 改正平成30年6月15日 内閣府公益認定等委員会）を適用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産……定率法
- (3) 消費税の会計処理  
税込み方式

## 2. 会計方針の変更 該当なし

## 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券（指定）	5,430,400,000	0	0	5,430,400,000
投資有価証券（一般）	601,586,500	0	0	601,586,500
小計	6,031,986,500	0	0	6,031,986,500
特定資産				
復興・再生支援事業資金	10,000,000	0	0	10,000,000
2022年度研修育成事業資金	36,000,000	0	36,000,000	0
小計	46,000,000	0	36,000,000	10,000,000
合計	6,077,986,500	0	36,000,000	6,041,986,500

## 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財) (産からの充当額)	(うち一般正味財) (産からの充当額)	(うち負債に対応) する額
基本財産				
投資有価証券（指定）	5,430,400,000	5,430,400,000	0	0
投資有価証券（一般）	601,586,500	0	601,586,500	0
小計	6,031,986,500	5,430,400,000	601,586,500	0
特定資産				
復興・再生支援事業資金	10,000,000	0	10,000,000	0
2022年度研修育成事業資金	0	0	0	0
小計	10,000,000	0	10,000,000	0
合計	6,041,986,500	5,430,400,000	611,586,500	0

## 5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし 重要性が希薄なため経費処理

## 6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

## 7. 担保に供している資産

該当なし

## 8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

## 9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

## 10. 重要な後発事象

該当なし

# 財 産 目 録

2023年3月31日 現在  
(2022年度)

(単位：円)

科 目	金 額	使用目的等
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	73,036,165	
現金	344,380	運転資金
普通預金	72,691,785	
みずほ銀行銀座中央支店1	22,691,785	運転資金
みずほ銀行銀座中央支店2	50,000,000	運転資金
未収金	20,400	
流動資産合計	73,056,565	
2 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券	3,554,500 株	共有財産であり
ヤマトホールディングス株式会社(株式)		うち80%を公益保有財産として運用益
株数	取得価額	を公益目的事業に使用し、20%を管理
3,200,000 株	5,568,000,000 円	業務のための財産として運用益を法人
354,500 株	776,195,475 円	会計に使用している。
5,430,400,000		
601,586,500		
(2) 特定資産	10,000,000	
復興・再生支援事業資金	10,000,000	(普通預金：みずほ銀行銀座中央支店) 大災害発生時の助成資金に充当
固定資産合計	6,041,986,500	
資産合計	6,115,043,065	
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	1,051,410	3月費用等未払分
預り金	47,754	謝礼金に対する源泉所得税
流動負債合計	1,099,164	
負債合計	1,099,164	
正味財産	6,113,943,901	

# 附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細                    該当なし

以 上

2023年5月  
公益財団法人ヤマト福祉財団

## 2022 年度事業報告 附属明細書

2022 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2023 年 5 月  
公益財団法人ヤマト福祉財団

# 2022 年度収支決算書

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1) 基本財産運用収入	130,805,600	32,701,400	163,507,000	163,507,000	0
①基本財産株式配当	130,805,600	32,701,400	163,507,000	163,507,000	0
(2) 寄付金収入	59,200,000	14,800,000	74,000,000	76,059,907	-2,059,907
①運用財産	59,200,000	14,800,000	74,000,000	76,059,907	-2,059,907
(3) 会費収入	83,840,000	20,960,000	104,800,000	105,115,000	-315,000
①賛助会費収入	83,840,000	20,960,000	104,800,000	105,115,000	-315,000
事業活動収入計	273,845,600	68,461,400	342,307,000	344,681,907	-2,374,907
2. 事業活動支出					
事業費支出	350,307,000	—	350,307,000	336,297,672	14,009,328
(公1) 助成事業	172,000,000	—	172,000,000	165,387,242	6,612,758
①奨学金支給	24,000,000	—	24,000,000	22,950,000	1,050,000
②助成金	140,000,000	—	140,000,000	136,086,791	3,913,209
i 福祉助成金	20,000,000	—	20,000,000	17,872,191	2,127,809
ii 給料増額支援助成金	120,000,000	—	120,000,000	118,214,600	1,785,400
③諸経費	8,000,000	—	8,000,000	6,350,451	1,649,549
(公2) 研修・育成事業	62,000,000	—	62,000,000	80,081,531	-18,081,531
①セミナー事業	18,000,000	—	18,000,000	28,980,441	-10,980,441
i 会場費	1,600,000	—	1,600,000	1,022,646	577,354
ii 運営費	2,400,000	—	2,400,000	9,369,745	-6,969,745
iii ビデオ作成費	3,430,000	—	3,430,000	0	3,430,000
iv 諸経費	10,570,000	—	10,570,000	18,588,050	-8,018,050
②雇用促進事業	7,000,000	—	7,000,000	7,794,126	-794,126
i システム費	420,000	—	420,000	568,700	-148,700
ii 就労支援費	4,000,000	—	4,000,000	4,000,000	0
iii 諸経費	2,580,000	—	2,580,000	3,225,426	-645,426
③育成プロジェクト	37,000,000	—	37,000,000	43,306,964	-6,306,964
i 実践塾	22,000,000	—	22,000,000	25,843,078	-3,843,078
ii 自然栽培パーティープロジェクト	10,000,000	—	10,000,000	9,728,100	271,900
iii ゆいジョブ!プロジェクト	5,000,000	—	5,000,000	7,735,786	-2,735,786
(公3) 表彰事業	12,000,000	—	12,000,000	12,328,262	-328,262
①贈呈費	3,000,000	—	3,000,000	3,000,000	0
②会場費	600,000	—	600,000	729,185	-129,185
③運営費	1,524,000	—	1,524,000	2,055,880	-531,880
④経費	6,876,000	—	6,876,000	6,543,197	332,803

科 目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
(公4) 広報・啓発等事業	89,500,000	—	89,500,000	76,488,971	13,011,029
① 広報事業	58,000,000	—	58,000,000	49,976,404	8,023,596
i ホームページ運営費	1,100,000	—	1,100,000	1,596,134	-496,134
ii 委託費	15,327,000	—	15,327,000	8,004,640	7,322,360
iii 諸経費	41,573,000	—	41,573,000	40,375,630	1,197,370
② 啓発事業	1,000,000	—	1,000,000	432,102	567,898
i 会場費	300,000	—	300,000	0	300,000
ii 運営費	150,000	—	150,000	0	150,000
iii 諸経費	550,000	—	550,000	432,102	117,898
③ その他事業	30,500,000	—	30,500,000	26,080,465	4,419,535
i 他団体等の事業支援	6,000,000	—	6,000,000	6,001,100	-1,100
ii ネパール小児白内障治療プロジェクト	2,000,000	—	2,000,000	2,630,051	-630,051
iii 医療的ケア児者プロジェクト	10,000,000	—	10,000,000	6,500,660	3,499,340
iv ボランティアプロジェクト	4,500,000	—	4,500,000	3,632,528	867,472
その他(予備費)	8,000,000	—	8,000,000	7,316,126	683,874
(公5) 復興・再生支援事業	10,000,000	—	10,000,000	0	10,000,000
① 震災支援費	9,900,000	—	9,900,000	0	9,900,000
② 諸経費	100,000	—	100,000	0	100,000
共通	4,807,000	—	4,807,000	2,011,666	2,795,334
① 諸経費	4,807,000	—	4,807,000	2,011,666	2,795,334
管理費支出	—	17,000,000	17,000,000	17,626,128	-626,128
① 人件費	—	6,800,000	6,800,000	7,408,895	-608,895
② 福利厚生費	—	300,000	300,000	326,836	-26,836
③ 旅費	—	500,000	500,000	803,646	-303,646
④ 通信運搬費	—	1,500,000	1,500,000	1,155,419	344,581
⑤ 備品消耗品費	—	400,000	400,000	397,807	2,193
⑥ 図書印刷費	—	3,900,000	3,900,000	4,489,568	-589,568
⑦ 事務室維持費	—	1,000,000	1,000,000	1,211,724	-211,724
⑧ 事務機器賃借料	—	900,000	900,000	820,018	79,982
⑨ 会議費	—	1,000,000	1,000,000	566,304	433,696
⑩ 賦課金	—	200,000	200,000	280,765	-80,765
⑪ 支払手数料	—	100,000	100,000	27,202	72,798
⑫ 雑費	—	400,000	400,000	137,944	262,056
事業活動支出計	350,307,000	17,000,000	367,307,000	353,923,800	13,383,200
I 事業活動収支の部	-76,461,400	51,461,400	-25,000,000	-9,241,893	-15,758,107
II 投資活動収支の部					
III 財務活動収支の部					
IV 予備費支出					
当期収支差額	-76,461,400	51,461,400	-25,000,000	-9,241,893	-15,758,107

# 監査報告書

公益財団法人ヤマト福祉財団  
理事長 山内 雅喜 殿

2023年5月29日

監事 新 里 智 弘

監事 小 川 悦 男

私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告致します。

## 1 監査の方法及びその内容

理事及び職員と意思の疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

### 3. 補 足



## 寄付金寄贈者名簿

(敬称略：順不同)

寄付者名	寄付者名	寄付者名
大川清一	町田武	高田百合子
ケナフの会		

夏のカンパ

寄付者名
ヤマトグループ企業労働組合連合会

## 賛助会員数一覧

2023年3月31日現在

会社名	会員数	会社名	会員数
ヤマトホールディングス株式会社	23	ヤマトオートワークス株式会社	1,477
ヤマト運輸株式会社	67,485	ヤマトオートワークス北信越株式会社	10
沖縄ヤマト運輸株式会社	506	ヤマトオートワークス岩手株式会社	25
エクスプレスネットワーク株式会社	7	ヤマトオートワークス沖縄株式会社	3
ヤマトダイアログ&メディア株式会社	9	ボックスチャーター株式会社	19
ヤマトコンタクトサービス株式会社	200	ヤマトボックスチャーター株式会社	1,095
ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社	500	ヤマトマルチチャーター株式会社	355
湖南工業株式会社	299	神戸ヤマト運輸株式会社	32
ヤマトホームコンビニエンス株式会社	784	株式会社スワン	7
ヤマトシステム開発株式会社	1,288	ヤマトグループ健康保険組合	20
ヤマトリース株式会社	73	社会福祉法人ヤマト自立センター	13
ヤマトクレジットファイナンス株式会社	93	ヤマト運輸労働組合	48
		合 計	74,371

# 役員名簿

## 理事

2023年4月1日現在

NO	役職名	氏名	役職
1	理事長	山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社 特別顧問
2	理事	蒲原 基道	日本社会事業大学専門職大学院客員教授、元厚生労働事務次官
3	同	町田 武	元三郷市教育委員会 教育委員長
4	同	西堀 利	みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問
5	同	藤掛 稔子	
6	同	森下 明利	ヤマトグループ企業労働組合連合会 会長
7	同	日浦美智江	社会福祉法人訪問の家 顧問
8	同	柴崎 憲二	元ヤマト運輸株式会社 監査役
9	同	早川 雅人	ヤマト福祉財団 常務理事

## 監事

NO	役職名	氏名	役職
1	監事	新里 智弘	公認会計士
2	同	小川 悦男	元ヤマトホールディングス株式会社 監査役

## 評議員

2023年4月1日現在

NO	役職名	氏名	役職
1	評議員	今野 由梨	ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長
2	同	藤井 克徳	きょうされん 専務理事
3	同	内田 五郎	元ヤマトシステム開発株式会社 代表取締役社長
4	同	吉井 毅	元新日本製鉄（現日本製鉄）株式会社 代表取締役副社長
5	同	小野崎貴志	ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長
6	同	川田 博	元ヤマトホールディングス株式会社 監査役
7	同	上林 孝典	元伊藤忠商事取締役副社長
8	同	玉川 雅浩	元ヤマトシステム開発株式会社 代表取締役常務執行役員

福祉助成金選考委員

2023年4月1日現在

NO	役職名	氏名	役職
1	選考委員	朝日 雅也	埼玉県立大学名誉教授
2	同	小野崎貴志	ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長
3	同	柴崎 憲二	元ヤマト運輸株式会社 監査役
4	同	大谷 友樹	ヤマトホールディングス株式会社 専務執行役員
5	同	山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社 特別顧問

ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員

2023年4月1日現在

NO	役職名	氏名	役職
1	選考委員	藤井 克徳	きょうされん 専務理事
2	同	蒲原 基道	日本社会事業大学専門職大学院客員教授、元厚生労働事務次官
3	同	今野 由梨	ダイヤル・サービス（株） 代表取締役社長
4	同	森下 明利	ヤマトグループ企業労働組合連合会 会長
5	同	山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社 特別顧問



## **4. 2023 年度事業計画書**

### **同 収支予算書**

### **資金調達及び設備投資の見込みについて**



# 2023年度 事業計画書

(自・2023年4月1日～至・2024年3月31日)

## はじめに

3年に亘ったコロナ禍も平穩の兆しが見えてきました。この間、様々な制限のもと、給料増額助成金・奨学金の贈呈、ヤマト福祉財団小倉昌男賞贈呈式やパワーアップフォーラムの開催、実践塾、他団体との連携事業などの活動を行ってまいりました。制限打開の一環として取り入れたオンラインでのフォーラム開催やヤマト福祉財団小倉昌男賞贈呈式のビデオ配信は、事業活動の周知に大いに役立っています。また、2022年度より新たな領域として、医療ケア児者と家族を支える団体の活動支援を始めました。本年は、これらの経験に加えてコロナ禍収束を見据えた活動の充実を図り、「自立して生活することで幸せを感じられる」を大切にテーマに各事業を積極的に推進いたします。なお、ネパール小児白内障治療PJ事業は2022年度で終了します。

## (公1) 助成事業 (163,000千円)

### ① 奨学金 (24,000千円)

40名の障がいのある大学生に対して奨学金を給付します。

### ② 助成金 (130,000千円)

#### i. 給料増額支援助成金 (110,000千円)

障がい者の給料増額につながる設備・備品購入として、障がい者施設を対象に助成します。

#### ii. 障がい者福祉助成金 (20,000千円)

障がい者の福祉に資する活動（講演会・研修・文化・スポーツ等）について、障がい者団体並びにボランティア団体を対象に助成します。

### ③ 諸経費（調査費・贈呈式他費用・OB連絡会費用） (9,000千円)

## (公2) 研修・育成事業 (74,000千円)

### ① セミナー事業 (29,000千円)

「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」の会場開催を東京で（開催時期場所は未定）、さらに障がい者の働く場としてロールモデルにふさわしい福祉事業所2箇所（開催時期は別）からオンラインで開催します。

### ② 雇用促進事業 (8,000千円)

DM便配達事業の支援やヤマト自立センターの活動支援など、障がい者就労の拡大を図ります。

### ③ 育成プロジェクト (37,000千円)

#### i. 実践塾 (20,000千円)

より高い工賃を達成するため、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者による実践塾3塾のうち新堂塾第4期生、楠元塾第3期生が2022年度で修了します。本年度は、この2塾の卒業生を対象にフォローアップ研修を開催します。農福連携実践塾ではぶどう、たまねぎに絞った実践塾を実施します。また、コロナ禍で店頭販売が不振となった事業所において、通販事業など販路拡大のロールモデルを立上げるため、前述受賞者を座長とした研究会を発足し、検討・検証を実施します。

- ii. 「自然栽培パーティ」プロジェクト（10,000千円）  
休耕田・耕作放棄地を利用した無農薬・無肥料による自然栽培を推進する「自然栽培パーティ」の活動も引き続き支援していきます。
- iii. ゆいジョブ！プロジェクト（7,000千円）  
2022年度に引き続き、沖縄県内の地元メンバーによって、福祉事業所と障がい者雇用を実践する企業をつなぐビジネスマッチング活動支援を行ってまいります。本年度は沖縄県の協賛をもとに、マルシェや合同相談会等の拡大を計画し、障がい者の働く場を豊かにする当プロジェクトを支援していきます。

**(公3) 表彰事業 (13,000千円)**

- ① ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈 (13,000千円)  
障がい者就労施設や一般企業等において、障がい者の就労支援、職業指導、処遇改善などの面で功労著しく、広く敬愛の的となっている個人を対象に本年も「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」を贈呈します。昨年度に引き続き YouTube 配信も行います。

**(公4) 広報・啓発等事業 (74,000千円)**

- ① 広報事業 (51,000千円)  
財団ニュースを年4回発行し、ヤマトグループ賛助会員の家庭に直接送付することで活動の浸透を図ります。また、リニューアルしたホームページを通じて広く一般に啓発広報を行ないます。
- ② 啓発事業 (1,000千円)  
障がい者本人によるクロネコDM便配達報告会の開催や障がい者団体の主催する大会の共催・後援等によって、障がい者の能力の浸透啓発を図ります。
- ③ その他事業 (22,000千円)
  - i. 他団体等への活動支援（7,000千円）
    - イ) 全Aネットによる良質なA型事業所認定事業（6,000千円）  
2020年度より始動したA型事業所認定制度により、2022年度までに44事業所を認定しました。引き続き、100事業所の認定を目標に本制度の審査活動を支援します。また、本団体による、良きA型事業所の運営や経営に直接役立つ内容のセミナー開催を支援します。
    - ロ) 日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事（1,000千円）  
「障害者の権利条約」について国連障害者権利委員会に提出するNGOパラレルレポートの準備活動と国内啓発活動に対し公益財団法人助成財団センターを窓口として、他の福祉系財団とともに共同助成を行いサポートします。
  - ii. 医療ケア児者と家族を支える団体の活動支援（7,000千円）  
医療的ケア児者本人とその家族の医療、教育、福祉の各場面を支える団体「特定非営利活動法人 医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワーク」の活動支援を行います。
  - iii. ボランティアプロジェクト（4,000千円）  
ヤマトグループの社会貢献の一つとして、労働組合と連携しグループ社員に障がい者施設の利用者、職員との共有の場を提供することにより、これを機会として福祉施設との地域連携を深めるための事業を行ってまいります。

iv. その他（４，０００千円）

イ) 農園型障害者雇用問題（１，０００千円）

農業分野で広がっている、法定雇用率の充足を目的にした障がい者雇用ビジネスのメリット、デメリットを整理し、課題の抽出、問題解決のための検討を始めた一般社団法人日本農福連携協会の活動を支援してまいります。

ロ) 応援団体協賛金等（３，０００千円）

日本の障害者施策を社会モデル／人権モデルへと転換していくため、認定NPO法人日本障害者協議会「JD障害と福祉事典（仮称）」の出版事業を支援します。（２，０００千円）

ほか予備費として１，０００千円を計上します。（１，０００千円）

**（公５）復興・再生支援事業（５，０００千円）**

**① 復興・再生支援事業**

**（５，０００千円）**

大規模災害等で被災した障がい者就労施設の再生支援のための資金枠を確保します。

以 上

# 2023 年度収支予算書

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

科 目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	130,806	32,701	163,507	163,507
①基本財産株式配当	130,806	32,701	163,507	163,507
(2) 寄付金収入	60,000	15,000	75,000	74,000
①運用財産	60,000	15,000	75,000	74,000
(3) 賛助会費収入	82,400	20,600	103,000	104,800
①賛助会費収入	82,400	20,600	103,000	104,800
事業活動収入計	273,206	68,301	341,507	342,307
2. 事業活動支出				
事業費支出	332,000	—	332,000	350,307
(公 1) 助成事業	163,000	—	163,000	172,000
①奨学金支給	24,000	—	24,000	24,000
②助成金	130,000	—	130,000	140,000
i 給料増額支援助成金	110,000	—	110,000	120,000
ii 福祉助成金	20,000	—	20,000	20,000
③諸経費	9,000	—	9,000	8,000
(公 2) 研修・育成事業	74,000	—	74,000	62,000
①セミナー事業	29,000	—	29,000	18,000
②雇用促進事業	8,000	—	8,000	7,000
③育成プロジェクト	37,000	—	37,000	37,000
i 塾	20,000	—	20,000	22,000
ii 自然栽培パーティプロジェクト	10,000	—	10,000	10,000
iii ゆいジョブ! プロジェクト	7,000	—	7,000	5,000
(公 3) 表彰事業	13,000	—	13,000	12,000
(公 4) 広報・啓発等事業	74,000	—	74,000	89,500
①広報事業	51,000	—	51,000	58,000
②啓発事業	1,000	—	1,000	1,000
③その他事業	22,000	—	22,000	30,500
i 他団体等への活動支援	7,000	—	7,000	6,000
ii 医療的ケア児者プロジェクト	7,000	—	7,000	10,000
iii ボランティアプロジェクト	4,000	—	4,000	4,500
iv その他	4,000	—	4,000	8,000
農園型障がい者雇用問題	1,000	—	1,000	0
応援団体協賛金等	3,000	—	3,000	0
ネパール小児白内障治療プロジェクト	0	—	0	2,000
(公 5) 復興・再生支援事業	5,000	—	5,000	10,000
共通	3,000	—	3,000	4,807

(単位：千円)

科 目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
管理費支出	—	20,000	20,000	17,000
①人件費	—	8,500	8,500	6,800
②福利厚生費	—	400	400	300
③旅費	—	800	800	500
④通信運搬費	—	1,300	1,300	1,500
⑤備品消耗品費	—	400	400	400
⑥図書印刷費	—	5,300	5,300	3,900
⑦事務室維持費	—	1,600	1,600	1,000
⑧事務機器賃借料	—	800	800	900
⑨会議費	—	600	600	1,000
⑩賦課金	—	300	300	200
⑪支払手数料	—	0	0	100
⑫雑費	—	0	0	400
事業活動支出計	332,000	20,000	352,000	367,307
I 事業活動収支の部	-58,794	48,301	-10,493	-25,000
II 投資活動収支の部	0	0	0	0
III 財務活動収支の部	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0
計画収支差額	-58,794	48,301	-10,493	-25,000

# 資金調達及び設備投資の見込みについて

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。

以上



